

ペスト防疫施設報告書 其十

りる

海

三

第
一
部

栗

關東都督府臨時防疫本部

3-2597

0380

第一編 防疫施設報告 (其十)

防疫施設報告 (其十)

前報告以降即本月二十一日ヨリ同二十五日ニ至ル五日間ニ於テベスト防疫ニ關シ當部ノ施設シタル事項並ニ同伴ニ關シ各方面ヨリ得タル通報等ノ要旨ヲ列擧スルニ左ノ如シ
一、臨時防疫部設置ニ關シ官制臨時職員増置ニ關スル勅令及關東都督府令訓令告示等左ノ通發布セラレタリ

第一條 公使「ト」防遏ニ關スル事務ヲ掌理セシムル爲關東都督府ニ臨時防疫部ヲ置ク

第二條 臨時防疫部ニ左ノ職員ヲ置キ關東都督府之ヲ命ス

關東都督府長 關東都督府副長 關東都督府秘書長 關東都督府庶務長 關東都督府衛生長 關東都督府醫務長 關東都督府藥務長 關東都督府防疫長 關東都督府臨時職員

委員 關東都督府副官制臨時職員

書記

本會監六道吏

第三條 部長ハ關東都督ノ命ヲ承ケ防疫ニ關スル事務ヲ統理ス
第四條 次長ハ部長ヲ補佐シ部長事故アルトキ其職務ヲ代理ス
第五條 委員ハ部長ノ命ヲ承ケ防疫ニ關スル事務ヲ掌ル

第六條 書記官並司ノ指揮ヲ承テ庶務ニ従事ス
第七條 監吏ハ並司ノ指揮ヲ承テ防疫ニ關スル事務ニ従事ス
第三編 附則 關東都督府ハ大連港及旅順港トス

二

關東都督府臨時職員増置ノ件 (勅令第十六號)

關東都督ハスト防遏ニ關スル事務ニ従事セシムル爲メ、スト防遏費豫算ノ範圍内ニ於テ、
關東都督府ニ臨時屬警部及警部補ヲ置クコトヲ得、
本令公布之日ヨリ之ヲ施行ス

關東都督府臨時防疫支部規程 (勅令第十七號)

第一條 關東都督府ニ臨時防疫支部ヲ置クニシテ、
前奉天鐵道局長春子安東ニ臨時防疫支部ヲ置クニシテ、
第二條 臨時防疫支部ニ左ノ職員ヲ配屬ス
委員

關東都督府臨時防疫支部規程 (勅令第十七號)

第三條 臨時防疫支部ニ支部長並名副長若若干名ヲ置キ、委員中ニ就キ關東都督之ヲ命ス
第四條 支部長ハ臨時防疫部長ノ指揮監督ヲ承ケ、其ノ管内ノ防疫事務ヲ掌理シ、部下ヲ指揮監督ス
第五條 副長ハ支部長ヲ補佐シ、支部長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス
第六條 委員ハ支部長ノ命ヲ受ケ、防疫事務ヲ掌ル
第七條 書記官並司ノ指揮ヲ受ケ、防疫事務ニ従事ス
第八條 監吏並並司ノ指揮ヲ承ケ、防疫事務ニ従事ス
第九條 臨時防疫部長ハ必要ナル地ニ支部出張所ヲ設クルコトヲ得、出張所ニ必要ナル委員書記監吏ヲ配屬ス
第十條 支部ノ管轄區域ハ民政署、警務署ノ管轄區域ニ依ル
本令ハ關東都督府臨時防疫部官制執行之日ヨリ之ヲ施行ス

三

第三條 患者之治療、給養及其取締
第四條 細菌検査

第四條 除鼠課ニ於テハ左ノ事務ヲ分掌ス
捕鼠獎勵、殺鼠濟ノ調製、殺鼠濟及捕鼠器ノ配布、鼠族買収及處置

第五條 隔離課ニ於テハ左ノ事務ヲ分掌ス
隔離者ヲ收容、檢診、消毒、給養、及其取締

第六條 消毒課ニ於テハ左ノ事務ヲ分掌ス
一、患者及隔離者ノ消毒、有毒物件ノ焼却處分、隔離ニ關スル處分
二、清潔方法施行
三、患者之運搬屍體ノ處置、隔離者ノ護送

第七條 經理課ニ於テハ左ノ事務ヲ分掌ス
會計、用度ニ關スル事項

第八條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ分掌ス
庶務文書ノ收發、統計報告、人事、警察主務取締

第九條 各課ニ課長及係員ヲ置ク

第十條 出張所事務分掌規程ヲ支部長ノ認可ヲ受ケ出張所長之決定ニ依リ

第十一條 支部長ハ土地ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルハ分課ノ廢合ヲ爲スコトヲ得但シ
此ノ場合ニ於テハ直ニ部長ニ報告スヘシ

臨時防疫部長
政 署 長
務 官

第一條 傳染病豫防手續第一條第三條ノ規定ニ依リ「ベスト」ニ關シ報告ヲ爲ス場合ニハ關
東都督ニ報告ヲ要ス直ニ臨時防疫部長ニ報告スベシ防疫ニ關スル施設其ノ他必要ト認
ムル事項ノ報告亦同シ

第二條 臨時防疫部長ハ前條ノ報告其ノ他防疫ニ關シ重要ト認ムル事項直ニ關東都督
ニ報告スヘシ

附 則

第三條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條 明治四十四年一月訓令第三號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

警部其他防疫従事員ニ辭令ヲ交付セサル件(四四二、一七七日)

警務署 臨時防疫部

民政署 警務署勤務ノ警部 翻譯生、警部補、巡查、巡捕ニシテ臨時防疫部官制施行ノ際

別ニ辭令ヲ交付セラル者ハ警部、翻譯生、警部補ニ在リテハ臨時防疫部書記ヲ巡查、

巡捕ニアリテハ臨時防疫部監吏ヲ命セラル各所在地支部勤務ノ義ト心得ル

臨時防疫部事務所ニ關スル件(四四二、一七七日)

臨時防疫部ノ事務ハ當分ノ内奉天警務署内ニ於テ之ヲ取扱フ

隔離所收容者ノ食費ニ關シ左ノ通訓令ヲ發シテ之ヲ取扱フ

臨時防疫部

臨時防疫支部

明治四十四年訓令第八號左ノ通改正ス(四四二、一七七日)

隔離所ニ收容スル者ノ食費ハ一日ニ付清國人及朝鮮人金十五錢以内日本人及外國人金三十錢以内トス但シ本項ノ額ニ依リ難キ場合ハ臨時防疫部長ヲ認可シテ受ク得ルハ交通遮斷線内ニ居住シ糧食ノ資ヲ乏シ給スル食費額前項ノ例ニ依リテ之ヲ給スル

二、臨時防疫部職員二月十七日付左ノ通發令セラレタリ

- 部長 關東都督府警視總長 佐藤友熊
- 次長 正五位 勳三等 久保田政周
- 委員 從四位 勳三等 中村是公
- 陸軍 軍醫 監 宇山道碩
- 關東都督府事務官 小池張造
- 陸軍歩兵 大佐 宮田爲之
- 關東都督事務官 蠟山長治郎
- 同 技師 村田昇清
- 同 警正 視 東畑英夫

- 同 從五位勳五等茂泉敬孝
- 同 正六位勳四等河西健次
- 同 功四級醫學博士安部仲雄
- 同 醫學博士小數賀政市
- 同 關東都督府屬阿部燹德
- 同 倉持彦馬
- 同 陸軍一等軍醫金原庄次郎
- 同 佐田彦美
- 同 關東都督府屬平田東作

三、左ノ通報ニ接セリ(三月二十一日)
 傳家句ニ於ケル「ペスト」病勢ハ一月中旬ヲ過キテ益々猖獗ヲ逞フシ同二十一日ニハ死亡者百七十四名ヲ算スルニ至リタルヲ以テ廿四日哈爾濱市内ノ日本料理店及旅宿業者ニ對シ清國人ノ登樓宿泊ヲ禁止シ一方哈爾濱居留民會ニ於テハ在留民全部ニ對シ豫防注射ノ實行ヲ決議シ市内ニ於テハ往々路上ニ斃死者アルヲ以テ小學校生徒ノ通學ヲ禁止休業セリ一月下旬ニ於テハ病勢ハ哈爾濱市内ニ於テ依然シテ日々三十名内外ナリシモ傳家句ニ於テハ其勢頗ル猛烈ニシテ日々百五十名内外ノ死者ヲ出スヲ以テ時日長クハ一屋內六七名ノ患者

ヲ出シ一家全滅セシモノ少カラス慘憺ナル情況ニシテ同地在留邦人ノ運命亦風前ノ燈ノ如ク頗ル寒心ヲ堪ヘザルモ然レテ官民協同一致シテ消毒豫防ヲ厲行シタル結果其後ハ男女老幼出タル外發生セザリシ然ルニ一月二十九日ニ至リ哈爾濱市内料理店酌婦二名該病ニ罹リ翌日死亡シタルニヨリ再ヒ大消毒健康診斷等ヲ行モ豫防注射ヲ實行シ清國官憲ハ兵力ヲ以テ傳家句ヲ嚴重ニ封鎖シ交通ヲ嚴禁シ火葬消毒ヲ厲行シタル以來病勢頓ニ衰退シ頃且僅三四名内外トナリ哈爾濱市内モ一日四五名ニシテ「ペスト」病モ稍々下火トナリタル觀アリト云フ

四、左ノ通報ニ接セリ(三月二十一日)
 戎克船ニテ錦州、大孤山、復州、安東縣等ニ來ル苦力等ノ上陸ヲ禁止スル様錫總督ヨリ關係各官憲ニ電命セリ

五、左ノ通報ニ接セリ(三月二十一日)
 奉天附屬地附近係争地ニ於テハ俄爾東山患者發生家屋十一戸ノ内漸次焼却シ殘三戸ナリシカ本月十七日之ヲ燒却セリ

六、左ノ報告ニ接セリ(三月二十二日)
 清國官憲ニ於テハ安奉線下リ列車(安東縣行)清國人乘客全部ハ從來湯山城驛ニ下車セシメ同地ニ於テ一定期間隔離ヲ行ヒ來リタル者モ本月廿六日以降鳳凰城以南ヨリ來ル者ト其

一四、左ノ報告ニ接セリ(二月二十二日)
 長春華實公司内第十四區及第九區内支那家屋三十四棟行方不明ノ患者發生シ若シ病毒汚染ノ虞アリ以テ二月十九日之ヲ燒却セリ此日ニ至ル患者百五十八名ノ計ニ計ル
 一五、左ノ通報ニ接セリ(二月二十三日)

傳家甸ニ於ケル清國防疫局醫員長ヲ通報シ依テ同地ニ於テ癸卯月十五日以降火葬ヲ了シ
 外ル棺ヲ含ムニシテ之ニ其以前火葬シタル死體及棺三千五百五十七ヲ加算セテ合計四
 千二百八十八ヲ達シ右ノ外正月十八日マテニ燒棄シタル家屋百九十一及同日マデニ燒棄ノ
 爲メ破壊シタル家屋二百四十四ナリ尙防疫局員ハ炕(暖房)内ニ於テ棺三個、荒廢シタル家
 屋根上ノ積雪中屍體四個及堆積シタル衣類中屍體一個隱匿シタルヲ發見セルヲ
 付今後屍體隱匿者ハ嚴罰ニ處スベキ旨ヲ命令ヲ發シタルト云フ
 一六、長春ニ於テタル清國側檢病調查消毒防圍捕鼠交通遮斷患者死體取扱火葬等ニ關スル防
 疫事務應援ニシテ協議ノ結果消毒班十四名外監督及醫師各一名ヲ同地ニ派遣シ器具
 機械藥品及馬匹等必需品全部ヲ携帶セシムルコト、爲セリ其係人員等左ノ如シ(二月二
 十三日) 消毒班長 一人 消毒班員 十四人 監督 一人 醫師 一人
 防疫實施教育指導 防疫員 一人 巡視員 二人 通譯員 一人 通譯員 一人

(甲) 消毒班長 一人 消毒班員 十四人
 (乙) 藥品係 一人 消毒班員 一人
 (丙) 消毒車 四輛 消毒班員 一人
 (丁) 器具機械係 一人 消毒班員 一人
 (戊) 實地指導 一人 消毒班員 一人
 (己) 通譯員 一人 消毒班員 一人
 (庚) 監督 一人 消毒班員 一人
 (辛) 檢診及醫術ニ關スル指導並相談役 一人
 (壬) 醫師 一人
 (癸) 通譯員 一人
 (十一) 總計 二十六名
 一七、滿洲新地ノ酒類及賭博ノ取締ルニ關シテ滿洲政府並滿洲派遣セテ北里博士及汪木拓殖
 局長等部長ヲ行本月二十日以前ノ旅行狀況ハ前報告ニ記載スル如クニシテ本月廿五日午
 前八時三十分長春着附屬地内及清國側防疫狀況並清國側火葬場等精細視察ヲ遂ケ同日午
 後五時長春發列車ニ搭乘シ翌二十二日午前一時四十九分奉天着北里博士ハ暫時休憩ノ上
 同日午前八時四十分奉天發安奉線ニ依リ朝鮮ヲ經テ歸國ニ去リ以テ發リ尙江木部長ハ

告ヲ徵シツ、アルカ全省三十七箇所ノ府廳州縣中十七箇所ニハ已ニ侵入シ二十箇所ヨリ
ハ未ダ發生ノ報告ニ接セズルモ其概況ヲ見ルニ左記ノ如ク鐵道ニ接近セル地方及人口稠
密ナル地方ハ殆ソト侵サレタルカ如シ今吉林省中已ニ「ベスト」病ノ發生セル地方ハ左ノ
如シ

- 濱江府 雙城府 新城府 賓安府 長壽縣
- 長春府 方正縣 阿城縣 農安縣 榆樹廳
- 雙陽縣 敦化縣 寧安府 吉林府 依蘭府
- 伊通州 舒蘭縣
- 未ダ發生ノ通報ナキ地方左ノ如シ
- 密山府 延吉府 臨江府 五常府 琿春廳
- 東寧廳 濛江州 綏遠州 虎林廳 磐石縣
- 長嶺縣 樺甸縣 穆稜縣 富錦縣 和龍縣
- 德惠縣 額穆縣 汪清縣 樺川縣 饒河縣

二三、左ノ報告ニ接セリ(二月二十五日)
公主嶺支那町清國官憲ハ外部ヨリ來ル犬力車ノ通行ヲ一切禁止セシニ付同地商民ハ非常
ニ不便ヲ感シ商務會ハ官憲ニ對シ其解除方ヲ申請セルモ之ヲ許サ、ルヲ以テ同會ハ官憲
ニ反抗ノ態度ヲ取リ二月廿四日ヨリ商家一般門戸ヲ閉鎖シ清國官憲ニ對シテモ一切物品

ノ供給ヲ妨害、ルコトヲ恐リ又清國官憲ノ設立スル隔離所ハ不完全ニシテ其賄ノ如キハ乞
食扱ヒナルヲ以テ若シ商民中ニ之ニ收容セラル、者アル場合ハ到底忍ラ能ハストテ目下
商務會ハ別ニ隔離所ノ設備中ナリ云フ

二四、左ノ報告ニ接セリ(二月二十五日)
清國官憲ハ昌圖以北ノ防疫事務ヲ取扱フ爲メ公主嶺ニ防疫總局ヲ設置シ其總辦トシテ奉
天交涉司ヨリ胡某ナルモノ來リ知縣以下ヲ指揮シ防疫ヲ厲行シ又去三十一日伊通州方面
ヨリ來ル荷馬車百七十臺ヲ十三家子ヨリ追ヒ歸シタルヲ以テ目下同方面ヨリズル特産物
ハ開原方面ニ陸送シツ、アリト云フ

二五、左ノ通報ニ接セリ(二月二十五日)
膠州灣防疫ニ關スル告示左ノ通
千九百十一年三月一日船舶交通ニ關スル告示
「ベスト」病ノ海路青島ニ侵入スルヲ防遏スル爲メ膠州灣各地青島、大包島、小海口及大
碼頭ニ來ル船舶ノ旅客交通ヲ禁ス
船舶ニシテ飼料落花生食料及類擬品等ノ貨物ヲ搭載シ膠州灣各地ヨリ青島、大包島、
小海口及大碼頭ニ到ラシトスルモノハ前海ニ投錨シ十日間醫官ノ監視ヲ受クヘシ此期間
乗組員ハ檢疫醫ノ許可ヲ受クルニ非サレバ此船舶ト交通スルコトヲ得ス

船舶ニシテ前住ノ許可ヲ受ケタルトキハ曳船ヲ以テ其目的地タル青島、大包島、小海口、大碼頭ニ至ラシム乗組員ハ自由ニ上陸スルコトヲ得曳船ノ費用外之ヲ徴收セス乗組員以外ノ船客ヲ搭載シタル船舶ハ即時退航セシム
此遮斷法ト監督法トヲ實行スル爲一月二十八日以降四方大碼頭、小海口、老小泥窪團島、臺西鎮、青島碼頭會前山嘴、滄山ニ至ル沿海地方ニ監視哨兵ヲ置ク
擅ニ上岸スル者及此規定ニ違反スル者ハ現行法ニ依リ之ヲ處罰ス
灣内ニ於テ漁撈ニ從事ス青島ニ其漁獲物ヲ販賣スル漁船ニ對シテハ警察署ハ別ニ規定ヲ

設ケ許可證ヲ交付ス
船舶交通ニ關シテ千九百十一年一月二十七日告示ハ之ヲ廢止ス

四方檢疫所ニ收容セラレタル者ニ對シテ食料ヲ支拂フ能ハサル者ニ對シテ食料ヲ給與スルニ當リ
二六、左ノ報告ニ接セリ(二月二十四日)
曩昔清國信憲ニ於テ撫安驛附近渾河堡(奉天小南邊門ヨリ十五清里)ニ收容セシ乞食約二百名ノ内ニコレトシテ病ヲ爲ヌ本月二十二日迄三百五十餘名死亡シ尙續々患者發生ノ狀況ナ

ルヲ以テ遠カラス被收容者ハ全滅ニ歸スルヲ防ズ

二七、左ノ報告ニ接セリ

撫順縣防疫事務所取扱規則ノ要領ハ左ノ如シ

一、當分ノ中各員ハ毎日午前八時三十分ニ出張翌日午前八時三十分ニ交代ス此ニ違背スル時ハ處罰セラルヘシ

一、各検査員検査隊ハ交代ノ時ニ於テ視察ヲナシタル地域及其病人ノ有無ヲ確實ニ報告スルニシテ捏造或ハ隱匿取調漏ナキ様心得ルニシテ

二六、各検査員検査隊ハ確實ニ調査スヘシ事生命ニ關スル重大問題ナルヲ以テ錯誤ト認メ

ス萬一視察區域内ニ罹病者アルヲ發見シ事實ヲ報告セザリシ者アラハ違犯一回毎ニ罰

二六、報告ノ時ハ丁寧詳細ニ記述シ曖昧又ハ敷衍セル記事ヲ以テ無根ノ事實ヲ特報スルカ

如キ事アルベカラズ

一、報告表ハ必ク防疫總局ノ原定章程ニヨリ區別シ濫リ附加減漏スル事ハ細心注視

一、各検査員隊ハ検査ノ時豫防清潔法ヲ各戸ニ諭示シ各使用人ニ至ル迄自衛ヲ知ラシム

一、防疫事務所各員ノ勤務及非番時間ハ前記ニ準ス

ペスト患者日別表

場所	日					累計	備考
	二月廿一日	二月廿二日	二月廿三日	二月廿四日	二月廿五日		
旅順 都督府管内						二	
大連 都督府管内						六六	
奉天 都督府管内						二二〇	
鐵嶺 都督府管内						七九	
開原 都督府管内						二	
昌圖 都督府管内						五六	
四平街 都督府管内						一六二	
公主嶺 都督府管内						一五	
長春 都督府管内	五					一〇四	
五五						一六	
長春 都督府管内						一三	
五二						一	
五八						一〇四	
五八						二	
四六						一〇四	
四六						一	
四六						一九九	
四六						一	
合計						二二〇	

三三

一、在事務所各員シ食費薪俸ノ何レモ公費ヲ以テ之ヲ支辨ス但一日一人三角ヲ過重スヘ
 カラス

一、當番検査隊一名ノ月給ハ伙食ヲ給スル外銀四元トス但諸員ハ注意シ食費ノ過重スヘ
 但豫備巡警ニシテ常ニ支給シ居ルモノニハ此支給ナサス

一、各事務所使用ノ油、蠟燭、茶、炭等ハ出來得ル限リ節約シ確實ニ其消耗品ヲ報告ス
 ヘシ濫リニ増減浮酌スヘカラス

二八、左ノ通報ニ接セリ(二月二十五日)
 露國政府ハ「ハスト」豫防ノ爲メ「ハントイ」「フンナユン」ニ検査所ヲ置キ圖們江口ヨリ
 「フンナユン」迄國境一帯軍隊ニテ支那人ノ交通ヲ遮斷セリト云フ

二九、千金寨ニ於ケル清國警務局ニ於テハ從來噴霧器僅ニ二個ヲ備付ケシノミ夫ルカ今回
 同器三個ヲ購入使用スル事トナリ尙消毒所風呂場新設及消毒箱作製中ニシテ此ニ要ス
 ル亞鉛板ハ同局ヨリノ依頼ニヨリ當支部ヨリ實費ヲ以テ供給セリ(二月二十五日)

場	所	收容者累計	現在收容者	備考
大潭大	連家房	三〇	五	金州民政支隊直轄分ナ合算シタルモノナリ 金州民政支隊警備團店山張所管内分ナ合算シタルモノナリ 金州民政支隊警備團子高田張所管内分ナ合算シタルモノナリ
金大	蘭子	一〇八	五	
普大	橋窩	二四二	五	
大遼	天陽	二六二	五	
遼大	順天	一一一	四	
奉天	順天	二八	四	
撫順	順天	三〇	四	
鐵嶺	順天	二二〇	二	
開郭	順天	一三	二	
四公	順天	三三	二	
長公	順天	一〇三	一	
冠計	順天	一八六	七〇	
計	順天	五六一	七〇	
	順天	八二	三一九	
	順天	三九八二	三一九	

隔離所收容人員表 (二月廿四日調)

二五

通計	遼陽	法庫門	本溪湖	撫順	金州
九六	九五	一一	一一	一一	一一
一〇六	一〇三	三	三	三	三
二二八	二二七	一	一	一	一
八二	八二	四	四	四	四
九六	九六	三	三	三	三
四〇五五	三八三三	三〇	一三六	一八	一七
内	内	内	内	内	内
日本人	日本人	日本人	日本人	日本人	日本人
朝鮮人	朝鮮人	朝鮮人	朝鮮人	朝鮮人	朝鮮人
清國人	清國人	清國人	清國人	清國人	清國人
英國人	英國人	英國人	英國人	英國人	英國人

備考 一、本表ハ前日ノ正午ヨリ當日正午迄分ラ當日分トシテ計算ス
 二、清國管内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス
 三、清國管内患者數ハ清國官憲ノ通報ニ依ルヲ以テ明確ナラス

二四

附 録

開原昌圖附近ノベスト状況報告

本報告書ハ鐵嶺知縣徐麟瑞氏ヨリノ依頼ニヨリ當部ヨリ顧問醫トシテ派遣シタル檢疫醫鮫島正彦氏ノ報告ニ係ルモノナリ

報 告 書

二月十七日奉天防疫本部ノ命ニ依リ鐵嶺知縣徐麟瑞氏ノ顧問トシテ赴任ス
同日午前八時三十分奉天出發同十時三十分鐵嶺着直チニ同地經理部ニ至リ暫時ニシテ經理部主任神谷氏并ニ犬塚理事ニ面會シ午後五時四十分殘レル日本及支那消毒夫合計十二人ヲ伴ヒ開原ニ向フヘク決定シ其ノ間鐵嶺滿鐵分院ニ至リ小池氏ニ面談シベスト可檢材料採取用器具及消毒用品ヲ借り次ニ同地隔離所其他ヲ巡視ス同日午後五時四十分準備ヲ整ヘ日本消毒夫四人支那消毒夫(巡警學生)八人ト共ニ鐵嶺發同五時三十分開原着翌日知縣徐氏通譯原口氏等ト會シ打合ヲナス城外鐵開原附近ハ平穩ノ状態ナリ
二月十八日開原城内從來ノ消毒法完全ナラス依テ同地知縣等ト協議ノ結果殘レルベスト發生家屋三個ヲ燒却シ先發消毒隊清國人二十八人ニ松岡一正氏ヲ監督者トシテ城外田舎ノ消毒ニ向ハシム殊ニ城外八清里ニアル八棵樹病勢盛ニ累計六十人ノベスト患者ヲ出シ當日十八名死シタリ右消毒隊ヲシテ之等屍體并ニ發生家屋四箇所ヲ燒却セシム尙田舎發生地ニ交通遮斷ヲ行ヒ巡警ヲシテ監視セシム
二月十九日知縣徐氏通譯原口氏并ニ日本消毒夫四人支那消毒見習八人并ニ余ヲ合シテ一行十五人前日開原城外派遣隊

ト分レ昌圖驛ニ向ヒ午前七時五十分ニ出發シ同九時五十分ニ到着ス

鐵昌圖ノ附近驛ヲ去ル約三町附屬地外ノ支那家屋ニ於テベスト患者累計十二人(内六人ハ朝鮮人)死亡シ初發家屋ハ支那ヨリ燒却セルモ他ハ少シモ消毒方法ヲ施行セスト依テ直チニ同地檢疫醫澤新一郎氏並ニ日本警官支那巡警並ニ支那防疫醫員等ニ伴ハレ右發生地ノ模様ヲ巡視スルニ燒却家屋モ燒却不十分ニシテ六人ノ朝鮮人死亡家屋ハ今ニ其儘ナリ燒却家屋ノ側方ナル二人ノ支那人死亡家屋モ其儘ニシテ尙五十歲位ノ支那婦人ノ生殘ル者アリ之ヲ呼出サシメ見ルニ顔貌蒼白痴鈍呼吸促進シ苦惱ノ狀況明カナルニヨリ試ミニ咳嗽略出ヲナサシメシニ血液ヲ混スル暗赤色ノ喀痰ヲ出ス依テ疑似ベストト見做シ直チニ他ノモノニ注意ヲ促カシ之カ出入ヲ禁セシメタリ(同婦人ハ翌日死亡ス)

一行當地ニテ協議ノ上右有毒地ニ對シ斷然交通遮斷ヲ行ヒ又少シク北方ノ地ニ患者ノ隔離所ヲ設置スルコトニ決シ日本消毒夫ハ驛ニ殘シ右ノ設備ニ要スル材料等ヲ昌圖城内ヨリ翌日送付スルト同時ニ燒却其他嚴重ナル消毒交通遮斷等ヲ行フヘク爾餘ノ十一名ハ昌圖城内ニ入ル(該發生地狀態ハ附圖ニ明記ス)府驛ノ西方二十清里ニアリ二月二十日ヨリ二十三日迄昌圖城内ニアリ宿舎ハ軍兵營内ナリ城内ハ病勢猖獗ニシテ二十日迄ニ累計八十一人ニシテ常備軍ニ七人巡警九人囚人五人北洋軍四人ノ死者ヲ出シ二十一日十八人ノベスト患者ヲ出シ以來毎日五六人ツノ患者ヲ出シ既ニ百名ヲ超ヘタリ城外ニモ毎日四五人ノ患者ヲ發スト尙當日八面城ニ十八人死シ同居人十八人位逃走セリト尙興隆及四家子等ニモベスト流行甚シク興隆義ニハ既ニ二十六人ノ死者ヲ出セリト云フ右八面城ハ累計百名ヲ超ユト

城内日本人總計四十二人本年未タ一人ノ死者ナシ領事館出張所郵便局出張料理屋雜貨店綿屋等ニシテ尙醫師有田正養氏在リ日本人ハ一般ニ消毒ニ注意ヲ用ヒ出入人等其ノ他ノ消毒意ナキナシ

二十一日前記鐵昌圖附近支那ベスト患者發生所ノ婦人疑似患者ハ死亡シ家屋ハ死者ト共ニ燒却シ當日尙其儘ナリ朝鮮人ノ有毒家屋モ日本消毒隊ノ手ニヨリ燒却シ尙消毒法ヲ完全ニ行ヘリ

昌圖城内ノ防疫ハ既ニ防疫事務所等ヲ設ケ消毒夫等アルモ極メテ不完全ニシテ城内日本警官等指導ニ意ヲ用ユルモ効ナシ道路家屋ハ不潔ニシテ唯軍々隊内ハ稍ヤ消毒法モ行ハレ清潔ノ觀アリ二十二日開原ニ置キタル支那消毒人夫十四人モ當城内ニ來レリ隔離所ハ城ノ西南隅ニアリテ附近ニ屍體燒却所アルモ驚ク程不完全ナリ燒却家屋ハ之迄僅カニ一個ニ過キヌ又從來隔離所ハ十名ヲ入ル、ノミ城内ニ入りテヨリ日々知府劉宗誠、准軍頭領王懷慶防疫醫王尙忠、其他前知府鄭焯等ト協議シ殊ニ鄭氏等ハ所々危險地ニ入りテ説諭等ヲ試ムルモ人民ノ反抗容易ニ消失スヘクモアラス漸ク左ノ諸件ヲ設備スルニ至レリ(城内模様ハ略圖ニ記ス)

一 新ニ廟内隔離所患者ヲ設ケ女四十人ヲ收容シ得セシムルコト

一 前隔離所ノ少シク東方ニ健康者用ノ隔離所ヲ設ケルコト

一 知府衙門内ニ新ニ防疫總事務所ヲ設ケ從來ノ防疫事務所トノ間ニ電話ヲ通スルコト

一 城内ベスト發生家屋三個ヲ燒却スルコト(此ノ外ニ入城ノ翌日一家ヲ燒ケリ)

一 及興隆興ニ於テ三個ノ有毒家屋ヲ燒却スルコト

一 支那人ヲ以テ消毒夫トシ百名ヲ以テ十名ツノ消毒隊十班ヲ組織スルコト

一 消毒用藥品ハ總テ滿鐵ヲ經テ徐知縣ノ許ヨリ送附セラレヘキコト

一 ベスト發生地域ハ斷然交通遮斷ヲ行フコト

右ノ諸設置ハ直チニ着手サレ燒却ヲ既ニ施行サレ總事務所ハ設ケラレ隔離所ハ工事中ナリ消毒隊組成ニ就テハ日本消毒隊ヲ意ノ如ク城内ニ入ル、能ハサリシ故二十三日ニ亘リ十餘名ノ支那消毒人夫ニ消毒藥ノ調製使用法并ニ消毒方法其他屍體取扱方其他家屋等ノ燒却方法等ヲ口授セリ(出來ル限リハ實地的ニモ噴霧器等ノ使用等ヲ見習ハシム)

右十班ハ内五班ヲ鐵嶺城内外ニ置キ他ノ五班ヲ昌圖城内外ニ置ク管要スルニ昌圖城内ハ人民ノ反對ノ爲メ消毒方法ヲ行フニ困難ニシテ日本消毒隊ノ入ルハ勿論支那消毒隊迄之ヲ敵視セル模様ニシテ合同防疫ハ直捷行ヒ得ヘクモ思ハレズ然レトモ城内ニ般ノ注意ヲ引キタルハ明カナリ二十三日午後一時半同地ヲ出發シ此ノ際支那消毒夫ヲ見習ハシムヘク鐵嶺城ニ伴ヒ漸ク此ノ日附近ニ用スヘキ木材及トタン板等ヲ送り此ノ地ニ留ル日本消毒夫并ニ警官檢疫醫等ニ一切ヲ依頼シ午後二時四十分ニ驛ヲ出發シ午後七時奉天ニ着ス鐵嶺檢疫醫原田宗慶氏二十一日後ヨリ來リ求ニヨリ同氏ヲ二日昌圖府ニ留ムルコトセリ

右及報告候

追 報

檢疫 醫 員 鮫 島 正 彦

支那側ニ於テ此昌圖城内ニテ知縣知府頭領等ノ協議ニ依リ近々ノ内ニ左ノ五箇所ニ軍隊ヲ派遣シテ交通遮斷ヲ行フ

楊 大 城 八 屋 楊 小 店 朝 陽 坡
伊 通 河 門
(圖面略ス)

農安街道附近ノベスト状況報告

本書ハ長春臨時防疫支部長ノ報告ニ係ルモノニシテ同支部員ノ實地調査ニ基クモノナリ

長春ヨリ農安ニ至ル方面ノ沿道ニ於ケルベスト状況左ノ如シ村落ハ里數ヲ示ス外ニ略圖ヲ附ス

吳 家 店 距長春北方二十清里 病疫無シ
炮 手 窩 棚 同 二十五清里
内 過去斃死者 十五
現地 六
外來 九
現在、時々感染斃死ヲ出ス其數明確ナラス 五
小 城 子 距長春三十清里
過去斃死者 二十六
現地 十四
外來 十二
現在、調査員ハ二月十六日午後同地ニテ一名ノ斃死者ヲ埋葬セントシツ、アルヲ目撃ス罹病者多カルヘシ
以上ノ二村落ハ宣統二年十二月二十日頃長春ヨリノ旅行者病毒ヲ帶來セル以來村内ニ傳播シ後清國軍隊馬賊討伐ノ爲メ正月六日頃宿營中發病シ爾後二箇村内ニ蔓延シタルモノナリト

薛 家 家 屯 距長春北方三十五清里 ナシ
過去、北方三清里ノ路上ニ二名ノ旅行斃死者アリト ナシ
天 齊 窪 距長春北方四十清里 ナシ

五

燒鍋嶺 同 五十五清里
 庫金堆 同 六十三清里
 過去、斃死者 八
 現地 三
 旅行者 二十五

現在
 勾拉 溝 距長春北方七十一清里
 新開河 同 八十清里
 樊家屯 同 八十五清里
 雙榆樹 同 九十三清里
 和順昌 同 百〇一清里
 老城窩棚 同 百〇三清里
 趙家店 同 百〇八清里
 范家店 同 百十三清里
 十五家子 同 百二十一清里
 亮衣門 距長春北方百二十四清里
 温家崗 同 百三十四清里

農安 同 百四十四清里
 沿道附近及交通區域商業上關係有ヌル地點ノ病疫狀況
 小合隆 (長春北方五十五清里) 同
 長春城ヨリ懷德ニ到ルニ地點ニシテ直接ノ街路ニエラズト雖モ小市街ヲナシ戸數二百燒酒店、小雜貨店大小七八十軒ヲ算ス目下病疫猖獗居住者ト旅行者ヲ合シ五十餘名ノ死亡ヲ出セシト目下日々三四名ノ斃死者アリ同街巡警分局ノ巡官一名モ死亡セリト
 一、新家臺 (長春北方百清里) 同
 農安ヲ距ル西南約四十清里ノ村落ニシテ同村家農張氏ハ有數ノ資産家ナルカ清曆正月十日頃黑龍江ヨリ哈爾濱ヲ經凍魚ヲ積載シ來レル者同家ニ宿泊中發病シ數十人ノ家族及使用火中二十七名死亡シ止ムコトヲ得ズ二名ノ財産監守者ヲ殘シ他村ニ避難セリト右張氏ヲ診察セル清國醫師ハ翌日感染是亦死亡セリト
 一、密門 (農安ヲ距ル東南九十清里) 同
 東清線ノ一驛ニシテ毎年農安附近ヨリ穀類ヲ搬出スルコト夥多ナルモ目下病疫アルノ故ヲ以テ農安方面ヨリ密門ニ至ル道路ハ物貨ノ輸出率ニシテ交通柱絶ノ有様ナリ
 一、靠山屯 (農安東北七十清里) 同
 農産物豐富地方ニシテ農安、長春、東清沿線ニ向ケ穀類ヲ搬出スルノ額少ナカラズ目下全然交通柱絶モ同様ナリ
 沿道流行地ノ病系ハ長春哈爾濱ノ兩系ニ分リ庫金堆以南ハ長春系ニ係リ、以北ハ哈爾濱系ニ屬スルモノ、如シ其長春系ニ係ルモノハ亦前後二回ニ分ナル前者ハ舊曆十二月二十日前後(月二十日)即チ長春道臺カ長春城北門外ノ貧民ヲ

七

驅リテ隔離の追放ヲナセル際病者感染者カ逃亡シテ路上ニ旅店ニ病者波及シタルモノ、如ク後者ハ舊曆正月三四日頃
二月三日隔離の追放地ヨリ病者ヲ帶行傳播シタルモノナラン、
庫金堆以北ノ沿道及附近農安方面ハ哈爾濱系ニ屬シ主トシテ舊十二月十七八日頃一月十八九日東清線三等旅客輸送
停止ヨリ徒歩南下者ノ病者ヲ撤消セルモノナラン

三、ハエストニ對スル村民ノ注意状態及將來病疫蔓延終熄ノ豫想

沿道村民ニ總テハ清國官憲ヨリ何等豫防方法ニ關スル注意的戒諭アリシヲ見サルモ一般ニ該病ノ慘烈悲愴ナルヲ恐怖
シ只警戒心ヲ加ヘ村内ニ該患者アルヲ知ラハ患家ト交通ヲ謝絶シ亦他村ニ該患者アルヲ知ラハ交通ヲ絶テ各自衛ニ怠
ラス病患アル村落ニ盡ク門戸ヲ鎖シ旅店ハ皆休業シ沿途中平常ト同シク旅店ヲ開キ居ルモノ指ヲ屈スルニ過キス是等
營業者ト雖モ徒歩來往客其他素性ノ知レサル行旅人ヲ宿泊セシメスト故ニ街道上徒歩旅行者ノ影ヲ認メス然ルニ村落
ハ市街ト異ナリ隣接家屋トハ厚キ障壁アルニオラス殆ンド近キ獨立家屋ト同様間隔多クハ比較的蔓延ノ程度モ烈
シカラス加之交通ノ遮斷ハ自然ニ彼等村民ニ自覺サズアル如ク察知セラル、ハ實ニ好畧事ナリ

四、視察中ノ所感

村落一般住民ハ單純ナル恐怖上ノ觀念ヨリ各戸自衛的交通遮斷若クハ隔離逃避等ノ實況ハ自然防疫ノ方法ニ適合シ
且終熄ノ期アルベシト思料セラル、モ防疫上缺クベカラザル消毒方法ナキヲ以テ一度自己ノ家屋ヲ去ルモノ不日再ヒ歸
來ス日潜伏病菌爲メ再ヒ犯サル、ハ瞭然ナレハ一旦解氷ノ期ニ至リ田畑耕作時季ニ到ルカ農作ニ忙殺サレズ、病
菌ト戰フノ恐レナキヲ保セシ實ニ寒心ノ極ナラスヤ然リ而シテ清國官憲ノ諭告布達防疫方法ハ到底田舎ニ普及シ得ザ
ルハ刻下ノ現狀ニシテ調査派遺員カ携行セル消毒藥ヲ配與懇望若クハ購買方法買求メ手續キ等ヲ尋テ難免ノ難ヲ免レ
ントノ念切ナルヲ察セラル是吾人ハ討時モ早ク清國當路官憲ノ最良施設ト最善ノ設備カ沿道ニ普及サレコトヲ切望

スルモノナリ

五、農安縣内外ノ病疫狀況

農安縣巡警局長崔鳳同ノ語ル所ニ據レバ

農安、城內、過去斃死者 三

農安東北兩鄉 同 三十一

農安城内ニテハ舊曆十二月二十日一月二十日前後哈爾濱ヨリ來レル旅人城内小旅館ニテ宿泊中七名ノ内三名斃死シ
四名ハ城外ニ逃カレ家屋ハ閉鎖中ナリト

城外ハ東北兩鄉巡警分局ヨリ報告ニ舊曆十二月發生以來今日迄總數三十一名ニシテ全部外來者ナリトノ巡警局ノ調査
ハ不確實ナルカ城内商賈ニ就キ探聞スルモノ大同小異ナリ

防疫ノ施設トシテハ東南北ノ三方面ヨリ來ル旅行者ノ入城ヲ遮斷スルノ目的ヲ以テ城牆附近ノ北方魁星樓及東南方農
事試驗場家屋ヲ以テ公設宿泊所ト定メ一切同方面ヨリ來ル徒歩旅行者ノ入城ヲ許サス各城門ニハ五名ノ巡警ヲ配置シ
嚴重警戒ス

貨物ハ穀物新炭ノ外輸入ヲ禁シ入城ノ荷馬車ハ發着地點ト問屋ヲ確メ入城ヲ許與シ病者地ヨリ來ルモノ若クハ行先不
確實ノモノハ入城セシメス

城内醫學研究所ニハ二名ノ醫員アルモ防疫上ノ設備充分ナラス

城内ノ商賈ハ盛ニ營業ニ從事ス然トモ病疫ニ警戒ヲ加ヘ東南密門方面靠山屯附近ハ取引ヲ絶テ居レリ

農安商務總會ニ就キ調査スルニ物資集散狀態ハ之レヲ例年ニ比較スレハ約三割ヲ減スルモノ、如シ元來農安ハ物資ハ
通過地ナルカ故ニ他ノ消費地方ノ需要如何ニヨリ其集散額モ亦増減アリ是レ多額ノ資金ヲ有スル問屋ナキヲ以テ多額



一〇

ノ穀糧ヲ蓄積スル能ハサル故ナラシメテ然レテ目下疫病ニヨリ一時集散ヲ杜絶シタルヲ以テ輸入ノ額モ著シク減少シ殊
ニ江東方面ハ病疫流行ノ爲メ江沿糧要ノ位置ニ於テ荷馬車ノ通行ヲ阻止シ大餐廳其他遠隔地方ヨリハ病疫ヲ恐レテ出
貨セス以近日長春外國商賈ノ買入ニ因リ活氣ヲ帯ヒ城外ヨリノ入貨モ漸時増漲シ居レド唯東清線客門驛ニ向テハ城
内ヨリハ勿論附近村落ヨリ疫病ヲ避クル爲メ出貨スルモノナシ

現在城内問屋ニ蓄積ノ糧穀ハ約三萬石ニシテ大豆五分、高粱三分、麥二分ナリ日々輸入セラル、穀糧ハ約四百石輸出
先約ノモノヲ除キ略同數量ナリト

以上ノ如クニシテ農安城内ハ病疫烈シカラス稍終息状態ヲ示メシ加ニ商賈一般亦戒慎ヲ加ヘ病源地トノ交通ヲ絶テ居
レル有様ニシテ同地ヨリ長春ニ向ケ輸送セラル、糧穀ニハ危険ノ伴フナキ程度ナルコトヲ察知セラル

六、双陽縣方面

干家油房 戶數三十餘 (長春ヨリ七十里)

此ノ地清曆十二月中旬長春道臺李氏カ北門外ヲ浮浪者ヲ集メテ三十里堡ニ隔離中二十餘名逃亡シ來リシモノ、内三
四名ノ咯血死亡セル外目下罹病者ナシ防疫ニ就テハ何等ノ設備アルナク自然ニ委カセ置ケル模様ナリ

邊沿子 (干家油房ニ連接)

午後三時路上ニ個ノ屍體ト驚馬頭ノ横ハレルヲ見ル人體ハ顔面手足驚馬ト頭蓋朋邊骨顯ハレ慘憺タル光景ナリ

小河沿 (長春東南十五里)

村落ハ七八戸散在シ雙陽ヨリノ巡警派出所アリ八名ノ死亡者アリシト屍體ノ處分ニ付テハ何等消毒ノ設備ナク原來

當村ハ長春雙陽兩縣ノ管轄境ニシテ勢ヒ不行届ナルヲ免レル所ナルヘシ

范家店 (長春東南五十里 戶數十三戸)

此地ハ雙陽、長春ノ中間ニ當ルヲ以テ人馬車ノ宿驛タリ各旅店ハ廣大ナル設備ヲナシ旅客ノ便ヲ圖リツ、アル等ナ
ルモ目下各旅店門戸ヲ鎖シ就中長春方面ヨリ到レルモノハ絶對ニ宿泊ヲ拒絶サルハ、次第ニシテ其旅店主ノ言ニ依
リ一月中頃長春ヨリ雙陽ニ向ヘル八人組ノ旅客隊此地ニ宿リ其夜一名ハ咯血死亡シ續テ四名ハ翌朝死亡シ旅店使用
人亦斃死シ其後引續キ三名死亡合計九名ノ斃死者ヲ出セルトコトニテ長春ヨリノ旅行者ハ全部拒絶サレ當支部ヨ
リ派遣ノ調査員等モ宿泊ヲ肯セラレス日没後途ヲ轉シ漸ク午後九時過ニ至リ當地ヨリ遠カラサル福祥店ナル旅店ニ

宿泊スルヲ得タリト

朱家大屯 (長春東南六十五里 戶數三十餘戸)

三四旅店ノ外皆農家ニシテ今日迄未タ一人ノ斃死者ナシト然レトモ一般他村トノ交通ヲ絶テ居レリ

舍嶺口子 (長春東南七十五里 戶數二十九戸)

附近散在村落ヲ算セハ七十餘戸ニシテ同地東南七十里ヲ距ル衣兒門站ニ達スヘク西北六十里大南屯ニ至ルヲ

得

長春雙陽河街道上有數ノ雜貨舖十餘戸アリ特産物ノ取引賣買ヲ爲シ世徳成、廣隆棧、復升酒局等ハ資金豊富ナリト

官衙トシテハ税局及双陽縣巡警分局アリ

從來一人トシテ斃死者ナシ衛生法比較的行届キ巡警ハ戸口調査ニ務メ要所ニハ防疫告示ヲ爲シ行旅人ノ庇塞所ヲ設

ケル等一寒村ノ割合ニ進歩シ居レリカ、ル始末ナルモ去ル十日頃外來旅人一名罹病死セルヲ以テ一層防疫ニ注意シ

居ルトイフ

密家城子 (長春ヨリ東南九十里 戶數二十餘戸)

二三ノ旅店其他ニ就キ調査セルモ過去現在其罹病者ナキ模様ナリ粟家屯(戶數十餘)買家橋(戶數二十餘)ヲ經テ午

一

3-2597

後四後三十分雙陽縣ニ到着シ興隆旅店ニテ調査セルモ死亡者ナカリシト
 七、雙陽縣ノ位置及防疫經過

雙陽河ハ長春ヲ距ル西南百二十清里東北面ハ一帶山ヲ繞ラシ南西ノ一部平原ニ連レリ、衣兒門站ニハ八十清里、香兒河ニハ百二十清里、又西北四十五清里ニ劉家店、六十清里ニ大南屯百二十清里ニシテ驛馬站、八十五清里ニシテ伊通州ニ通ス即チ往時奉天ヨリ吉林ニ至ル街道ニ位シ戶數二百八十戶人口四千五百ヲ數フ目下疫病流行ハ猖獗ノ程度ヲ過キ沈勢ノ有様ニシテ清曆十二月二十八日外來者一名咯血死亡ニ始マリ二十九日引續キ一名死亡夫妻兒女四名ヲ斃シ正月四日外來者二名ヲ斃シ其レヨリ土地居住者ニ傳播シ正月十五日(二月十三日)迄ニ市内發病死亡セル者計三十七名附近村落十七名合計五十四名ニ達セリ知縣歐氏ハ此光景ニ驚キ防疫ニ専心シ疑似病院ヲ設ケ患者ヲ收容シ隔離所ヲ設ケ嚴重防疫ヲ行ヒ消毒方法ヲ勵行シタル結果ニヤ正月十六日以後二十日迄五日間ハ一人ノ死亡者罹病者ヲ出サス二十一日(二月十九日)一人ノ斃死者ヲ出セシト

防疫所ハ正月五日知縣衙門内ニ設ケラレ張凌辰(北洋高等警務學堂出身)ヲ主任トシ三名ノ委員ト二名ノ醫師ニ員疫巡兵四十名ヲ專屬シ疑似病院三箇所、隔離所四箇所、市街周圍要所ニハ入箇所ノ檢疫所ヲ設ケ出入人馬車ハ通行券携帶ヲ要ス旅行者ノ市街ニ入ルトキハ二日間旅店ニ留メ置キ病狀ナキヲ認メタル上隨意外出セシムル等其方法稍々當テ得タルヲ認ム死體ハ正月十八日迄附近買家橋ニ埋葬シアリシモ吉林ヨリ火葬差支ヒナキ命達ニ接シ三十七名ヲ二日間ニ火葬セリト現在疑似病院二十二名ノ患者アリ隔離所ニ男七十三名女三名柳留馬車三十一臺アリト

附近人民一般哈爾濱長春等ニ於ケル疫病猖獗ヲ耳ニセルモ毎年流行スル瘟疫若クハ凍死者ナルカ如ク意ニ介セサル有様ナリシカニ度自己ノ村落ニ斃死者ヲ出タシ咯血セル屍體ヲ目撃スルニ至リテハ恐怖ノ念禁スル能ハサリシト見(各戸門ヲ鎖シ外出セサルカ近頃漸ク營業ヲ開始セリト

八、商業狀態

疫病ノ流行セサル平時ナラハ正月後ノ穀物、雜貨ノ集散仲繼場トシテ活氣ヲ呈スヘキ時機ナルヘキニ營業ハホツク開始セル如キ有様ナレハ雜穀、雜貨ノ集散多カラズ雜穀ノ如キ一日七八十少ナキハ二十石位ナルヲ以テ商賈ハ協議シテ景况挽回策ヲ講シ居レリト其主ナル店舗ハ

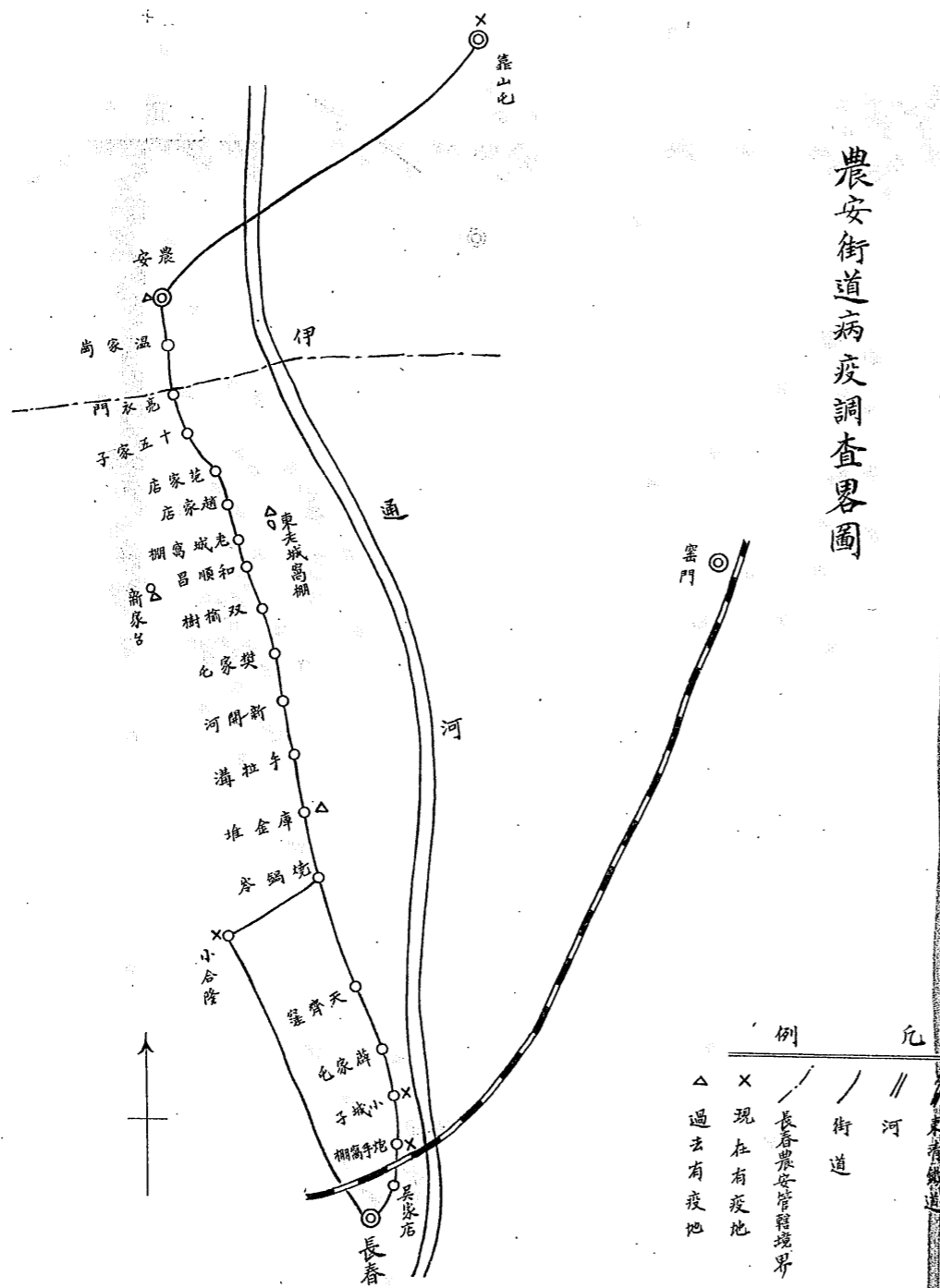
福興	當	質屋、雜貨	慶德	隆	雜貨
萬增	興	雜貨	福興	西	同 油房
玉興	和	同 油房	東升	恒	同
德源	興	同 燒耐業			

九、雙陽河ニ通スル前方各地ノ狀況

衣兒門站 ハ雙陽河ノ東方五十清里ニシテ長春及當地ヲ通過シタル疫病死亡者目下日々五六名アリト
 雁岩山 ヨリ來レル支那郵便脚夫ノ語ル處ニ依レハ同地ハ目下疫病流行日々死亡者十名平均ナリト
 右ノ次第ニシテ長春ヨリ農安ニ長春ヨリ雙陽縣ニ至ル沿道一帶ニハ疫病蔓延猖獗シ居ラサルモノト認メラル、モ哈爾濱ヨリノ徒歩南下者ノ一部ト長春ヨリ追放の隔離セラレタル貧民ノ一部カ逃亡シテ病菌ヲ散漫シタルニ基因スルモノニシテ各村落ノ住民モ交通ヲ遮斷スル惡疫豫防ノ良策タルヲ自然ニ自覺シ來リシ傾向アリ隨ツテ急激ニ傳播スル恐レハ少ナキモ消毒法ノ不完全ナルヨリ漸時附近村落一帶ニ波及傳播ヲナスノ恐レアルモノト認メラル、ニ付此際清國官憲ニ交渉シテ地方各官衙ヲシテ充分消毒勵行ヲナシムルヲ最大急務ト思料セララル

右及報告候也

尙此際ノ急務トシテ消毒藥ト消毒方法トヲ清國官憲ヨリ村落一般人民ニ知悉セシメ一面交通遮斷ヲ勵行セハ其結果



農安街道病疫調査畧圖

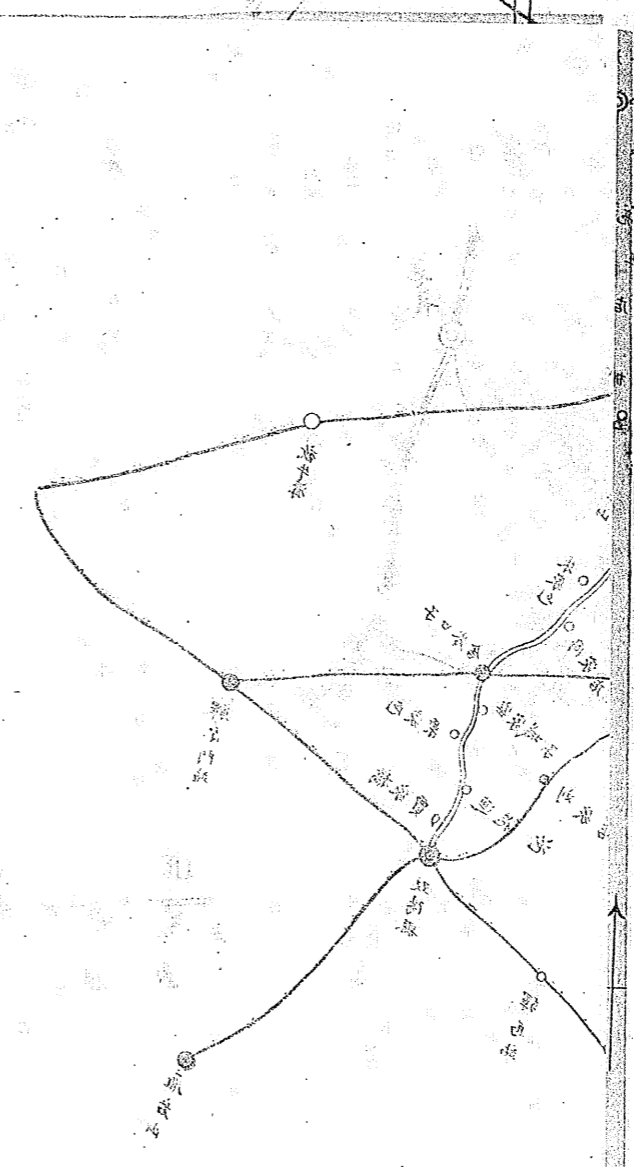
慘憺タル傳播之ヲ防クニ其途アルモノト思料候條申添候也

3-2597

0401

豫防

豫防及衛生機關設置圖



芝罘ニ於ケルペスト豫防狀況報告

本書ハ大連臨時防疫支部長ノ報告ニ係ルモノニシテ同支部員警部兼及醫師ノ實地調査シタル復命書ナリ

一、芝罘方面ニ於ケルペスト流行ノ狀況

第二、既往ノ流行

醫學衛生思想ノ幼稚ナル邦國ニ於テ統計ノ存在スルナキハ其常態ニシテ清國ニ於テモ何等ノ徵スベキモノナク通譯ノ調査ニヨリ古老ノ言ニ徵スルニ嘉慶ノ頃貴州省ニ於テペスト様疾患ノ存在ヲ認め流行頗ル猛烈ニシテ殆んど全省ニ波及シ幾十萬ノ生靈ヲ失ヒタリト云フコトアリト雖芝罘ニ於テハ昔テ之ヲ認メス只時々之レヲ、赤痢等ノ流行ヲ來タスモペストノ流行ハ這回ヲ以テ嚆矢トス

第二、芝罘ニ於ケル現今ノ流行狀況

芝罘ハ北清ニ於ケル大連、天津、營口ニ次ケル直隸、山東、盛京省ノ咽喉部ニアタル要港ニシテ東北ハ一圓海ニ面シ西南ハ山脈ヲ以テ圍繞セラレタル戸數約二萬人口約十萬ノ都市ニシテ商工業ノ發達盛ナリトス而シテ其ノ中二乃至三六苦力ヲ以テ充タサル全市ヲ分テ六區トナシ之レニ附近ノ村落ヲ併有セリ而シテ第六區ハ重ニ外國人ノ雜居地ニシテ之レニ比較的中流ノ支那家屋ヲ合公第三區第三區ハ重ニ貧民部落ニシテ多數ノ苦力ハ主トシテ此地ニ居ラ占ム第一區第四區第五區ハ一部貧民及苦力ヲ有スルモ他ハ比較的中流及上流ノモノヲ以テ充タサル而シテ初發患者ハ寔ニ本年二月十二日哈爾濱ヨリ歸來セル苦力第三區西南南方ノ客棧義盛和ニ於テペスト症狀ノ下ニ斃レ次テ翌日該客棧手代姜ナルモノニ傳染シ身體倦怠及ヒ熱發ト咳嗽トヲ發セシニ依リ第三區外通伸村ノ自宅

ニ歸リ同日死ス其ノ家族男女六名亦死スルノ不幸ニ接シ其ノ後五六日ノ間ニ於テ其ノ同族及其ノ附近ノモト
ニ傳染シ日五十名ノ死亡者ヲ出スニ至リ病毒ハ茲ニ其ノ根底ヲ布キ以テ附近及周圍ヲ侵シ次ニ種々タル交通關係
ニヨリテ市街ノ西方ヨリ漸次東方山脈ニ沿テ流黄頂ニ出テ茲ニ小流行ヲ來タシ次テ其ノ附近ノ小海陽、中海陽
村ヲ侵シ更ニ奇山所ヲ侵書シ進テ東庄ヲ侵シ市街ノ東端ナル東馬路ニ及ヘ其ノ間ニ家全滅ノ者又ハ半數ヲ殘セ
ル者等二月十二日ヨリ三月七日ニ涉リテ一日四五十名ノ死亡者ヲ出セリ而シテ今ヤ病毒ノ根底ハ容易ニ拔クヘカ
ラス初發場所即チ第三區及第三區西南河、通伸村疏黃頂奇山所ヲ中心トシテ同部及附近ニ於テ可成ク流行ヲ來タ
シ初メニ發生總數一日約十五六、清曆正月ノ頃四民休業ニ際シ種々ナル關係ニヨリ一時減少セルカ如キモ頃日ニ
至リ一日平均三十五六、多キハ三十以上ニ達シ一日ハ一日ヨリ益々多キヲ加ヘ之ノミナラス清國官憲ノ防疫ニ對
シテ無責任且ツ消毒方法ニ至リテ全ク無智ナルト是等汚染サレタル貧民及苦力ノ食ヲ求ムヘク市街ヲ横行スル
ニ至リテ其ノ傳播豫想外ニアリ何レ之時ニ於テ大流行ヲ來タズヤ且ツ又何レ之時ニ之ヲ撲滅シ得ルヤ到底未
知ニ屬ス今ニシテ清國官憲ヲ導クニベスト病毒ノ恐怖ヘキコト及如何ニシテ之ヲ豫防シ之ヲ撲滅シ得ルヤ如何ニ
シテ初メテ消毒ノ目的ヲ遂行シ得ルモナク又ベストハ如何ナル状態ニ於テ流行ヲ來タズヤ等懇切之ヲ指導ス
ル等領事團ヲ奮起スルニアラス今ハ現在ノ芝罘ハ果シテ幾干月今日ノ状態ヲ維持シ得ルヤ頗ル疑問ニ屬ス而シテ
二月十二日ヨリ今日(十九日)ニ涉リテ公表セシモノ總數四百四十八名罹病セシ者男女ヲ通シテ四百四十八名是等
ハ主トシテ支那人ニシテ外國人トシテハ避病舍勤務佛國人ノ看護婦二名罹病死セシモノ今官憲ノ公表セルモノ
ヲ示セハ別表ヲ如シ

ハ必ス二日三十ノ差アルベシト信ス而シテ官憲ノベストト決定ラ下ヌヤ更ニ細菌學的ノ檢索ヲ待タズ單ニ臨床
上ノ觀察ニ依リテ満足スル今日ノ状態ニシテ尙又患者發生報告力悉ク死體ナルヨリ察スルニ町家ノ言ニ依リテ苦
力ハ毎年此時期ニ於テ凍死及餓死スル者一日十ヲ下ラスト且ツ又現今ベストト流行ニ依リテ第六區ノ如キ苦力出
入ニ就テ監視セル今日自然軒下等ニ於テ雨露ヲ凌ク能ハス隨テ保温ノ上ニ於テ益惡結果ヲ來シ是等死者比較的多
數ニ存在スベク而カモ鏡檢、培養等細菌學的檢査ニ依ラスニ臨牀學的所見ニヨリ決定セル所ヨリ察スレバ或
ハベスト病中支那人間ニ多數ニ存在スル肺結核及一般平病死者モ此中ニ起算セラレ、ナキヤ否ヤ不可知雖然一時
ニ突然多數ニ爆發スル決シテベストト否定スベクモアラス要之ベストト病ハ多數ニ存在スベク同時ニベスト病中平
病者モ皆無ト云フベカラズ以テ故醫事衛生思想幼稚邦國ニ於テ精確ナル統計ヲ集メントスル事固ヨリ難事ニ屬ス
余等ハ茲ニ其ノ大體ヲ示スノミ而シテ芝罘ノベストト發生狀況ニ微スルニ限局セルニアラス散在性ニ各處ニ發見サ
ルルニ依リテ若シモ病毒ノ分布區域極メテ廣汎ナルモノ、如シ而シテ南山麓ノ埋葬地ヲ觀察スルニ、二ノ山野
ニ殆シト新墓表ヲ以テ埋メラレ尙屍棺ノ放置セラレタルモノ百二十、二十人ノ苦力埋葬ニ從事スト雖尙且ツ多
數ニ存在シ又一部ハ女子埋葬地ニ於テモ屍棺二十一個放置ナル、ヨリ見レハ初發ヨリ今日ニ至リ發生總數千名以
上ニ達スルモ、如シ且ツ支那官憲ノ言ニ依レハ地下五尺ノ穴ヲ掘リ棺ヲ埋葬スト云フト雖現狀ニ微スルニ僅カ
ニ棺ノ周圍ヨリ土壤ヲ集メテ之ヲ徹ヒ又ハ二尺地下ヲ掘開シテ之ヲ埋ムルモノ、如シ

二、船舶檢疫方法及其ノ狀況
船舶檢疫法ニ稅關長道臺ノ指揮ニ依リ専ラ之ヲ監督シ重ニ入港船舶特ニ船員及乘客ニ對シテ之ヲ行ヒ荷物ニ對シ

之ハ之ヲ行ハス検査醫トシテ埃國醫トシテ日本醫金田義一郎ノ三名之ニ充タリ別ニ人ヲ從ヘス入港船舶
 毎三單獨ニ出張検査ヲナス其ノ方法ハ望診ニシテ一二等外國人ニシテ異狀ナキ時ハ之ヲ上陸セシムルモ支那人ニ
 至リテハ其如何ニ拘テ上陸ヲ許サズ醫師ノ見込ニ依リ三日乃至五日ノ停船ヲ行ヒ出港セシム若シ患者又ハ疑似
 患者アル時之ヲ避病舎ニ移シ健康者ハ之ヲ船舶内ニ抑留ス毎日検査ヲ行ハズ一定時日ノ後再々検査ヲ行ヒ異狀ナ
 キ時之ヲ出港セシム荷物モ此時初メテ陸揚ヲ許ス其時日ハ一ニ海關長ノ意見ニ依リ長短伸縮スルコトアリト云
 フ要スルニ船舶検査ニ對シテハ當局ノ方針未定ニシテ場合ニ依テ其方法ヲ異ニスルヲ以テ精確ナル報告ヲナス能ハ
 サズ遺憾トス

三、隔離所及隔離病舎ノ状況

隔離所トシテハ船舶検査ニ於テ患者發見ノ際健康者ヲ隔離スル約三千人收容力ヲ有スル芝罘島隔離所ヲ有スルモ
 但シ現在之ヲ閉鎖シ居リ市內及市外ニ於テハ貧民ノ之ヲ庇塞所トシテ遂テ婦女子ニ對シテ一定ノ家庭ヲ設ケ
 テ之ヲ給養力アル者ハ任意解放スル狀況ニシテ別ニ一定ノ隔離所ヲ設ケテ而シテ只庇塞所ニ於テ其ノ別ヲ有スル
 ノミ是レトモ只一日一回ノ検査ヲ行フガミニシテ給養ハ一日拾錢位トシテ別ニ取締ヲカナス
 隔離病舎トシテ西沙江ニ煉瓦造ニシテ外廊ヲ有スル支那家屋事務室ニ棟ニ病棟三ヲ有シ收容力約三百人之以テ從事
 員トシテ英國醫一名、埃國醫一名(兼勤)支那醫一名、支那人看護人三名、佛國看護婦二名、事務員一名、苦力三名
 外ニ衛生隊二廿人ヲ有ス之ヲ觀察セシメ外門ニ一更衣室ヲ設ケ事務棟ノ一部ハ事務員詰所ニ一部ハ醫員看護婦詰
 所ニ充テ病棟初メヨリ一號棟ニ左方注意患者、右方、輕症室、二號棟ハ重症室、三號棟ハ一部婦人患者室、六部
 ハ附屬室トシテ布團及屍棺等ヲ納メ便所及浴場ヲ發見スル能ハス患者ヲ收容セシムルハ一月十六日ニシテ初メヨリ二月
 十九日ニ至リ入院總數九十名内死亡七十名現在計七名内注意患者一名、輕症患者六名、重症患者八名婦人患者三名

シテ全治二名ヲ有スト云フ而シテ從事員ニシテ佛國看護婦二名罹病死亡セシ外一人ハ院内感染ナシト云フ而シテ患
 者ノ收容及死體運搬ニハ一ニ裏門ヨリス一病棟ハ更ニ之ヲ二室ニ分テ室内ハ中央土間ニシテ左右ニ高さ約三尺ノ床
 張セル病床ヲ有シ患者ハ兩側ヨリ土間ヲ正中トシテ仰臥シ各人一個ノ石灰ヲ滿テタル木製唾壺ヲ有ス而シテ患者ハ
 アンペラノ上ニ臥シ各一枚ノ布團ヲ有シ病室ノ廣シ頗ル廣大ニシテ一病棟百人ヲ收容スルモ自ラ餘裕ヲ有シ作業上
 不便ナラスト信ス而シテ各病棟其ノ構造ヲ一ニ看護人等從事員ノ狀況ヲ見ルニ頭部ヲ露出シテ豫防衣呼吸器及手袋
 ナ用フルノミ更ニ消毒藥ノ供ヘナシ只時々吸油ヲ床上ニ散布スルノミ病室事務室ノ扉ヒナク豫防衣ノ儘相往復シ更
 ニ健康地不健康地ノ區別ナク且ツ手ノ消毒ヲ行ハス如何ニ注意觀察スルモ一ノ消毒藥ノ配置アル方久只歸宅ノ節全
 部ヲ脱シ熱湯ヲ以テ洗濯スルノミナリ病室從事員ニ於テ既ニ然リ患者死者運搬ニ際シテ又更ニ消毒等ノ事ナシ而シ
 テ患者ノ症狀トシテハ高熱咳嗽血痰ヲ出シテ死亡ス偶々觀察中入院患者一名ヲ得テ試ミニ咳嗽ヲナシシムルニ血痰
 ナ略出シタリ而シテ速キハ入院當日運クモ二三日中ニ死亡スト云フ食事トシテハ重湯ヲ與ヘ藥石トシテハ與テ劑ト
 シテ一ノ水藥ヲ與フルノ外他ノ療法ヲ加ヘス從事員ニ至リテモ未タ豫防注射等ノ事ナシト云フ門外更衣室ノ如キ單
 ニ其ノ形ヲ有スルノミ只一脚ノ椅子ト一個ノストロトト存シ何等消毒ノ設備ヲ加ヘズ而シテ新築ニ
 係ルモノナリ要之豫防方法ノ大体ヲ知悉スルト雖消毒ニ就テノ觀念ニ乏シク只臭油ヲ散布シテ甘シシルカ如キ其
 ノ枝葉ヲ訊ネテ根底ヲ探ラサルモノ、如シ斯クノ如キ狀態ニヨレバ院内感染到底ニ佛國人ニ止マラス從事員漸次
 侵サルヘキノ期アルヘキヲ信ス又一面ニ於テハ病室ヲシテ他ニ散亂セシムルノ恐レナキニアラサ偶々以テ彼ノ備醫
 英醫、埃醫、支那醫ノ醫學ノ程度ヲ知ルヘク以テ支那ニ於ケル防疫ノ如何ノ程度ニ於テ行ハレツ、アルヤヲ知ルニ
 足ルヘシ

四、患者發見方法及其ノ狀況

便宜上之ヲ市内ト市外ト三分テ報告スヘシ
市内ハ道臺ノ命ヲ受ケ巡警總局長之ヲ監督ス

第一 檢病の戸口調査

檢病的戸口調査トシテハ巡警總局ヨリ特ニ巡警四十名ヲ以テ之ニ充テ市内ニハ區ノ大小ニヨリ第一區ニ十人第二區ヨリ第六區ニ亘リ各六人ヲ以テ檢病的戸口調査及患者死者發見ニ勉メ一日一回乃至二回調査スト云フ之ヲ視察スルニ斯ノ如キコトナシ若シベストニ疑ハシキ患者アラハ直ニ總局ニ通報ス總局ニ於テハ施療院醫員ニ中初メハ内科醫ヲ送リ以テ外科醫ヲ派シテベストノ有無ヲ確カメベストナラハ醫師ハ之ヲ總局ニ通ス同時ニ巡警ヲシテ一部交通ヲ斷タシム而シテ更ニ總局ヨリハ最寄ニ駐屯セル衛生隊ヲ派遣シテ之ヲ避病舎ニ送ルベストニアラサル時ハ之ヲ施療院ニ收容ス巡警屍體ヲ發見スル時ハ之ヲ總局ニ通報ス總局ヨリハ内科醫ヲ派シテ之ヲ診察セシメ最寄ノ衛生隊ヲシテ市街ヲ距ル五六清里ナル南山麓ノ墓地ニ運搬シ廣仁堂係員ニ交附ス該係員ハ之ヲ深サ五尺ノ穴ヲ穿テ埋葬スト云フ之レカ運搬ニ要スル物件ハ全部廣仁堂ニテ支給ス患者ナラハ鼻口等ノ蔽ヒヲ施スナク臭油散布ノ上戸板ニ之ヲ載セ屍體ナラハ石灰ヲ撒布セル箱ニ收メ衛生隊ヲシテ之ヲ運搬セシム而シテ別ニ之レカ監督者ヲ附セス此衛生隊員ハ單ニ呼吸器ト手袋トヲ用フルノミ(實際ニハ之ヲ用ヒ居ラス)而シテ屍體ト患者トニ論ナク手續ヲ履行スル間之ヲ監視スト云フト雖之ヲ信スヘカラス

附

患者發生家屋及附近ニ對シテノ處置
患家ニ對シテハ患者搬出ノ際其ノ儘ニ之ヲ出シ土間ニハ石灰ヲ撒布シ兼テ臭油ヲ五倍乃至二十倍ニ稀釋シタルモノヲ以テ患者ノ使用セシ夜具敷布等ニ撒布シ且又汚染シタルモノハ廉價ナルモノハ之ヲ燒棄シ高價ナルモノハ其ノ儘搬出セシム家族ハ貧困者ニ在テハ庇塞所ニ收容ス但シ健康診斷ヲ行ハス資力アル者ハ親族又ハ知人ニ許シ至ラシム若シ婦女子アラハ更ニ廣仁堂ニ命シテ適當ノ場所ニ收容セシム而シテ發生家屋ニ對シテハ之ヲ釘封シベスト病終息迄之ヲ解カシ隣接家屋ニ至リテハ更ニ何等ノ處置ヲ施サス現場ヲ觀察セシニ一トシテ完全セルモノナシ

第二 健康診斷

ベスト防疫ヲ爲ス更ニ聘用セル支那醫二名巡警各々二名ヲ隨ヘ六區ヲ二分シテ一ハ一、三、六區、一ハ二、四、五區ト分担シ客メ健康診斷ヲ行フ一日一人一回ソ、巡視スルト云フモ實際ニ微スルニ任意之ニ赴キ只門ヲ敲キ有病沒有病ヲ呼フノミ而シテ若シ發見スル時ハ總局ニ通報シテ衛生隊ヲ派遣ヲ乞ヒ之ヲ避病院ニ送ラシム

第三 衛生隊

巡警總局長監督フ下ニ市内ニ衛生隊員七十八ヲ置キ專ラ患者死者ノ運搬及消毒等ニ預ラシム而シテ其ノ配置ハ西沙江(避病舎)三十三人、庇塞所三十五人、儒林街(流行地)十五人之レハ檢病的戸口調査員死體發見ノ時及健康診斷員ノ求メヨリ又ハ總局ノ命ニヨリ患、死者ノ運搬及消毒ニ從事ス實際ニ調査スルニ斯ノ如キ配置人員ヲ認ムル能ハス庇塞所ノ如キ僅カニ十人ノミ、人ノ言ニ依レハ此人夫ハ常備ニテラスシテ處々浮浪苦力ヲシテ臨時之ニ充タラシムト云フ而シテ監督者ナキ衛生隊員ヲシテ運搬セシムル爲メ悉ク南山麓ニ屍體ヲ運搬スルナク硫黃頂ノ南道路ノ一側ニ屍棺百餘個ヲ放置シアルヲ實見セリ

市外

市外及村落ニテハ巡防衛ナルモノアリテ道臺ノ命ヲ受ケ專ラ其ノ任ニ當タリ村長ニ命シテ患者及死者ノ發見ニ勉メ若シ死者アラハ南山麓ニ病者ハ避病舎ニ送リ之レカ運搬ニハ苦力ヲ以テ之ニ充テ家屋及物品ニ對シテハ市

内ト大差ナシ而シテ山東省内ニモ病毒ノ存在ヲ認ムルニ依リ之レカ侵入防歴ニ爲メ國道主要所ニ於テ兵士ヲ以テ監視ヲナシメ有病者ノ出入ヲ禁シ健康者ハ任意通行セシムルニ當リ其ノ監視ノ厳格ニ依リテ病者ノ復原ヲ促スルニ努ムルニ在リ

五、消毒所及其ノ設備

消毒ノ思想ニ至リテハ皆無ニシテ何等ノ設備ナシシテモ其ノ消毒ノ功効ニ依リテ病者ノ復原ヲ促スルニ努ムルニ在リ

六、官憲ノ防疫ニ對スル方針並ニ其ノ實況

今回ノペスト流行ニ對シテハ中心稍焦慮セルモノ、如ク防疫費ノ支出ヲ當局ニ促テ告諭ヲ發シ又新紙ヲ利用シテ其ノ傳染ノ如何ニ激烈ナルヤ如何ニ恐ルベキモノナルヲ示シテ市面ニ於テハ巡警總局長監督シテ防疫機關ヲ設ケ比較的新智識ヲ有スル英醫二名支那醫二名日本醫一名ヲ任用シ兼テ聘用セル填國人醫一名計五名ヲ重用シテ專ラ防疫ニ當ラシメ支那醫二名填國人醫一名健康診斷及治療ニ日本醫及填國人醫(兼任)一名船舶檢疫ニ當ラシメ又各巡警分局内ニ四名ノ檢病係ヲ設ケ戸口調査ニ當ラシメ更ニ衛生隊ヲ組織シテ患者ノ運搬及消毒ニ當タラシメ避病舎トシテハ西沙江ニ約三百人收容ノ病舎ヲ用意シ市外ニ於テハ海防衛ヲシテ防疫ノ任ニ充タラシメ尙北京政府ヨリハ防疫ニ對シテ暴徒ノ蜂起セシムルヲ慮リ陸軍部ヨリ兵三百ヲ派遣シテ萬一ノ用意ニ充ツル等比較的勉メツ、アルモノ、如ク然リト雖實況ニ徴スルニ醫學ノ程度ノ幼稚ナルヲ消毒方法ノ如キ皆無ニシテ且ツ上長ニ於テハ意其ノ事ニ在リト雖爲スヘキ處置ヲ知ラザルト上意下達セザル等ニヨリ又ハ一般民度ノ進歩セザルベスト病ヲ以テニ苦力病トナシ大人ヲ以テ罹病スヘキモノニアラスト爲ス等種々ナル關係ニヨリ防疫方法トシテ満足スヘキモノナク殊ニ防疫設備ニ至リテハ何等ノ施設ナシ官憲ノ高ク處外實況トシテ全然相反セルヲ以テシテ防疫ノ實況ニ對シテ領事團ノ意圖ニ對シテ專ラ自衛ノ方法ヲ採取スルコトハ防疫機關ニ對シテ清國官憲ニ交涉スルカ如クハ種々ナク事情ニ依リ

又ハ防疫手段ノ進歩ニ伴フテ暴徒ノ蜂起ニヨリ受クヘキ損害ノ多大ナランコトヲ豫想シ勉メテ之ヲ避ケ單ニ自衛ノ方法ヲ執ルモノ、如シ其ノ機關トシテハ第六區東馬路ニ衛生醫院ヲ新設シ填國醫グロローセンヲ以テ之ヲ主宰セシメ重ニ外國人ノ患者ヲ收容スルコト、シ然シテ附近ニ於ケル支那人ト雖防疫ノ關係上必要ナルモノハ之ヲ收容シ一面ニ於テハ巡警總局長ニ交涉シ外國人雜居地内ニハ支那苦力及貧民ノ往來ヲ禁シ別ニ市場、屠獸場、洗濯屋、パン屋ヲ急設シ外國人監督ノ下ニ一定ノ支那人ヲ使用シテ之レカ販賣ニ充タラシメ隱然支那市街トノ交通ヲ斷テ殊ニ日本領事館ノ如キハ別ニ自衛上流行地ノ狀況ヲ調査シ且ツ同國人萬一ノ罹病ヲ慮リ民團費ヲ以テ日本人ノ檢疫所ヲ設ケ從事員二名ヲ使用シテ單簡ナル消毒所及之ニ要スル藥品ヲ用意シ且ツ民團醫ヲシテ豫防接種ヲ行ヒ既ニ完了ヲ告ケ且ツ外出ノ時ハ一般ニ呼吸器ノ使用ヲ勵行シ之ニ背ク者ハ處罰ヲ受クルコト、セリ且ツ清潔法ヲ勵行シ加ヘテ捕鼠ヲ督勵セリ猶瘡傷ニ注意ヲ發シ熱發者アル時ハ直ニ醫診ヲ乞ハシムル等用意周到ナルカ如シ其ノ他外國人間ニ於テモ夫々自衛方法ヲ講シツ、アルモノ、如シ然シ領事團ノ決議トシテハ重ナルモノナシ

八、清國人ノ防疫ニ關スル感情

一般民度ノ低キハ衛生思想ノ皆無ナル一般傳染病ニ對シテナヘ恐ルヘキモノタルコトヲ知ラス加フルニ官憲ノ庶民ニ對スル態度ノ尊大ニシテ懇切、説明ヲ欠クコト及ヒ往昔ヨリノ風俗習慣ノ關係ヨリ家屋物品ノ消毒、檢診、釘封等且ツハ財貨上ノ問題及ヒ病者特ニ死者ニ對スル禮ヲ盡ス能ハサルトニ依リ一般ニ防疫ヲ忌ム殊ニ這回ノペストノ如キ彼等ノ常ニ動物視セル下層社會ヲ侵スニ依リニ苦力病トナシ此苦力病ニシテ而カモ防疫方法嚴重ナルニ依リ彼等ハ其ノ理由ヲ知ラス益々以テ不快ヲ感シ他ノ流行性疾患ニ對スルヨリモ層層官憲ノ處置ニ疑感ヲ生シ全市民ノ大多數ハ防疫ヲ好ムモノナク僅ニ其ノ一分ハ之ヲ口ニスルモ強ヒテ實行ヲ欲セザルモノ、如シ

明治四十四年二月二十日

大連民政署長 青村 源太郎 殿

方 山 董
登 一 郎

（Faded handwritten text, likely a report or official communication regarding administrative matters or health reports from the time.)

計	船南	外南	上南	西南	西南	東南	小西	西海	嶺南	奇山	中嶺	通嶺	第嶺	第嶺	第嶺	第嶺	第嶺	第嶺	一月十八日		同十九日		同二十日		同廿一日		同廿二日		同廿三日		同廿四日		同廿五日		同廿六日		同廿七日	
																			發	死	發	死	發	死	發	死	發	死	發	死	發	死	發	死	發	死	發	死
二六																																						
一〇																																						
二																																						
二																																						
一																																						
三																																						
三																																						
六																																						
五																																						
五																																						
四																																						
二																																						
六																																						
九																																						
一																																						
九																																						
一〇																																						
九																																						
四																																						
一																																						
二																																						
二																																						
二																																						

二五

計	船	西	外	上	西	東	小	西	鏡	奇	中	通	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	二月七日		
																										發	治	
三																												同
三																												同
九																												同
九																												同
五																												同
五																												同
五																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												同
九																												

計	船西	外上	西	西	東	小	西	航	奇	中	通	第	第	第	第	第	日	發	治	死	發	
	南	國	南	南	海	陽	山	頂	所	村	區	區	區	區	區	區						
							○										二月十七日					
三							○					二	一	三	四	七	同					
																	十八日					
三							○					一	二	三	一	〇	同					
																	十九日					
七							○					一	二	一	六	二	同					
																	二十日					
																	同					
																	廿一日					
																	同					
																	廿二日					
																	同					
																	廿三日					
																	同					
																	廿四日					
																	同					
																	廿五日					
																	同					
																	廿六日					

二八

發病總數
死亡總數
全治總數
現在數

四四八
四二六
一七五
一七

備考

表中○印、避病舍内
同、印、庇塞所内
同、△印、佛國病院内

二九

四十三年度ニ於ケル若力ノ往復渡航航數		月別	往航	復航	備考
一	月	一六六五	三九五七		汽船ニヨリ芝罘ヘ往復シタル若力數ニシテ或船ニヨリ往復シタル數ヲ含マス然レトモ或ニテハ全渡航者數ノ約二割乃至三割往復スル由ニ付其ノ概略數ハ推知ニ難カラス
二	月	一三〇〇	六五六		
三	月	一三〇〇	六七五		
四	月	五一五二	二六二六		
五	月	四〇五四	三〇二七		
六	月	二二九三	二五七六		
七	月	二二一七	二二五九		
八	月	二八六七	二二二五		
九	月	二六四四	二〇三八		
十	月	二五〇六	二四〇七		
十一	月	二三〇九	三一五三		
計	月	一九二〇	三七一五		
計	月	三〇二七	二九二四		

右渡航數ハ大連芝罘間ヲ往復シタルモノナリ

一九一一年(明治四十四年)二月十三日清國芝罘米國領事ジョン、フオーラー氏ノ許ニ達セシ山東省内ベスト患者數ノ電報々告ノ概要左ノ如シ

地名	死者總數	前週ノ狀況
萊州府	二二〇	増加
黃州府	一〇〇	減少セズ
平度州	五〇	減少セズ
登州府	四五	減少セズ
維縣	三〇	不明
泰南府	一五	不明
張南府	一	不明
濟南府	一	不明
青州府	一	不明
沂州府	一	不明
福寧府	一	不明
濟寧府	一	不明
合計	四七二	不明

一九一一年(明治四十四年)二月七日發行ノリス、チャイナ、デトリ、ニユースノ報道ニ由レバ張夏ニ死亡者十八名章邸ニ死亡者百八十八名ヲ出セリト

告示 第一號

三二

芝罘第六區外國人居留地内ニベスト患者ノ發生スル場合之ヲ收容スヘキ諸般ノ設備ヲ完成セリ
 電話第百三十五番ヲ委員會事務所ニ取附ケタレハ疑ハシキ患者ノ發生セシ時ハ直チニ事務所當直委員ニ報告シ患者ノ
 必要ニ應ジ時ヲ移サズ病院或ハ隔離所ニ收容セシムヘシ
 疑ハシキ患者ニ關スル確實ナル情報ハ直チニ委員會本部ニ報告シ事實ノ診査ヲ受クヘシ
 使用清國人ハ移動セシメス且ツ市内清國人ノ居住區内ニ立寄ラシメサル様特ニ注意セサル可ラス此警告ニ服從セサル
 時ハ外國人居住地内ノ清國人及ヒ外國人ノ間ニ惡疫ヲ傳播セシムルニ至ルヘシ
 惡疫感染者ヲ屢々普通人力車ニ乗用スル危險アルヲ以テ消毒セン自用車ノ他ハ乗用セサルヲ可トス
 市内ニテ瓶詰ニセシ牛乳ノ飲用ヲ廢止スヘシ一ツハ牛乳ニ由リ又一ツハ配達夫ヨリ惡疫傳播ノ懼アレハナリ
 従前ノ如ク夜間汚物運搬苦力ヲシテ居留地内ニ入ラシム可ラス
 市街通行ノ際ハ何人ト雖呼吸器ヲ帶用スヘシ
 一九一一年(明治四十四年)一月三十一日

告示 第二號

芝罘 各國委員會

最近四日間ニ於ケルベスト死亡者平均數一日四名乃至六名(探知シ得シ情報ニ由ル)

南東部第六區ニ發生セシモノニ...

市路上ニ斃死セリモノ...

居住者ハ可成呼吸器ヲ帶用スベキコト

使用清國人モ呼吸器ヲ帶用シ清國人居住區内ニ立寄ラシメサル様特ニ注意スベキコト

洗濯業及ヒ市場ハ速カニ營業ノ常態ニ復サシムヘシ

第六區内患者運搬收容方法既ニ完備セリ

何時ニテモ必要ニ應ジ各國委員會事務所ノ援助ヲ得ラルヘキヲ以テ電話百三十五番ニ紹介スヘシ

市内瓶詰ノ牛乳ハ配達夫ヨリ惡疫感染ノ危險アリ

夜間汚物運搬苦力ヲシテ屋内ニ入ラシム可ラス

ベストノ病勢現今未タ猖獗ナラザレドモ漸次蔓延ノ兆アリ拙者ハ小兒及ヒ婦人ヲ他ノ地方ヘ避難セシムルコトヲ重ネ

一九一一年(明治四十四年)二月三十一日

芝罘衛生委員 オット、ガロウセン醫師

左記ノ營業機關ノ設備ヲ完成シ二月三日ヨリ營業ヲ開始ス

日本郵便局東方構内市場

舊アスター、ハウス建築内洗濯屋

オウシニアテシス氏事務所内屠獸場

各國委員會事務所裏麵包製造場

三三

以上記載ノ營業者ハ衛生委員ノ直接監督ノ下ニ營業セルヲ以テ特ニ援助ヲ與ヘラレントヲ希望ス

一九一一年(明治四十四年)二月三日

各 國 委 員 會

第 四 號

三月十五日以降本日迄診察セシ患者數約百名内五十名ハ東海岸ベスト病院ニ收容セリ

最近數日間ニ一日十名乃至十五名ノ新患者ヲ發生セリ第六區内ニテハ最近六日間新患者ノ發生ヲ見ス

今日ヨリシ、ベネフト醫師ハ東海岸隔離病院ヲ擔任シガロウセン醫師ヲ補佐スヘシ

ツアン醫師ハ清國人居住區内ヲ時々臨檢シ患者ノ所在地及ビ其ノ取扱方法ヲ清國人ニ通知教示スヘシ

本月六日七日八日午後三時ヨリ四時迄ベスト豫防注射クビーチ、ホテルニ於テ施行ス其ノ料左ノ如シ

大體大人ニテハ一元、小兒ニテハ五角

貧困者ハ注射料ヲ免除ス豫防費ニ寄附スヘシ

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン

芝 罘 衛 生 部

市内東部附近ニ數名ノ疑似患者ヲ發見セリ其ノ他第六區西南部及ビ其ノ境界地内ニ發見セシモノアリ
第六區中央ニ發生ノ報告アリシ患者ハ驗鏡ノ結果ベスト患者ニアラサルコトヲ發見セリ
本日市中他區内ヨリ第六區内ニ來リ路上ニ斃死セル患者一名ヲ發見セリ
路上吐痰ノ習慣ハ惡疫傳播上危險ナルニ道路掃除人ノミニテハ掃除度數不足セルヲ以テ各家屋主ハ一日二回屋前道路
ヲ掃除シ生石灰若クハ他ノ消毒藥ヲ撒布スヘシ
街上通行ノ際呼吸器ノ帶用ヲ怠ルヘカラス
ベスト血清注射液着荷セルヲ以テ五百名乃至六百名ノ注射ニ應スルコトヲ得
一九一一年(明治四十四年)二月十日

芝 罘 衛 生 部

ガロウセン醫師

本署ハ遼陽附近楊林子村落ニ於ケルベスト状況ニ關シ遼陽臨時防疫支部長ノ報告シタルモノナリ
 楊林子ハ遼陽城ヲ距ル西南方八清里(當地駐屯工兵第十二大隊所在地ヨリ約四清里鐵道線路ノ西方三清里)戸數百四
 十八口男三百七十六、女四百三十三、合計八百七十九人ヲ有ス
 一、患者
 本月十九日以来十五名ノ患者ヲ發見シ内四名ハ検査ノ結果ベスト菌ヲ發見シ内八名ハ死亡シタリ
 一、死體發見
 本月十三日以後ニ於テ死亡シ雪ニ埋没シタル屍體十四個ヲ發見シ前死亡者ト共ニ全部火葬ニ附シタリ
 一、系統
 本年二月又ハ二月初旬ニ於テ北方(奉天ナラン)ヨリ一臺ニハ麻、豆油ヲ積ミ一臺ニハ屍體二個ヲ積ミ上部ニ麻及煙
 草葉ヲ以テ覆ヒタル馬車ヲ牽キ楊林子村落ノ中央支那客棧宋家店事宋吉増方ニ午後一時頃到着シ晝飯ヲ喫シ同三時
 頃他ノ馬車ニ付ケタル馬匹ト共ニ屍體ヲ積ミタル馬車ニ駛キ合セ一臺ノ馬車ハ覆ヒテ用ニ供シタル麻等ハ牛莊ノ南
 方小崗瓦寨村王紹雲ナル者受取ニ來ルヘシト言ヒ遺シテ南方ニ向ツテ何處ヘカ拉シ去リタルモノアリト而シテ當時
 屍體ノ上部ヲ麻煙草葉ヲ以テ覆ヒタルハ屍體ヲ隱蔽シタル其臭氣ヲ防ク手段ナリシモノ、如ク南下スルニ當リテ各
 所ノ檢疫嚴重ナル爲メ奉天營口ノ本街道ヲ通行セスシテ間道ナル木村ヲ通過シ來ルモ遼陽州ノ交通檢疫ノ殊ニ嚴重
 ナルニ恐レ馬匹數ヲ増シテ急行シタル者ニシテ右屍體ハベストニテ斃レタル者ト認メラル而シテ初發患者ハ同客棧

楊林子ベスト状況報告

一、位置
 本署ハ遼陽附近楊林子村落ニ於ケルベスト状況ニ關シ遼陽臨時防疫支部長ノ報告シタルモノナリ

楊林子ハ遼陽城ヲ距ル西南方八清里(當地駐屯工兵第十二大隊所在地ヨリ約四清里鐵道線路ノ西方三清里)戸數百四
 十八口男三百七十六、女四百三十三、合計八百七十九人ヲ有ス

一、患者
 本月十九日以来十五名ノ患者ヲ發見シ内四名ハ検査ノ結果ベスト菌ヲ發見シ内八名ハ死亡シタリ

一、死體發見
 本月十三日以後ニ於テ死亡シ雪ニ埋没シタル屍體十四個ヲ發見シ前死亡者ト共ニ全部火葬ニ附シタリ

一、系統
 本年二月又ハ二月初旬ニ於テ北方(奉天ナラン)ヨリ一臺ニハ麻、豆油ヲ積ミ一臺ニハ屍體二個ヲ積ミ上部ニ麻及煙
 草葉ヲ以テ覆ヒタル馬車ヲ牽キ楊林子村落ノ中央支那客棧宋家店事宋吉増方ニ午後一時頃到着シ晝飯ヲ喫シ同三時
 頃他ノ馬車ニ付ケタル馬匹ト共ニ屍體ヲ積ミタル馬車ニ駛キ合セ一臺ノ馬車ハ覆ヒテ用ニ供シタル麻等ハ牛莊ノ南
 方小崗瓦寨村王紹雲ナル者受取ニ來ルヘシト言ヒ遺シテ南方ニ向ツテ何處ヘカ拉シ去リタルモノアリト而シテ當時
 屍體ノ上部ヲ麻煙草葉ヲ以テ覆ヒタルハ屍體ヲ隱蔽シタル其臭氣ヲ防ク手段ナリシモノ、如ク南下スルニ當リテ各
 所ノ檢疫嚴重ナル爲メ奉天營口ノ本街道ヲ通行セスシテ間道ナル木村ヲ通過シ來ルモ遼陽州ノ交通檢疫ノ殊ニ嚴重
 ナルニ恐レ馬匹數ヲ増シテ急行シタル者ニシテ右屍體ハベストニテ斃レタル者ト認メラル而シテ初發患者ハ同客棧

宋中和(四十五才)及宋梁氏(十五年)ニシテ二人共本月十三日死亡スルニ至リタル故無論該屍體ノ病毒散シテ漸次傳

豫防消毒

當初本病者ハ檢鏡ノ結果ハストニ疑ハシキ點アルヲ以テ疑似ベスト、シテ清國官憲ニ消毒法ヲ施行セシメ漸次真正

清國官憲ノ取締

警務局ニ於テハ警務局長又ハ防疫委員巡官等交互出張シ巡長以下三十三名保防壯丁十五名ヲ派出シテ村内十ヶ所ノ

今後ノ見込

前記ノ如ク殆シト我カ指導ヲ通り實行シツ、ナルモ患者ノ收容健康者ノ隔離等ニ就テハ完全ナル能ハス殊ニ逸早タ

以上

清國側防疫設備

本書ハ關東都府府臨時防疫部ニ於テ調査シタルモノナリ

清國側防疫ノ状態ハ民智ノ幼稚ナルト衛生思想ノ乏シキトニヨリ施設事項其ノ統一ヲ缺キ各地區々其ノ取扱ヲ異ニシ

長春

一月上旬長春ニ於テ初メテベスト患者ノ發生スルヤ吾官憲ハ夙ニ清國側ヲ指導シ協力防疫ニ當ラシムルニ必要ヲ認シ

四〇
 浮浪者五百餘名ヲ之收容シ二月二十六日城内露店ヲ全部禁止シ尙荷馬車ヲ交通ヲ遮斷ス但シ前記收容所ニ其ノ後
 收容中ノモノヨリ續々患者ヲ發生シ到底隔離ノ目的ヲ達スヘカラサルニ至リシヲ以テ遂ニ之ヲ閉鎖シ更ニ七箇所ノ隔
 離所ヲ設ケタル尙其ノ收容ニ苦ミツテテモシテ如シテ其ノ隔離所ニシテ其ノ隔離所ニシテ其ノ隔離所ニシテ其ノ隔離所
 火葬ニ清國ノ舊慣ニ反スルヲ以テ各地共ニ其ノ設備ナシト雖運會長春ニ於ケルベストノ流行ハ實ニ振古未有ノ慘事
 ニシテ三月下旬西門外老虎溝ニ火葬場ニ一千二百餘箇ノ遺棄死體集積シ目モ當テラレヌ慘狀ヲ極メタルモ以テガ
 別二月九日新任孟道臺ハ英斷ヲ施シ薪材ヲ以テ全部火葬ニ附シ尙一時三百名内外ノ死屍ヲ燒却シ得ル火葬場ヲ設計
 ヲ我ニ依頼シ來レリ
 消毒隊ノ消毒方法ハ屋内消毒ニ當リ患者ノ居室ノ消毒スルニ止メ居リシモ我官憲指導ノ結果今ヤ家屋全部ヲ消毒シ
 又ハ之ヲ燒却スルコトトナレリ消毒ニハ硫黃ヲ燻ラシ石灰ト石炭酸ヲ撒布シ尙フオルヤリシ消毒ニ備ヘ居レル消毒
 方法藥品ノ用法共ニ其ノ宜キヲ得テ到底防疫ノ實ヲ收メ難キヲ以テ我官憲ヲ指導ニ由リ清國消毒隊ノ一部ヲ在附屬地
 我隔離所ニ派遣シ見學練習セシメタルヲ以テ今ヤ稍完全ノ消毒ヲ見ニ至レリ
 東門外白子溝ニ別ニ極貧者浮浪者收容ノ目的ヲ以テ建設セラレタル避病院アリ薪炭衣食ヲ官給シ更ニ西洋醫藥ヲ嫌フ
 下層清人ノ爲メニ漢法醫ヲ設ケ別ニ其ノ醫藥ヲ給スルコトヲ謀リテ其ノ病者ヲ救フルニ努メテ居ル
 防疫上清國官憲ノ設ケタル規則トシテ我防疫局執務規程ハ長春防疫總局消毒規定ニ隔離所規程等アリ參考ノ爲メ左
 録ス
 本局防疫事務ハ各員ニテ分擔辦理シ總辦ノ決裁ヲ受クヘキ事件ハ文案、庶務兩部ヨリ書記長ニ差出シ之カ調査
 ヲ爲シ總辦ニ呈出シ決裁ノ上ハ會辦之ニ捺印シ書記長ヨリ發送ス

- 一、外來一切文章ハ受付ヨリ發送受理係ニ送付スルモノトス
- 二、各係ニテ事件ヲ處理セルトキ主任者ニ於テ事件毎ニ記名捺印シ他日ノ參考ニ供スヘシ
- 三、會辦事務室ニ考勤簿ヲ備ヘ各事務員出勤ノ際記名スヘシ
- 四、執務時間ハ每日午前九時ヨリ午後十時迄トス事務員ハ必ス規定時間一心執務シ以テ疫病撲滅ヲ期シ已ムヲ得ル
 事務アルニ非ナレバ休暇ヲ請ヒ或ハ外出ヲ爲スヘカラス
- 五、以上各條ニシテ若シ其ノ當ラザルハ以テ隨時之ヲ更改シテ完全ヲ期ス
- 六、長春防疫總局消毒規定
 - 一、防疫ハ敵ヲ防クヨリモ困難ナリ敵ヲ防クニハ銃彈ヲ以テ勝ヲ制スヘク防疫ハ則チ消毒ニ依リ自衛ヲ要ス故ニ消
 毒ヲ勵行スルハ防疫上缺クヘカシタル要務ナレバ決シテ之ヲ輕視スヘカラス
 - 二、總局入口ニハ衛生巡捕五名ヲ配置シ專ラ消毒ニ從事セシム外來者ニハ總テ嚴重消毒ヲ施シタル上出入ヲ許ス
 (噴霧器ヲ用ヒテ外來者ノ衣服ヲ消毒ス)
 - 三、入口ニハ藥盆ヲ備ヘ消毒水ヲ貯ヘ外來者ノ鞋底ハ盆中ニテ浸サシムヘシ
 - 四、外來一切文書器具類ハ入口ニシテ嚴重消毒ヲ施シ宛先ニ送付スベシ
 - 五、總局事務員事務室、居室其他室内ニハ一般消毒係ニテ噴霧器消毒ヲ日々二回宛行フヘシ
 - 六、(廁所)充分石灰ヲ撒布スヘシ
 - 七、消毒專務員ハ總局ニ於テ消毒ノ完全ヲ期圖スル爲メニ設ケタルモノナレバ該員ハ銳意其ノ職ニ盡シ決シテ疎漏
 ナルヘカラス又消毒ニ當リテ局内外ハモノ亦之ヲ阻止スルヲ得ス
 - 八、隔離所規程規定

- 一、患者アリタル家族ハ隔離所ニ收容シ先ツ消毒室ニテ充分消毒ヲ行ヒタル上別室ニ移ス
- 一、收容室ニハ寢具ヲ備ヘ收容者ヲ便ニ供スルヲ以テ本人ノ携帶セル寢具類ハ消毒ノ上一定時預リ置キ轉出ノ時之ヲ還付ス
- 一、隔離所ニ收容セラレタル者ハ飲食起居總テ醫官ノ指揮ニ從フヘシ
- 一、收容セラレタルモノハ隨意退所ヲ許スル者ニ對シテハ隔離所ニ對シテハ許サズ
- 一、收容セラレタル者若シ附添人ヲ伴ハシテ入ル者ハ所長ノ許可ヲ經醫官診斷ノ上ニテ其ノ使用ヲ許ス
- 一、看護人ヲシテ入所者ヲ看護セシム看護人ハ收容者八名ニ付一名ヲ附ス
- 一、所長ノ許可スヘキ附添人ハ既定消毒ヲ行ヒタル者ニ限ル
- 一、收容後七日ヲ經過シ病狀ナキモノハ轉出ヲ許ス
- 一、收容セラレタル者ハ所長ヨリ收容年月日ヲ明記セル證票ヲ受テ七日ヲ經過セハ該證票ヲ所長ニ提示シテ退所ス
- 一、收容者若シ病狀ヲ覺ルハ醫官ノ診察ヲ受クヘク決シテ隱蔽ヲ許サズ
- 一、隔離所内男女ハ別室タルハ勿論入所者ニ般其ノ境界ヲ嚴正ニシ混雜ヲ防クヘシ
- 一、收容者ハ毎日一回醫官ノ診斷ヲ受クベク若シ身體異狀アルトキハ直ニ休養室ニ移ス
- 一、收容者若シ醫官ノ診察ヲ受クベク若シ身體異狀アルトキハ直ニ休養室ニ移ス
- 一、收容者ハ衣服飲食總テ隔離所ニテ之ヲ配給ス
- 一、隔離所ニテ調理人アルニヨリ收容者ハ隨意髪スベク決シテ外出ヲ許サズ

鐵嶺ニ於テハ三月八日己ニ日清合同防疫事務ヲ開始シ委員長ニ領事ヲ副委員長ニ警務署長、鐵嶺知縣及滿鐵分院長ヲ舉外委員ヲ經理係主任以下日清六十六人ニ關シテ日清兩國側ハ別ニ城内ニ防疫本部ヲ置キ山頭堡、東門外、南門外ニ防疫出張所ヲ置キ其ノ他巡警分局出張所ニ於テモ防疫事務ヲ取扱ヒ鐵路ニ於テハ奉天ト合同ノ檢疫所ヲ設ケ防疫機關整備ハ鐵嶺驛ニ下車シテ日清兩國人旅客ハ吾官憲ニ於テ檢疫ヲ施行シタル後總テ之ヲ清國官憲ニ引渡シ清國官憲ニ於テ指定宿屋ニ三日間隔離シタル後解放シ居ル

一月二十二日清國官憲ハ山頭堡ノ支那旅人宿十七月ヲ檢疫所ニ隔離所並病院、留養室等ニ充テ此處ニ委員長開原等ヨリ南下者ヲ檢疫シ五日間收容隔離シ檢疫所ノ職員ハ巡長四名巡警二十六名巡警教習生二十名及朝鮮人醫師二名ニシテ檢疫ノ手續ハ旅客ヲ以テ先ツ消毒所ニ入リシテ石炭酸ヲ消毒ヲ施シ次ニ檢疫所ニテ醫師ノ診察ヲ受テ更ニ報名所ニ移リ姓名年齢出發地等調査ノ上收容シ一定ノ期間隔離ノ後健康者ニ限リ蓋截處ニテ手背ニ檢診濟ノスタンプヲ押捺シ初テ南行ヲ許スモノトス

二月二十七日同檢疫所ニ於テ檢疫ノ際ベスト患者一名ヲ發見シ直ニ病室ニ收容シ翌日死亡シタルモノ、外隔離中發病シタルモノヲ此ノ如クナルヲ以テ表面其ノ設備間然タル處方ヲ如クシテ隔離期間ハ五日ハ單ニ日數ニシテ滿五日ニモアラス且該隔離所タル外部ト交通自由ニシテ家主家族ト同棲シタル旅客モ止宿シタル状態ニシテ其ノ取締甚ク緩慢ナルモノトシ

山頭堡ノ外鐵嶺東門外、北門外柴河北ノ三檢疫所及東門外ノ隔離所ハ尙六里莊興隆店等ニ苦力收容所ヲ新設セシ以テトスルモノアリ交通遮斷ハ山頭堡及鐵嶺東門外、西門外等都合五箇所ニテ之ヲ勵行シ且ツ城内宿屋營業者ハ清國官憲ノ嚴命ニヨリ流行地ヨリ來レル旅客及荷物ノ取扱ヲ廢シ捕鼠ノ如キモ亦多少實行シ居レリ

三月上旬奉天總督ノ北路防疫總局ヲ鐵嶺知縣衙門ニ置キ鐵嶺知縣之ヲ總辦ニ任セラレ鐵嶺縣、昌圖府、奉化縣、懷

德縣等ノ防疫事務ヲ統轄スルニテ、大ニ以テ防疫ノ責ヲ負フ。...

東三省總督ノ下ニ防疫總局ヲ置キ、民政司使交涉司使共同其ノ責任ヲ總局ニ臨時防疫事務所アリ、總辦ニ提調三、...

助員ニテ置キ、稽查部、隔離部、醫務部、消毒部、捕鼠部、檢菌部、戸口調査部、埋葬部、八部ニ事務ヲ分掌シ、隔離所...

四、病院ニテ消毒隊八之ニ隸屬ス。

更ニ奉天城内ヲ七警區ニ分テ、警區ニテ小區ニ細別シ、毎小區一組ヲ搜索隊ヲ出シ、専ラ檢病及遺棄死體發見ノ事ニ當リ...

シメ、尙奉天商務總會ノ建議ニ基キ、奉天全市ニ五百四十四輛ノ運搬車ヲ徵發シ、二車ニ巡警一名ヲ付シ、塵芥穢物ヲ市外...

搬出スルニ共、該數百名ノ人夫ヲ備入レ、街路ヲ掃除セシム。...

消毒事務ハ當利甚ク、不完全ナリシガ、我官憲ノ指導ト清國御消毒部ニ日本人醫師ヲ聘シ、其ノ部長ト爲シタル以來、藥物消...

毒ハ稍其ノ面目ヲ改メ、至リシ。...

奉天城東西南北大小八門ニテ、簡所ヲ設キ、防疫分所ヲ置キ、醫師、事務員、一各備入シ、巡警三、兵卒七ヲ以テ...

組織シ、陸軍少尉又ハ特務曹長監督シ、下ニ石炭酸水ヲ以テ交通者ノ被服及車體ノ消毒ヲ實施シ、居レリ。...

一月十五日十間房ニ於テ、日本人人所有ニ係ル有毒家屋ヲ我官憲ニ於テ燒却シ、後尙附近支那人家屋ヲ燒却ス、シテ交渉ス...

結果商務總會ハ直ニ右家屋十四戸ノ燒却方ヲ我ニ依頼シ、來リ爾後我官憲ノ警告ニヨリ、小西門外ニ於テ十戸ヲ燒却シ、係...

爭地十間房等ニ於テ、又々燒却ヲ爲ス。...

奉天瀋陽停車場附近搭客ニテ、簡所ヲ急造、隔離病舎アリ、全市街ノ患者ヲ收容シ、來リシカ病勢ノ猖獗ニ俟リ、大西邊門外...

山西廂内ニ更ニ病舎ヲ建設シ、同病舎ノ普通收容力ハ六十名ニシテ、非常收容力ハ二百二十名ナリ、健康者ノ隔離所ハ...

東關、南關、北關、西塔灣、四箇所ニ設置シ、合計四百七十人ヲ收容シ、得テ稱ス。...

小西門路南ニ貧民收容所アリ、常ニ四五百ノ貧民ヲ收容シ、來リシカ我官憲ヨリ交渉ノ結果、渾家及北陵附近ノ村落ニ隔離...

スルコト、ナリ、一月下旬全部其ノ隔離ヲ了シ、尙引續キ、市内浮浪ノ徒及貧民ヲ之ニ收容シ、合計二千餘名ヲ收容シ、...

リ、云フ、南下苦力ノ交通遮斷ニ關シ、ナハ未ダ何等ノ設備ガ、唯大北門外及大東門外ニ步哨ヲ置キ、該旅客ニ對シ、消毒...

ヲ施行ス、テ、目下計畫中ニ屬ス。

二月中旬十間房ニテ、發生ノ際、我官憲ニ於テ、警務局ニ交渉シ、王同局ニ代リ、三箇所ノ患家ニ亞鉛垣ヲ作り、鼠族ノ逃避...

ヲ防シ、ヨリ、爾後清國官憲ニ於テ、モ之ニ倣ヒ、不完全ナカラモ、頃日處々ニ亞鉛垣ヲ見ルニ至レリ。...

二月十二日ヨリ、鼠族ノ買収ヲ開始ス、二頭ノ價格五錢ニシテ、五日ノ買上數平均五十頭ト稱ス、捕鼠器ハ防疫事務所ヨリ配...

付シ、居レ、極メテ、小數ニシテ、未ダ、全市ニ普及スルニ至ラス。防疫事務所内ノ檢菌部ニテハ、日本醫師二名主任ト爲リ...

二月中旬ヨリ、檢鏡ヲ開始シ、居レリ。...

千金藥ニ撫順檢疫事務所ヲ設ケ、撫順警務局員及自治會員十六名檢疫委員トナリ、事務所ノ下ニ撫順城内老虎臺、古城子...

ニ撫順分駐所ヲ設ケ、各委員十名ヲ置キ、防疫事務ニ從事シ、居レリ。...

附屬地境界ニ沿フテ、二箇所ノ檢疫屯所ヲ置キ、巡警ヲ配置シ、檢疫ヲ施行セシメ、其他市街各所ニ巡警ヲ派シ、苦力、行人...

等ノ往來ヲ取締リ、居レ、共ニ檢病の戸口調査ヲ行ヒ、居レリ、清潔法モ勵行シ、且ツ一般民人ニ對シ、ベスト豫防ニ關スル講...

話ヲ爲ス、等防疫上頗ル努力シ、居レ、如シ。...

千金藥鐵道北方ノ山麓ニ、建坪十八坪ノ人家ヲ修理シ、之ヲ患者收容所ニ充ツルノ計畫アリ、計畫アリ、居レリ、内部ハ「オンドロ」式...

ニシテ、約四十名ヲ收容シ、得ヘキモ、未ダ何等ノ設備ナシ、收容所ト相距ル四町ノ地ニ約五十人ヲ容ルヘキ隔離所アリ、是又...

設備十分ナラス。

鼠族ノ買収ハ已ニ之ヲ開始シ死體ハ地下七尺ニ埋葬シ患家ハ焼却スルコトニ決定シ居ルト云フ

本溪湖ニハ煤礦公司ヲ除キ清國官憲ノ施設ナシ本溪湖及大堡ニ不完全ナル隔離所ヲ留リ他ニ見ルベキモノナシ
本溪湖ニハ煤礦公司ノ委員長(支那人)及委員五(支那人)ヨリ成ル防疫委員アリ專ラ防疫ノコトニ當リ更ニ日本人一、清人若
力八名ヲ以テ消毒掃除ヲ組織シ諸工場撰炭場住宅倉庫等ノ掃除消毒ヲ行ハシム消毒藥ハ主トシテ昇水及石灰ヲ使
用シ各所入口ニハ噴霧器ヲ備ヘ外來者ノ消毒ヲ行ヒ居リ
炭礦區域内ニ二十餘名ノ巡警間斷カク巡視シ出入者及通勤苦力ノ監督ニ任シ苦力納屋ニハ毎日一回健康診断ヲ行ヒ且
捕鼠モ大ニ獎勵シ居ルモ如シ

安 東

巡警總局内ニ防疫事務所ヲ置キ巡警局自治局商務總會協力防疫ノ事ニ當リ事務所内ニ消毒隊警察隊撥送隊收埋工
隊ヲ設ケ各隊ニ隊長一隊兵二乃至四ヲ置キ之ニ數名ノ苦力ヲ附屬ス
汽車ノ沙河鎮ニ到著タル毎ニ防疫所ヨリ醫師及係員出張シ我檢疫係員ヨリ南下旅客ノ引渡ヲ受テ之ヲ日間入道溝末
後廟内ノ隔離所ニ送リ收容シ居レリ徒歩南下者ニ對シテハ高麗門中心ニ池子余屯口ニ三箇所ニ防疫支所ヲ置キ暗
所ヲ設ケ醫師ヲ配置シ其ノ通行ヲ禁止シ尙鐵路巡警第四分局ハ沙河鎮ヨリ高麗門ニ至ル各驛ニ防疫委員タル巡警三名
ヲ派シ中途下車ノ南下者ヲ取締リ居レリ

市内ニハ清潔法ヲ施行シ其ニ馬車人力車ニ毎日消毒シ之ニ標記ヲ與ヘ小賣商人等ニ對シテ是時ニ消毒ヲ行
ヒ消毒濟ノモノニ一定ノ腕章ヲ與ヘ居レリ捕鼠器ヲ市内各處ニ設置シ捕鼠ノ勸誘ヲ且ツ其ノ買収ヲ開始シ居リ又防疫ノ方法トシテ
捕鼠ハ絶シテ獎勵シ或ハ殺鼠劑ヲ配付シ或ハ捕鼠器ヲ講入ヲ勸誘シ且ツ其ノ買収ヲ開始シ居リ又防疫ノ方法トシテ
巡警局内ニ檢疫事務所ヲ置キ清人醫師一名書記二名ヲ置キ更ニ臨時檢疫巡警八名衛生夫四名ヲ雇入レ之ヲ二班ニ分チ
檢病の戸口調査及清潔法ニ從事シ居レリ

檢疫所ハ沙河河口、秋木莊、鳳冠山、鳳凰城、高麗門、湯山城ヲ置キ隔離所ハ沙河河口、鳳冠山、鳳凰城、
城ニ設置シ藥馬集街道遼陽街道ニ隔南下者ヲ檢疫シ之ヲ隔離シ居リ湯山城ニ對シテハ湯山城ニ隔離所ヲ置キ鳳凰城、
草河口、林家臺、秋木莊、大房身、鳳冠山、四臺子、鳳凰城、高麗門、湯山城等何レモ檢病的戸口調査ニ從事シ捕鼠
ヲ獎勵シ殊ニ市街地ニ在リテハ清潔法ヲ履行シ捕鼠ハ一頭龍銀七錢ニテ其ノ買収ヲ開始セリ

防疫事務ハ大體ニ於テ日清合同ニ依リテ費用折半負擔ノコトハナリ居ルモ清國側ハ別ニ巡警局長ヲ委員長トシ願
間日本人ヲ副委員長トシ地方撰出四十名ヲ委員並十七名ノ醫師ヲ以テ組織セラレタル防疫事務所ヲ城内ニ設ケ專ラ防
疫ニ從事シ居レリ
遼陽奉天ノ管轄界外ハ十里河ニ巡警六名堡防數名ヲ派遣シ此處ニ南下徒歩者ノ交通ヲ遮斷シ各城門出入入口ニ於テ
ハ當局官吏ノ外地方撰出委員立會ノ上檢疫ヲ爲シ徹門西門ハ特ニ我官憲立會檢疫ヲ施行シ城内一般ニ檢病的戸口調査
ヲ行ヒ必要ナル箇所ニ我官憲之立會ト嚴重ニ之ヲ勵行シ且ツ非具屋ヲ取調シ死亡ノ原因ヲ調査シ城内浮浪者五百餘
名ヲ城外ニ追放シタリ

隔離所ハ西關ニ設ケアリ約五十名ヲ收容スルニ足ル消毒用器具、藥品、被服等ハ滿鐵會社ノ周旋ニヨリ一ト設備ヲ



丁、捕鼠ハ頭五錢ニテ買收シ、鷓鼠發見ノ場合、我カ衛戍病院ニテ檢菌スルコト、ナリ居レリ
四八

營口道臺ヲ總辦トシ、提調ニ總醫官ヲ、醫官若干名、總稽查一、稽查一、補助員若干名ヲ以テ組織シタル防疫事務所
ヨリ各區巡警ヲシテ檢病的戶口調査ヲ爲シ、死者アリテ時ハ、其々檢案ノ後埋葬ヲ許可スルコト、ナリ居リ、其
四海庄、五臺子、河北停車場、牛家屯、四箇所ニ隔離所ヲ設ケ、有毒地ヨリ來ルモノニ對シテハ、七日間隔離シ、無毒地ヨ
リ來ルモノニ對シテハ、單ニ檢疫ノ上通行セシム、別ニ貧民留養所三箇所ヲ設ケ、浮浪者乞食ノ徒ヲ收容シ、市内ニ清潔法ヲ
實行シ、捕鼠モ亦之ヲ獎勵シ、其ノ買收ニ着手ス、檢疫ヲ避ケ入市セントスルモノニ對シテハ、監視員ニ對シテ、要所ニ設ケ
内十箇所ハ、道標營兵ヲ以テ監視セシメ、他ハ水陸巡警之ニ當ラシメ居レリ、其ノ監視員ニ對シテハ、賞金ヲ付ス、其
營口ニハ幸ニシテ未タ一名ノ患者ナキモ、若シ其ノ發生ノ場合ハ直ニ防疫醫院ニ收容シ、家族ハ前記ノ隔離所ニ收容スル
コト、ナリ居リ、其ノ監視員ニ對シテハ、賞金ヲ付ス、其ノ監視員ニ對シテハ、賞金ヲ付ス、其ノ監視員ニ對シテハ、賞金ヲ付ス、
蓋平知縣ハ蓋平城内入口檢疫所ヲ設ケ、隔離病舎一箇所ヲ建設シ、檢病的戶口調査ヲ行ヒ、捕鼠ヲ獎勵シ、有毒地ヨリ來ル苦
力ノ宿泊ヲ禁止スル等、大ニ防疫上努力シ居レリ、海城知縣モ又豫防規程ヲ發シ、戶口調査、捕鼠ヲ獎勵、其他防疫上ノ設備ニ
努メ居ルモノ、如シ、其ノ監視員ニ對シテハ、賞金ヲ付ス、其ノ監視員ニ對シテハ、賞金ヲ付ス、其ノ監視員ニ對シテハ、賞金ヲ付ス、
復州知縣ハ管内ニ隔離所ヘ留養所三及五箇所ヲ檢疫所ヲ設置シ、委員十六名ヲ命ジ、防疫事務ヲ掌ラシメ、檢病的戶口調査
捕鼠ヲ獎勵、南下苦力ヲ取締等、防疫上大ニ努力シ居ルモノ、如シ、其ノ監視員ニ對シテハ、賞金ヲ付ス、其ノ監視員ニ對シテハ、賞金ヲ付ス、
其ノ監視員ニ對シテハ、賞金ヲ付ス、其ノ監視員ニ對シテハ、賞金ヲ付ス、其ノ監視員ニ對シテハ、賞金ヲ付ス、其ノ監視員ニ對シテハ、賞金ヲ付ス、

旅 順

共ニ記載事項ナシ

防疫ニ從事スル清國官憲ノ醫師人員左ノ如シ

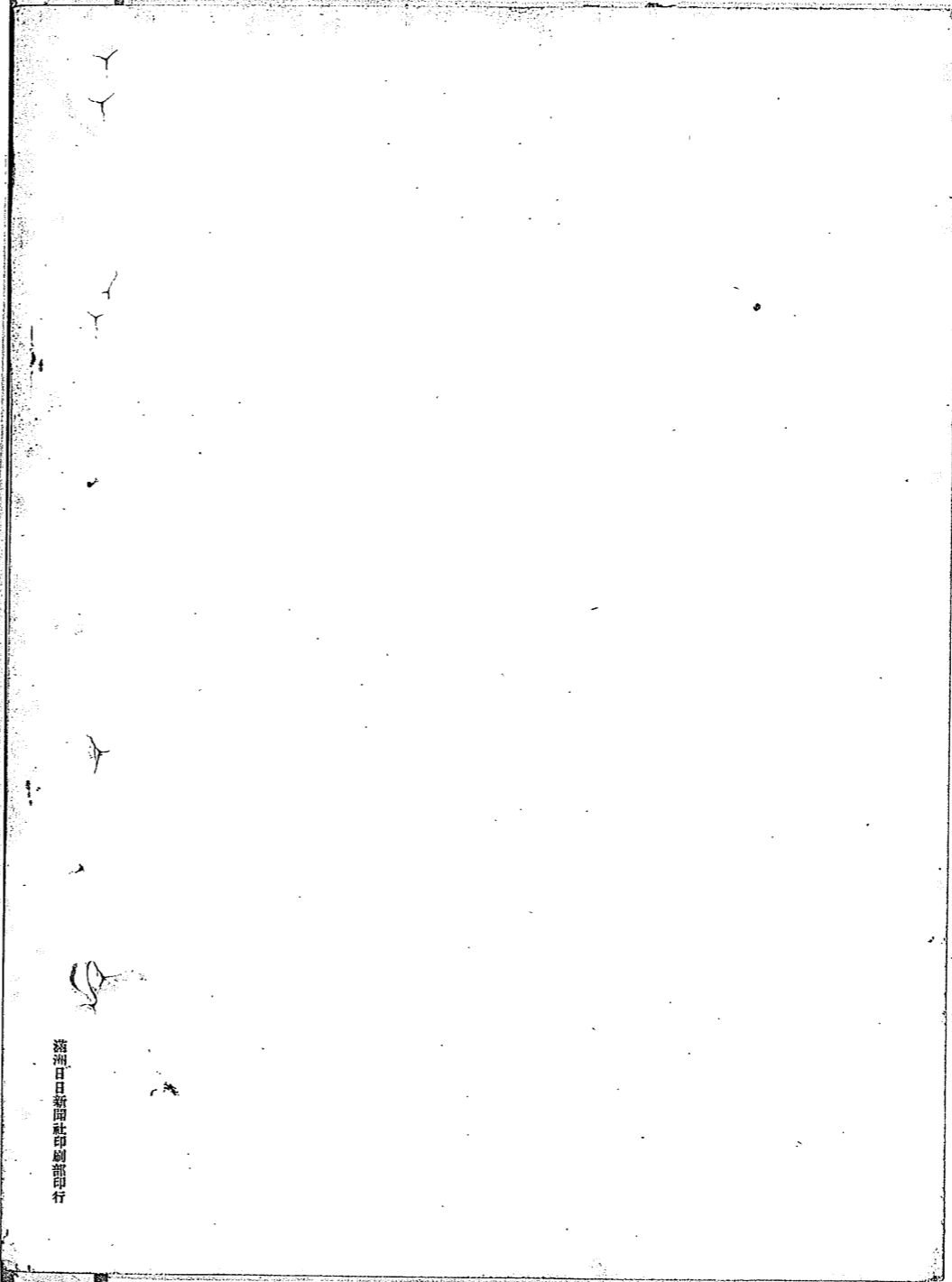
- 長春 清國人醫師約二十人
- 鐵嶺 日本人醫師一人、日本人助手二人、清國人醫師一人、朝鮮人醫師一人
- 奉天 日本人醫師四人、英國人醫師二人、清國人醫師四十二人
- 遼陽 日本人醫師二人、清國人醫師十八人
- 營口 日本人醫師五人、外國人醫師一人、清國人醫師二人
- 安東 外國人醫師三人、清國人醫師五人

長門人 長門三入、高門人 高門五人
管日 日本入 高門五人、持門人 高門一人、高門人 高門一人
徳備 日本入 高門五人、高門人 高門五人
津次 日本入 高門五人、高門人 高門五人
殿前 日本入 高門一人、日本入 高門一人、高門人 高門一人
長門 高門人 高門五人
其の詳録事録

五〇

3-2597

0421



3-2597

0422

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

とら

ペスト防疫施設報告書 其十一

關東都督府臨時防疫本部

第一編

3-2597

0423

防疫施設報告 (其十二)

前報告以降即チ二月二十六日ヨリ同月二十八日ニ至ル三日間ニ於テハスト防疫ニ關シ施設
シタル事項竝同件ニ關シ各方面ヨリ得タル通報等ノ要旨ヲ列擧スルコト左ノ如シ

- 一、防疫區爲清國官憲力大豆馬車ノ通行ヲ禁シタル件ニ付二月二十六日日清共同防疫會議
ニ於テ交渉使等ト會談シ滿鐵會社附屬地内ハ成ルベク市街地ヲ避ケテ貨物ホムムニ通ス
ル一定以大豆馬車通路ヲ定メ苦力ニ對シ相當ノ消毒ヲ爲サシメテ出入セシメテ一切他以市
街地ニ立入ルヲ禁スルコトヲ輸出差支無キ事ニ協定シ其旨交渉司ヨリ關係官吏ニ命令
シタルニ付關係各支部及滿鐵會社ニ右ノ趣旨ニ基キ措置ヲ促タキ旨通牒セル結果清國官
憲ニ於テ遂ニ漸次其禁止ヲ解キ大豆ノ輸出近々常態ニ復セントスル形勢ヲ呈セリ
- 二、來三月七日ヨリ長春奉天營口ニ於ケル隔離所ヲ開始シ從來乗車ヲ制限シアリシ清國人
(朝鮮人ヲ含ム)ヲ七日間隔離以上三等乘客ハ他ノ乘客ト客車ヲ區別シ共ニ二等乘客ハ現
在區別シアル清國人客車混乗セシメ安奉線以外ニ輸送ヲ開始スルコトニ決定シ關係
向來夫交通牒セリ(三月二十八日)
- 三、來三月十日ヨリ大房身以南各驛相互間及大房身以南各驛ヨリ以北各驛(安奉線ヲ除ク)
ニ至ル清國人ハ各等トモ無制限ニ乗車セシムヘク又旅順線ニ於ケル清國人ニ對スル制限

モ撤廢ハトニ決定シ之ヲ關係ノ向ハ通報セリ(二月二十八日)

四、左ノ通報ニ接セリ(二月二十六日) 浦潮總領事ヨリ外務省宛ノ報告ニ依レハ渾春ニベスト發生セシヲ以テ露曆一月三十一日(二月十二日)付ノ沿海州軍防知事ノ命令ニ依リ「ハラス」ヨリ「クラス」ニ村ヲ至

元間ヲ軍隊ニテ警戒シ清韓勞働者ヲシテ一切露領ニ入ラシメサルヲト其ノ他シ黃色人種

ニハ國境檢疫地點ニ於テ五日間隔離シ上入國許許可證ヲ付テ決定セリ

五、左ノ通報ニ接セリ(三月二十六日) 浦潮總領事ヨリ外務省宛ノ報告ニ依リ

(一) 三月二十六日新義州隔離所收容日人九名解放日人八名鮮人一名現在六時許

前名ナリ昨日衛生講話ノ反響トシテ鼠ノ買收増加セリ

(二) 圖們江岸所在以稅關ニテ間島渾春等自前輸入スル糧食品ヲ禁止シタルニ江岸人民困

難シタリヲ以テ調査ノ註穀類ニ特ニ病毒汚染ノ疑アルモノヲ除ク外輸入ヲ許スヘ旨

一、司稅局ヨリ元山稅關長ニ電報セリ

六、左ノ通報ニ接セリ(二月二十六日) 浦潮總領事ヨリ外務省宛ノ報告ニ依リ

(前報) 三月二十三日新義州隔離所以收容日人十八名解放日人三十五名鮮人一名清人一名現

在五十二名ナリ

(二) 北里博士山根總督府囑託ハ二月二十四日新義州發京城ニ直行シ隨行セル白石警部松

本學士ハ隔離所ニ收容セリ
(三) 露國新聞翻譯拔萃(千九百十三年三月十二日浦潮刊行)
今日ヨリ沿海州ニハベシト病未タ發生セズ現今烏蘇里地方ニハ鐵道陸路及海路ヨリ惡

疫ヲ進入スルコトナキヲ保セス國境鐵道停車場ニハ既ニ病院及隔離收容所ヲ設ケ醫師

三名ト其助手ヲ置キ又「ニコリス」停車場ニ於テモ同様ノ設備ヲ整ヘタルハ鐵道ヨリ

シテ惡疫ヲ進入ハ或ハ之ヲ免ルコトアラン

陸路ニ在リテハ繁華ナル地方ニハ檢疫所ヲ設ケ又交通繁カラサル國境通路ニ當ル地方

ニハ騎兵哨所ヲ置キタリ

海路ヨリ惡疫進入ハ或ハ之ヲ免ルヤモ計リ難ク解氷ニ至レハ監視所ヲ擴張スル計畫ナ

リトス四月中旬ヨリ解氷スヘキ烏蘇里河沿岸ニ於ケル防疫ノ方法及烏蘇里地方ニ入

來ル清國勞働者ハ五日間隔離ノ上之ヲ入國ヲ許可スルガ或ハ全然入國ヲ禁止スルカ以

問題ハ何レモ「イルク」ニ防疫會議ニ於テ之ヲ決定スルヲ豫定ナリトス

浦潮市ニ於テハ初發シベスト患者及差向キ住民ヲ隔離收容スヘキ設備既ニ整備セリ彼

朝鮮町ノ如キハ家屋互ニ密接シ道路狹少ニシテ汚穢甚シキカ故此住民ハ先以テ隔離

ノ必要勞生スヘキモノニシテ衛生委員會ハ右朝鮮町ハ之ヲ全滅スルカ又ハ他ニ全部移

轉スルキコトヲ決議セリ

又迅速ニ疑似患者ヲ發見センカ爲衛生調査委員ヲ増加セリ

四

七、左ノ通報ニ接セリ(三月二十六日) 開原附屬地ノ東方約四十清里馬市堡ニ於テ交通行ノ苦力三名ベストニ罹リ死亡(三月十八日) 瓜臺子(八清里) 榆樹堡(四清里) 馬圈子(九清里) 以上總テ無病

開原驛ヨリ正南方 瓜臺子(八清里) 腰寨子(八清里) 三寨子(十清里) 北馬圈子(十一清

里) 同、驛ヨリ西方 二寨子(七清里) 腰寨子(八清里) 三寨子(十清里) 北馬圈子(十一清

里) 娘々臺(十六清里) 和順屯(十九清里) 北未樓(二十清里) 廣寧窩

以上ノ内八寶屯、和順屯ノ二村ハベスト患者アリ近來ハ清國巡警立會ヒ死體ヲ燒クノミ

ナリ一、二ノ家屋亦灰燼ニ付シタリ殊ニ和順屯ニ在リテハ僅々十日ニ足ラサル内既ニ

十一、各名ノ病死者九リシモ或ハ眞ノベスト病ト云ヒ或ハ普通病死ト云フ者アリテ一定

モサ降モ該地下ハ通行セザル様村規アリト云フ他ノ村落ハ異狀ガシ

八、左ノ通報ニ接セリ(三月二十六日) 旅順支部ニ於テベスト豫防從事員心得ヲ定メ各從事員ニ配付セシ其從事員心得ハ第三

總說第四檢病調査第三汽車檢疫第四ベスト患者發見時ノ處置第五消毒藥使用心得第六患

者ノ處置第七屍體ノ處置第八家屋ノ消毒第九交通遮斷第十捕鼠防鼠ノ十章ニ別々各其心

得方ヲ詳説ス

九、左ノ報告ニ接セリ(三月二十六日)

清國巡警ハ奉天市中要所ニ左記事項ノ辯明及ベストノ怕ルヘキ事ヲ引例細説シタル告示

ヲ揭示シ居レリ

一、防疫事務所ノ埋葬隊ハ病人ヲ見ルトキハ直ニ石灰ヲ撒キ棺ニ入ル、ト云フ謠言

一、日本人カ戸口ヲ調査シニ來ルハ兵ヲ進ムル爲ナリト云フ謠言

一、各城門ヲ取締リ商人ノ出入ヲ禁スルト云フ謠言及隔離消毒等防疫所ノ所置ニ對スル

謠言

十、左ノ報告ニ接セリ(三月二十六日)

鐵嶺支部ニ於テハ交通遮斷區域通行者ヲ制限シ事情不得止者及貨物運搬ノ荷馬車ニ對シ

一定様式ノ通行券及旗ヲ交付シ來リタルモ之ヲ濫用スル者アリ爲シ旗及通行券ヲ改正シ

テ一層交通遮斷ヲ厲行スルコトヲ切實ニ

十一、左ノ報告ニ接セリ(三月二十六日)

昌圖府管内ノ防疫施設ハ極メテ緩慢ニシテ現今防疫狀態ハ放任ノ姿ニアルヲ以テ病勢ハ

益々猖獗ノ傾向ヲ示シ居レリ新任知府ハ之レカ豫防策ノ第一着手トシテ北洋准軍兵約三

百名ヲ以テ威遠堡門及黑林鎮子ト公主嶺ノ三箇所ニ交通遮斷所ヲ設ケ南下セル苦力ヲ防

五

止シツ、ア、リシカ近頃之レカ變更ノ議起リ尙兵員ヲ増加シ懷德縣管内伊通河門、朝陽坡、楊小店、八屋、楊大城ノ五箇所ニ交通遮斷ヲ設ケ南下苦力ヲ防止セントノ計畫中ニシテ不日其實行ヲ見ルニ至ラン

十二、左ノ報告ニ接セリ(二月二十六日)

昌圖鐵道附屬地境界線タル二道溝河北ノ支那人部落ハ既ニ朝鮮人六名清國人七名ノベスト患者ヲ出シ附屬地自衛上最モ危險ノ虞アルニ付屢清國官憲ニ交渉シ消毒法ヲ履行ヲ促シタルモ之レカ實行ヲ見ル能ハザリシカ遂ニ要求ヲ容レ二月廿四日ヨリ我防疫委員監督

ノ下ニ清國官憲雇備ノ本邦消毒夫ニ支那人夫ヲ加ヘ嚴重消毒ヲ實行スルコト、ナリ尙同部落在住清人ハ全部隔離所收容ニ決シ取急キ建築中ニアリ兩三日中ニ落成ノ筈ナリ

十三、左ノ報告ニ接セリ(三月二十六日)

昌圖鐵道附屬地ニ於テ驛ヲ中心トシテ四方ヨリ入り來ル苦力及病毒汚染ノ疑アル者ノ交通遮斷ヲ行ヒツ、アルモ更ニ附屬地境界線ニ鐵條網ヲ張り警察官、憲兵、守備兵ヲ監視區域ヲ定メ尙滿鐵會社ノ夜警本邦人五名支那人四名ヲ警察官監督ノ下ニ遮斷線内外ノ警戒ニ使役ス

十四、左ノ報告ニ接セリ(三月二十六日)

今回鐵嶺知縣ニ於テベスト防疫ノ爲編成ノ消毒隊員一行二十餘名ノ調査報告ニ依レハ開

原附屬地ヲ距ル東方八十清里(山城子海龍府)通路ニ沿ヒタル村落八棵樹ハ戸數百三十餘人口七百餘ヲ有スル稍整頓シタル一小市街ニシテ最初ニベストニ罹リタルハ開原城ヨリ派遣セラレタル北洋淮軍ノ兵士十七名營舎内ニ斃レ病毒ハ漸次村落ニ蔓延シ累計四十餘名斃死者ヲ出シタル爲同地公議會員ハ相會シテ防疫ニ從事シ居ルモ何レモ防疫ノ措置方法ヲ解セテ從テ何等以施設無ク唯姑息ノ消毒ヲ爲スニ過キス且死體ノ處置モ極メテ緩慢ニシテ清國傳來ノ埋葬行ヒタルハ僅カニ十六七名其他ノ死體ハ其儘患家ニ殘留シ或ハ畑中ニ放棄シタルノ状態ナリ依テ消毒隊員一行ハ進シテ搜查シタルニ同地大街ニ面シテ四戸其他六戸ニ於テ死體十八箇ヲ發見ス其内ニハ一家枕ヲ並ベテ斃死シタルヲ見ル同死體ハ回々教徒ノ頑強ナル反對アリシヲ遂ニ消毒隊員ニ於テ附近ノ山麓ニ運搬シテ火葬セリ尙發生家屋ハ内外共嚴重ニ消毒シ窓其他出入易キ場所ヲ釘付トシ他村落ニ通スル道路ヲ閉塞シ巡警ヲ並哨警戒ニ充テ東北方ヨリ來ル人馬車ハ他道路ヲ迂回セシムルノ設備ヲ爲シ交通遮斷ヲ開始セリ而シテ消毒隊一行ハ同地ノ西方十八清里ナル貂皮屯ト稱スル部落ニ進行ス同地ノ戸數百三十四人口約八百ヲ有シベストノ系統ハ八棵樹ヨリ馬車客棧ニ投宿シタルニ内四名死シ其餘波ハ東方五清里ナル王家屯ニ及ヒ三名ノ患者ヲ出セリ消毒隊一行ハ防遏上患家ヲ燒却其他適宜ノ方法ヲ講シタルモ其内八棵樹ノ人家稠密

七

ニシテ四隣皆茅屋ナルヲ以テ焼却ヲ實施スルコトヲ得サリシト云フ而シテ開原知縣ニ對シテ同地方ノ防疫方法ヲ講セザレハ其禍害底止スルノ期無キ旨ヲ注意シタルニ知縣ハ直ニ委員ヲ派シ相當豫防方法ヲ講スヘキ旨確答セリト又開原ヨリ通江口ニ通スル街道開原ヲ距ル三十五清里ノ慶雲堡ハ人口八百餘ヲ有スル部落ナルカ此地ニ於テモベス下病猖獗ヲ極メ既ニ斃死者五千餘名ヲ出シタリト云フ

十五日左ノ報告ニ據ルニ揭載シタル報告ト重複スル所アルモ更ニ詳報スル爲之ヲ掲ク
一、鐵嶺ヨリ消毒夫五十七名外大連ヨリ來レル一班八名ヲ率ヒ五月十七日開原着直ニ城內ニ進ミ地方官及防疫委員ト會見ス開原城內ハ初發以來當時五十餘名ナリシモ二三日間小靜シ模樣海龍府街道八棵樹ニハ初發四五日ニシテ三十三名ニ達シ附近貂皮屯ニハ七名ノ患者發生セリト報アリ因テ十八日日本人一名ヲ加ヘ前記消毒夫五十七名ヲ急派シ家屋ヲ燒却附近ノ隔離及消毒ヲ勵行セシメ又城內發生家屋ニシテ地方官ニ於テ燒棄實行シ難キモノニ對シ燒却ヲ實行セシメ又十九日早朝大連ヨリノ日本人消毒班八名巡視見習四名及鮫島醫師ヲ伴ヒ昌圖ニ向ヒ即時附屬地附近ノ實況ヲ視察シ午後入城ス昌圖ハ由來官民不和ノ處ニシテ從來地方官防疫ノ緩慢ハ全ク右不和ノ原因ス總督府ヨリ前前任鄭焯氏ヲ特派シ徐知縣ト協力防疫セシムル事トシ折好クモ昌圖驛ニテ同行スルルヨリ、アリ共ニ入城セリ昨日、テ初發以來城内外ヲ通シ約百名昨日ノ如キハ十六名

死亡者アリ防疫所ニテ大會議ヲ開キ人民側トノ衝突激論アリシモ徐知縣ハ二三者斬首ノ犠牲ヲ覺悟シ昨日已ニ三箇所ヲ燒棄シ又府衙門ハ囚人四十名ノ内四名ノ死者ヲ出シ巡警屯所ヨリ十人ノ發病者ヲ生シタル結果目下人民ノ家屋燒却ニ反對スル際先ツ官衙ヲ燒クヲ以テ至當トシ本日斷然燒却ニ決シ放火中本日內發生地區ノ交通遮斷ヲ實行シ又各縣ニハ是非消毒夫五班(五十人)ヲ組織シ其不足分ヲ鐵嶺本部ヨリ臨時急派スルトシ手配ス唯最モ困難ナルハ從來防疫ノ不完全ナル結果消毒夫巡警等ノ罹病者多キ爲各地方共非常ノ恐怖心ヲ起シ急ニ應募者無カルヘギカト思考ス不得已ハ鐵嶺ニテ夫々募集教練シ各地方ニ分派スル外無カルヘシ鐵嶺ニハ目下日本人四名ノ下ニ夫々多少ハ教練中云々(以上二月廿一日付報告)

十六昌圖城內ノ死者昨日來稍減少本日消毒隊二班ヲ組織シ一班ヲ城内外ニ留メ一班ヲ村落ニ派遣セリ又開原派遣消毒隊ノ一半ハ本日當地ニ着セリ右ハ豫備應援隊トシ隨時補給スルヲ手筈トセ又健康者隔離所及病者隔離所ヲ急造スル事トシ夫々本日ヨリ着手ス昌圖驛附屬地ヨリ河ヲ隔テタル一部落ハ曾テ一家内六人ノ朝鮮人死亡者アリ其家屋ハ其儘ニテ居リタルニ昨日附近ニ又一人ノ死者アリ因テ三軒共燒却且其附近四十餘人ノ苦力小屋ハ今後ノ状態甚々懸念スヘキ者アルニ付明日ハ全體ヲ隔離スル手筈アリトス昌圖附近目下各村落共多少ノ發生アル模樣ニテ最モ甚シキハ八面城附近ヨリ由已

ニ初發以來百名以上トシ、長春以南遮斷事務ノ全權ハ當地(昌圖)准軍統領王懷慶ニ委セラレ奉天ヨリハ遮斷ヲ厲行セヨトノ嚴命アリ、昨日來協議ノ結果懷德縣内伊通河門、朝陽城、楊小店、八屋、楊大城ノ五箇所ニ准軍ヲ配置シ長春懷德ヨリ南下ヲ喰止ムル方策ナリ然レトモ右等各處ニハ別ニ隔離所ヲ設ケ無ク加之絶體的遮斷ハ到底實行シ難カルヘク將來何等カ以設備ヲナスナラシ右各路ハ汽車道ト並行南下シ又鄭家屯街道ナレハ汽車道ノ輿地ヨリ斜ニ附屬地ニ來ル者ハ遮斷セズ云々(以上二月廿三日付)

十六、左ノ報告ニ接セリ(二月二十六日) 孟長春道臺ハ防疫設備ニ要スル經費不足ヲ來スヘキ虞アルヲ以テ商務總會總理議員二十餘名ヲ會同經費補助方ヲ議セシメシカ各議員先キテ捐出ヲ希望シ紳商四百五十軒アリ半萬吊文ヲ捐出ズルコトニナリシト云フ

十七、左ノ報告ニ接セリ(二月二十六日) 清國官憲ハ本月十六日ヨリ長春城内ニ交通遮斷ヲ行ヒタル結果附近部落ヨリ食料品ノ入荷著シク減少シタル爲ニ二十五日ヨリ一切ノ食料品ハ城外ニ搬出スルコトヲ禁止シタリ

十八、左ノ報告ニ接セリ(二月二十六日) 長春ニ於テハ是迄清國側ノ消毒隊ヲ援助ヲ與ヘツアリシカ更ニ其依頼ニ依リ日清合同ノ消毒班ヲ組織スルコト、ナリ清國側ハ商埠巡警分署ニ於テ三十名ノ巡警ヲ集メ之ヲ五

班ニ分チ一班ニ日本消毒隊員三名ヲ附シ商埠地及城内外患者及患家ニ對シ現場ニ就キ消毒ノ實施練習ヲ爲サシムル事トシ日本側派遣ノ者ヲ以テ之ヲ統轄セシメシニ清國官憲モ非常ニ満足ヲ表シ豫期以上ノ効果ヲ奏スルモノ、如シ

(參照) 本文消毒班ノ編成左ノ如シ

- 第一班 防疫員二名、人夫一名、消毒手一名、清國巡警六名
- 橋本萬三郎 第二班 巡視一名、防疫員一名、人夫一名、消毒手一名、清國巡警六名
- 宮田珍貞 第三班 防疫員一名、人夫一名、消毒手一名、清國巡警六名
- 西村隆行 第四班 巡視一名、防疫員一名、人夫一名、消毒手一名、清國巡警六名
- 第五班 巡視一名、防疫員一名、人夫一名、消毒手一名、清國巡警六名

外通譯、藥品係、機械物品係各巡視一名助手消毒手一名

清國側監督員王商埠巡警局長、趙第一區長、趙馬隊長官、巡長二名

十九、左ノ報告ニ接セリ(二月二十六日) 在法庫門商務總會顧問醫守田福松ノ二月廿三日付通報ニ依レハ該市ベスト病者ハ稍減退ノ勢ニ向ヒ曩ニハ日々十餘名ノ發病者アリシモノ現今ニ於テハ市内患者ノ發生ハ二三名ニ過キサル有様トナリ唯隔離中ノモノハ日々二、三名ノ發病者アリ初發以來ノ發生家屋ノ消毒モ嚴重ニ之ヲ施行シ又大ニ進捗セリ消毒隊ハ常ニ一隊ヲ新發生家屋ニ消毒ニ充ツ

可ク用意シ居ルノ現況ナリ隔離ト交通遮断、有熱者ノ調査、外來人ノ一定期間(二週間)收容、全市ノ營業停止、患者ト同室者ノ被服寢具ノ全部焼却等ハ遺憾無ク實行セラレ避病院ニ對スル一般市民ノ感想モ大ニ好良ニ向ヒ謠言ノ總テハ全ク雲散霧消シ嗜好品ノ供給遺言記録ノ遺族ヘ送付等ハ大ニ一般ノ感情ヲ好良ナラシムルヲ得タリ又全入院患者ノ細菌検査ヲ施シ其標本ヲ各部代表者ニ供覽シタルニ一同驚キ居ルノ有様ナリ目下顧問醫ノ諸有ノ防疫措置ト避病院及隔離所ノ診察等ニ對シテモ一般ノ歡迎ヲ得ルニ至リ當地ノ防疫實施ハ意外ニ好良ノ結果ナリ尙避病院看護人四名ハ曩ニ感染死亡シタルモ目下防疫衣ヲ用ヒ手脂其他消毒法ノ嚴行以來好成績ニシテ隔離所ノ消毒ハ毎朝一回之ヲ施行シ被服寢具ハ日々日光ニ曝露スルノ方法ヲ執リ又全市民ノ被服寢具ノ日光曝露ハ市令ヲ以テ告示シ二月二十四日ヨリ隔日ニ實施ノコト、ナリ市内ノ清潔的消毒法ハ前週之ヲ命シ塵埃ハ市外一定ノ箇所へ運搬シ室内外ハ清掃ノ後塵埃ハ石油ヲ注キテ焼却シ土間及濕潤ノ箇所ヘハ石灰ヲ撒布スルコト、シ來週ニ於テ検査施行ノ筈云々

(附記)左ニ掲クル守田顧問醫ノ私信ノ摘要ハ重複スル處アルモ詳報スル爲之ヲ掲ク
二月十日法庫門ニ着シ一般ノ狀況ヲ見ルニ自然リ成行ニ放任セラレ病毒蔓延區域廣汎ニ涉リ尋常ノ手段ニテハ手ヲ付ケ様モ無ク加フルニ商務會農務會自治會等防疫ニ關スル意見ヲ異ニシ居ルヲ以テ知府ヲ催シ各部聯合ノ會議ヲ開催セシメテ之ヲ一團

- トシ左記各項實施ノコトニ決定ス
- (一) 差當リ防疫費壹萬圓ヲ支出スル事
 - (二) 守田ノ携帶セル一個ノ熱氣消毒器四個ノ噴霧器煮沸消毒器ノ外平山式消毒車米澤式フオルマリシ消毒器一具ノ購入ト石炭酸二千磅昇汞五百磅フオルマリシ一千磅ノ購入
 - (三) 四門ノ交通遮断ト外來人收容檢診所ノ設置從來ノ隔離所増築避病院重症室及疑似患者室ノ區劃
 - (四) 交通遮断ト外來人ノミナラス各町各區ヲ區分シテ交通ヲ遮断スル事トナリ爲三日用品ノ購買等ハ防疫會ニテ其用ヲ辨シ遣ル事トセリ而シテ途ニ交通遮断ハ進ミ進ンテ今日迄テハ知府ノ發言ニ由リ全市ノ營業停止ヲ實行シ各戸ノ交通サヘナサ、ルニ至レリ爲多人数ノ集會ハ自然ニ禁止セラレ
 - (五) 患者發生家屋ノ三日連續ノ嚴密ナル消毒法施行同室者ノ隔離及患者ハ勿論同室者ノ被服寢具ハ全部焼却ヲコトニ決定
 - (六) 患者發生家屋ノ交通遮断ト標札樹立(第二第二接近者ノ各別隔離)
 - (七) 家屋ハ大家ハ藥物消毒小家ハ燒却屍體ハ全部火葬ニ決定(目下火葬セルモノ百二十餘)



- (七) 清國醫師ノ有執者報告守田ノ檢診及細菌検査
- (八) 捕鼠ノ買上目下銀貳拾錢ニ日六七十頭宛捕鼠器五千個(注文済)
- (九) 市街及各戸ノ消毒の清潔法施行(検査施行)
- (十) 患者隠蔽者ノ處罰ト報告者ノ賞與(厳行)
- (十一) 檢病的戸口調査(厳行)
- (十二) 消毒隊三隊編成市ノ中央位置ニ於ケル消毒隊詰所ノ設置
- (十三) 消毒隊ハ守田ノ指揮下ニ在リテ發生家屋ノ消毒及隔離舍ノ消毒ニ從事ス
- (十四) 避病舍ノ診斷治療ト疑似患者及隔離所内ノ檢診ハ守田ノ擔任ニ屬スル事
- (十五) 守田ハ危險ト困難トヲ恐レヌ可憐ノ病者ノ診療ニ從事スヘケレハ假令治療ノ望無キ病者ト雖モ安心シテ其治療ヲ受クル様知府ヨリ市民一般ニ布達スルコト
- (十六) 尙詳細嚴密ノ處置ヲ執リ市民一般ノ信賴ヲ得萬事好都合ニシテ曩ニハ避病院ニ於ケル患者ノ生理ノ劇藥ニテ殺ス等ノ風評最モ熾ナリシモ是等ノ噂ハ全然霧消シ假令全治シ能ハサルトモ充分ノ手ヲ盡スト云フコトヲ認メラレ尙日々診察ノ際各人ノ嗜好ヲ聞キテ其欲スル所ノ食物ヲ與ヘ又各人ノ遺言ヲ一々記録シテ其近親ニ致ス等ノ方法ヲ執リ市民一般ノ感動スル所ヲテ萬事ノ進行ヲ容易ナラシメ又患者發生家屋ノ消毒ハ非常ナル苦心ヲ以テ緻密ノ消毒法ヲ實行シ既ニ廣興玉大來泉等猛烈ノ侵襲ヲ受ケタル分モ

消毒後夫々歸居シ安全ニ起臥經過スル等市民ノ消毒法ニ對スル感想ハ大ニ良好ノ様ニシテ進テ根本的消毒法ノ施行ヲ申出ツルニ至リタルハ思想ノ一轉化トモ云フベキカ又全市ノ營業停止ハ全ク交通遮斷シ嚴行以來大ニ良好ノ結果ヲ生シ來リ本月初ハ十有餘名ノ患者ヲ發生シタルモ目下ハ二四名ニ減退シ而モ是等ノ多クハ隔離所ヨリ出ルモノニシテ市街ニ於ケル散發ハ聊カ免カレタルノ成績ヲ舉ケタル等當地官民ノ信念ヲ大ニ高メテ進テ續行ヲ希望シ特ニ各町各町ノ區畫遮斷ヲモ實行セラレ大ニ警戒中ニ云々

- 二十、左ノ通報ニ接セリ(二月廿七日)
- 旅順ノ交通遮斷ハ本日(廿七日)午後二時ヨリ撤廢シヨトニ決定セリ
- 二十、長春ニ派遣中ノ日本側消毒班ヨリ左ノ報告ニ接セリ(二月廿七日)
- 長春道臺ヨリ熱氣消毒器一臺貸與方ノ交渉アリ取寄シ手配ス廿六日ハ西村醫師ト共ニ消毒班五班惣係リニテ八戸ヲ消毒シ益々好都合ニテ事毎ニ好感ヲ以テ我々ヲ迎フルノ態度ヲ現ハセリ
- 二十二、左ノ通報ニ接セリ(二月廿八日)
- 本月二十三日在哈爾濱總領事館ノ調査ニ依ルニ同領事館管内ハスト初發以來二月二十日ヲ以テ死亡總數六千三百四十七名之ヲ東清鐵道附屬地内外及國籍ニ依リ細別スルニ鐵道



附屬地中哈爾濱三千六百六十九名內露國人三十九名日本人三名佛國人一名其他ノ鐵道附屬地百二名內露國人一名鐵道附屬地外傳家甸四千八百七十七名內日本人三名以上外國人ノ外ハ總テ清國人ナリ又右期間中ニ於ケル在齊々哈爾濱領事館管內東清鐵道附屬地ノ死亡總數五百四名在長春領事館管內附屬地四十四名ナリ哈爾濱ニ於ケル病勢ハ漸次衰退ノ傾向ヲ呈ス三月十一日ヨリ二十日マテ十日間平均死亡數毎日傳家甸二十九名哈爾濱十一名ハ鐵道沿線以外ハ內地市邑ニハ病毒益蔓延シ至ル處慘狀ヲ極メ居ル模様ナリ依然トシテ何等統計ノ徵ズヘキ無シ

前通報(本報告書其九)中總數五千九百三十五名ハ五千八百八十九名其ノ他ノ附屬地百二十三名ハ七十七名內露國人十名ハ一名ノ誤ニ付訂正ス

二十三ノ左ノ報告ニ接セリ(二月二十八日)

關東都督府海務局ニ於テハ豫防ヲ爲山東省及渤海沿岸各地ヲ發シ又ハ經由シテ入港シタル船舶ニ對シ當分シテ左記手續ニ依リ檢疫ヲ施行スル旨三月二十七日付ヲ以テ公告シタリ

(一) ベスト流行地ヨリ乘船シタル清國人及病毒汚染ノ虞アル他ノ船客ニシテ關東州ニ上陸セントスルモノハ陸止ニ於テ七日間指定ノ收容所ニ停留ス若シ陸上ニ於テ收容ノ餘地ナキモキハ之ヲ船内ニ停留セシムルコトアルヘシ

- 前項ノ船客ヲ搭載シタル船舶ハ指定ノ場所ニ船客ヲ上陸セシメタル後荷役錨地ニ就キ荷役ヲ爲スコトヲ得但シ埠頭又ハ棧橋ニ繫留スルコトヲ得ス
- (二) ベスト流行地ヨリ乘船シタル清國人及病毒汚染ノ虞アル他ノ船客ニシテ關東州ニ上陸セサル者ハ之レヲ船内一定ノ場所ニ停留シ荷役錨地ニ就キ荷役ヲ爲スコトヲ得但シ埠頭及棧橋ニ繫留スルコトヲ得ス
- (三) ベスト流行地ヨリ乘船シタル船客ナク且ツ健康地ヨリ乘船シタル寄港船客(關東州ニ上陸セサル船客)及其船員カベスト流行地ニ於テ上陸セサリシ事明白ナル船舶ハ埠頭又ハ棧橋ニ繫留シ荷役ヲ爲スコトヲ得但シ繫留中ハ繫索ニ鼠返器ヲ裝置シ其他陸上ト鼠族ノ往復ヲ防止スル處置ヲ爲スヘシ
- (四) 前各項ノ船舶ハ在港中一切船員ノ上陸ヲ許サス海務局官吏又ハ警察官吏ハ隨時人員ノ點檢ヲ爲スコトアルヘシ但シ公務其他止ムヲ得サル事情ノ爲上陸ヲ要スル者ハ特ニ海務局長ノ許可ヲ受クヘシ
- (五) 旅順港ニ在リテハ第一項ノ船客ハ上陸ヲ許サス荷役ノ後其船舶ヲ大連港ニ廻航セシムルモノハ旅順港ニ在リテハ第一項ノ船客ハ上陸ヲ許サス
- (六) 前各項ノ船舶ハ荷役ニ從事シテ大連港ニ在リテハ第一項ノ船客ハ上陸ヲ許サス
- (七) 本手續記載キ事項ハ港則ニ依リ之レヲ取扱フ



二十四、左ノ報告ニ接セリ三月二十六日

獨逸膠州灣總督府前參謀長一行中軍醫監一人大尉帯人八艦長ト共三月廿五日午前大房身隔離所ヲ視察シ午後ハ療病院、寺兒溝收容所、埠頭及若狹町患家發生地等ヲ視察セ

- (一) 埠頭及若狹町患家發生地等ヲ視察セ
- (二) 埠頭及若狹町患家發生地等ヲ視察セ
- (三) 埠頭及若狹町患家發生地等ヲ視察セ
- (四) 埠頭及若狹町患家發生地等ヲ視察セ

ペスト患者日別表

場所	發生日			初發以來 累計	備考
	二月廿六日	二月廿七日	二月廿八日		
旅順 都督府管内				二	
大連 都督府管内				六六	
奉天 都督府管内				二二	
鐵嶺 都督府管内				一三五五	内係争地患者五七人
開原 都督府管内				八六	内係争地患者五七人
昌圖 都督府管内				五六	内係争地患者五七人
四平街 都督府管内				一七五	城内及其附近村落ニ發生シタル患人ニ對シテ
公主嶺 都督府管内				二二	
長春 都督府管内				一七	
長春 都督府管内				一〇四	
長春 都督府管内				二〇九	
長春 都督府管内				二六	
長春 都督府管内				四二	
長春 都督府管内				三四	



隔離所收容人員表 (二月廿八日調)

場	所	收容者	累計	現在	收容者	備	考
大潭	連家房		118		118		
大普	蘭子		115		115		
大金	金子		63		63		
大遼	遼天		262		262		
大奉	奉天		112		112		
大開	開原		8		8		
大郭	郭原		118		118		
大長	長街		103		103		
大撫	撫店		44		44		
大鷄	鷄冠		24		24		
計			1099		1099		

備考
 一、金州民政支隊直轄分署合算ナルモノナリ
 二、金州民政支隊直轄分署合算ナルモノナリ
 三、金州民政支隊直轄分署合算ナルモノナリ
 四、金州民政支隊直轄分署合算ナルモノナリ
 五、金州民政支隊直轄分署合算ナルモノナリ

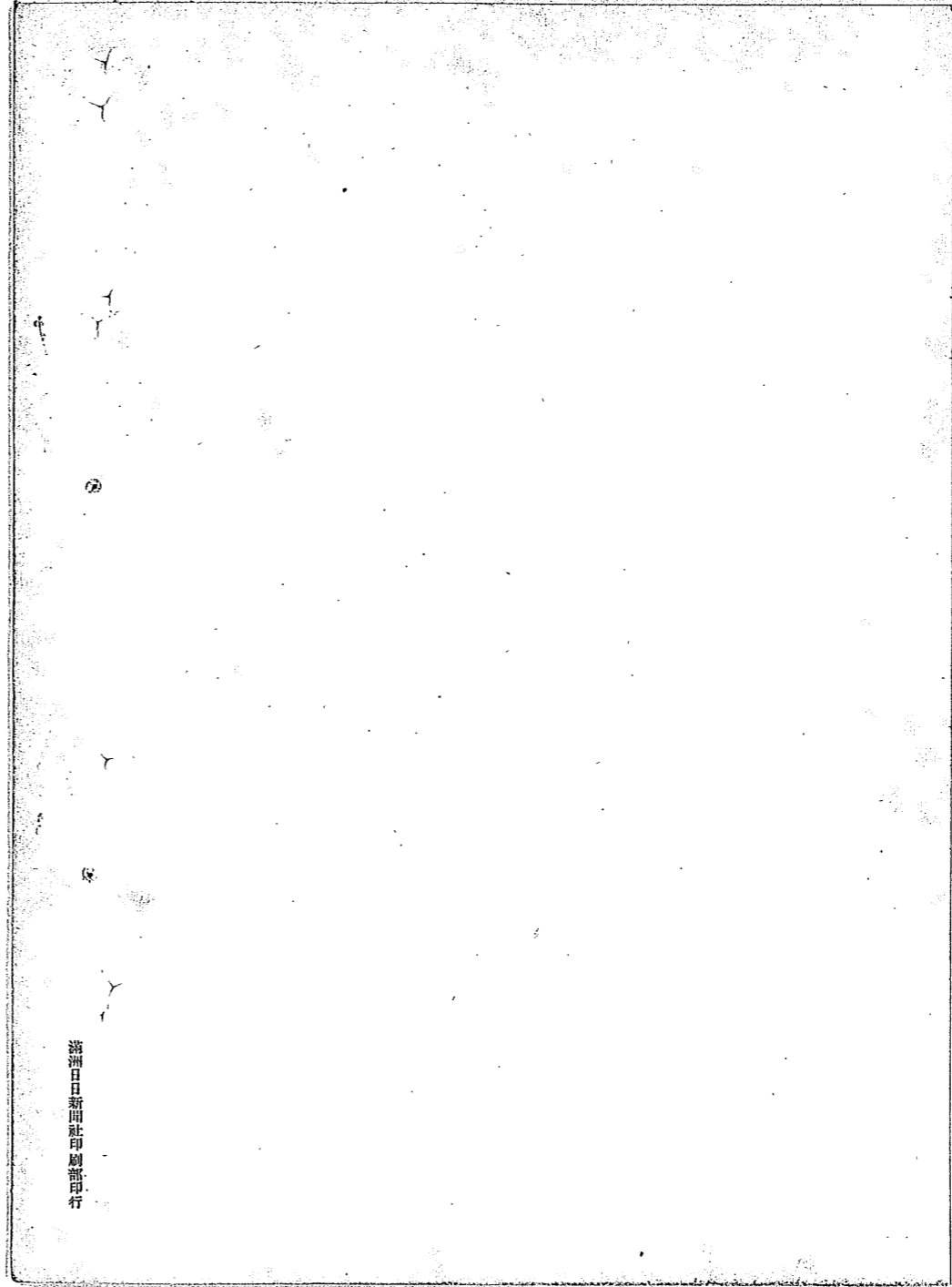
シマノ島管内患者数ハ清國官憲ノ通報ニ依ルヲ以テ明確ナラス

管	日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
金州												3
撫順												18
本溪湖												56
法庫門												142
遼陽												34
遼寧												34
計												427
合												733

備考
 一、本表ハ前日ノ正午ヨリ當日正午迄分ラ當日分トシテ計算ス
 二、清國管内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス
 三、清國管内患者數ハ清國官憲ノ通報ニ依ルヲ以テ明確ナラス

内
 日本人 2人
 朝鮮人 1人
 英國人 1人
 清國人 423人

石橋子驛及大嶺驛附近ニ發生シタルモノ
 立山驛附近支那部落ニ發生シタルモノ



滋賀日新聞社印刷部印

3-2597

0435

ペスト患者日報

明治四十四年四月十二日

地方別	關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘要
	日本人	支那人	日本人	支那人	
旅順	1	0	0	0	二名共大連ヨリ來レル苦力村落ニシテ發生シタルモノ 一月二十日以降發生ナシ
大連	6	0	0	0	
金州	3	0	0	0	二月六日以降發生ナシ
遼陽	0	0	0	0	
奉天	2	0	0	0	立山附近ノ支那部落ニ發生ス最近ニ遼陽附近ノ村落ノ四路一里中樹林ニ發生シタルモノ 下段ノ内係管地累計六六
鐵嶺	0	0	0	0	
開原	0	0	0	0	上段累計ノ内ハ郭家店驛ニ於テ發生シタルモノ
法庫門	0	0	0	0	
昌圖	0	0	0	0	城内及城南ノ村落ニ發生ス最近ニ昌圖驛附近ニ發生ス
四平街	5	0	0	0	
公主嶺	3	0	0	0	
地方別	1	0	0	0	關東都督府管内患者
性	男	女	男	女	
總計	5,249	0	0	0	摘要
合計	男	女	男	女	
雞冠山	0	0	0	0	石橋子驛附近ニ一其ノ他ハ大嶺驛附近ニ發シタルモノ 二月六日以降發生ナシ
本溪湖	0	0	0	0	
撫順	0	0	0	0	一月十六日以降發生ナシ
長春	0	0	0	0	
地方別	1	0	0	0	清國管轄内患者
性	男	女	男	女	
總計	5,249	0	0	0	摘要
合計	男	女	男	女	
雞冠山	0	0	0	0	石橋子驛附近ニ一其ノ他ハ大嶺驛附近ニ發シタルモノ 二月六日以降發生ナシ
本溪湖	0	0	0	0	
撫順	0	0	0	0	一月十六日以降發生ナシ
長春	0	0	0	0	
地方別	1	0	0	0	清國管轄内患者
性	男	女	男	女	
總計	5,249	0	0	0	摘要
合計	男	女	男	女	

備考 一 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明確ナラス
二 奉天清國管内累計ノ内ニ日本人二朝鮮人六、英國人一ヲ含ム△印ハ朝鮮人ヲ示ス

ペスト患者日報

明治四十四年四月十三日

地方別	性		日本人		支那人		外国人		計	摘要
	男	女	男	女	男	女	男	女		
旅順	1	0	1	0	0	0	0	0	1	一名其大連ヨリ來レル苦力村落ニシテ發生シタルモノ
大連	6	0	6	0	0	0	0	0	6	二月七日以降發生ナシ
金州	3	0	3	0	0	0	0	0	3	二月六日以降發生ナシ
遼陽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	立山縣附近ノ支那村落ニ發生ス最近ニ遼陽附近ノ村落ノ四圍ニ一里半楊林子ニ發生シタルモノ
奉天	2	0	2	0	0	0	0	0	2	下段ノ内係争地累計六六
鐵嶺	1	0	1	0	0	0	0	0	1	同上
開原	2	0	2	0	0	0	0	0	2	同上
法庫門	1	0	1	0	0	0	0	0	1	同上
昌圖	1	0	1	0	0	0	0	0	1	城内及城南ノ村落ニ發生ス最近ニ昌圖縣附近ニ發生ス
四平街	5	0	5	0	0	0	0	0	5	同上
公主嶺	3	0	3	0	0	0	0	0	3	上段累計ノ内一ハ郭家店驛ニ於テ發生シタルモノ
地方別	性		日本人		支那人		外国人		計	摘要
關東都督府管内患者	105	0	105	0	0	0	0	0	105	
清國管轄内患者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
總計	105	0	105	0	0	0	0	0	105	

備考 一 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明確ナラス
二 奉天清國管内累計ノ内ニ日本人二朝鮮人六、英國人一ヲ含ム△印ハ朝鮮人ヲ示ス

關東都督府

ペスト患者日報

明治四十四年四月十四日

地方別	關東都府管内患者		清國管轄内患者		摘要	
	日本人	支那人	日本人	支那人		
旅順	1	0	0	0	二名其大連ヨリ來レル苦力村落ニシテ發生シタルモノ 一月二十日以降發生ナシ	
大連	0	0	0	0	二月七日以降發生ナシ	
金州	0	0	0	0	二月六日以降發生ナシ	
遼陽	0	0	0	0	二月六日以降發生ナシ	
奉天	0	0	0	0	立山縣附近ノ支那村落ニ發生ス最近ニ遼陽府 近ノ和隆(遼陽ノ西側)一里中楊林子ニ發生シ タルモノ	
新民府	0	0	0	0	下段ノ内係争地累計六六	
鐵嶺	0	0	0	0	五五	
開原	0	0	0	0	八七	
法庫門	0	0	0	0	一三五	
昌圖	0	0	0	0	一七八 城内及城南ノ村落ニ發生ス 最近ニ昌圖縣附近ニ發生ス	
四平街	0	0	0	0	一	
公主嶺	0	0	0	0	二三 上段累計ノ内ハ郭家店縣ニ於テ 發生シタルモノ	
地方別	關東都府管内患者		清國管轄内患者		摘要	
	日本人	支那人	日本人	支那人		
長春	0	0	0	0	一〇五	
撫順	0	0	0	0	一〇二	
本溪湖	0	0	0	0	五八	
雞冠山	0	0	0	0	一七 石橋子縣附近ニ一其ノ他ハ 附近ニ發生シタルモノ 二月六日以降發生ナシ	
合計	計	計	計	計	一七 一月十六日以降發生ナシ	
總計	五、八四一	内	日本八(男一、女一)	朝鮮人(男一、女一)	支那人(男一、女一)	英國人(男一、女一)

備考 一 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明瞭ナラス
二 新民府累計ノ内ニ日本人二朝鮮人六、英國人一ヲ含ム△印ハ朝鮮人ヲ示ス
三 一月十三日ヨリ三月二十一日ニ至ル新民府ニ於ケル患者數報告ニ接シタルヲ以テ新ニ同畫ヲ設クルモノナリ
四 奉天清國管内累計ノ内ニ日本人ニアリタルハ新民府ニ移ス

明治四拾四年四月拾八日發

主 管 政 務 局

第一課

受第10048號

患者數報告

發四月十七日午後四時四十分 奉天

着々々々 九時三十分 奉天

臨時防疫部長

臨時防疫係

通商

管内
管外

新患

無シ

奉天 六

(清國側報告漏レ分ニテ内三名)

四月二日二名 同日一名 同日十

五日死七十一

又管内一名ハ防疫病院内着護
人四名ハ隔離所内一名ハ路
上倒レトス

秘

明治四拾四年四月廿日 發

主務政務局

第10244號

第一課

16

發四月十九日午前十一時 奉天
著人々々 午後二時五分 著人々々

臨時防役部防疫課長

第三部長

電文譯

(一四三) 十三日電報、患者ト第一九永田丸ニ
同船ニ大層身ニ收容中、清國苦力一名注意
患者トシテ手当中、昨日真性トヘストト決定
ス右先例ニ依リ公表セズ

追而先ノ電報ニ第七一九永田丸トセシハ

第一九永田丸ノ電報ノ誤シテ字ニ

訂正ス

3-2597

0443

明治四拾四年四月廿日 接受

主管 政務局

ペスト防疫施設報告書 其十四

關東都督府臨時防疫部

3-2597

0444

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

ベスト防疫施設報告 (其十四)

前報告以降即チ三月十一日ヨリ同月十五日ニ至ル五日間ニ於テベスト防疫ニ關シ施設シタル事項竝同伴ニ關シ各方面ヨリ通報等ノ要旨ヲ列舉スルコト左ノ如シ

一、三月九日勅令第十四號ヲ以テ關東都督府臨時防疫部官制中左ノ通改正セラレ

第二條 臨時防疫部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長

次長

委員

書記

監吏

部長ハ關東都督ヲ以テ之ニ充テ其ノ他ノ職員ハ關東都督之ヲ命ス

第三條 部長ハ防疫ニ關スル事務ヲ統理シ必要アルトキハ南滿洲ニ駐在スル領事官ヲ指揮スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三、本期間ニ於テ左ノ告示ヲ公布セラレタリ

(1) 威海衛ニ於ケル檢疫ニ關スル件 (明治四十四年三月十二日)

(關東都督府告示隔第十八號)

威海衛ニ於テハ大連ヨリ來航スル船舶ニシテ現ニ船中ニ患者ヲ有セザルトキハ停船ヲ命ゼス但シ船客及船員ニ對スル健全證明書ヲ携帶スルヲ要ス而シテ船客及船員ハ健康診斷ノ後書問ニ限リ上陸ヲ許可スル旨英國領事ヨリ通報アリタリ

(2) 膠州灣ニ於ケル檢疫ノ件 (明治四十四年三月十二日)

(關東都督府告示隔第十九號)

膠州灣ニ於テハ大連ヨリ入港スル船舶ハ港外ニ於テ檢疫ヲ受ケ異狀ナキトキハ直ニ埠頭ニ進行シ得ルコトトシタル旨膠州灣總督ヨリ通知アリタリ

參照

膠州灣ニ於ケル檢疫ノ件ニ關シ左記ノ通り通知アリタル旨南滿洲鐵道株式會社副總裁ヨリ臨時防疫部長ヘ通報アリタリ

譯文

前署キヤピテン、ゾオン、カイゼルノ報告ニヨレハ大連ニ於ケル最終ベストノ發生ハ二月五日ニシテ爾後二月二十四日迄二十日間全ク其ノ發生ヲ見サルノミナラス完全ナル防疫規則ノ嚴重ニ施行セラレ居ルモノアル爲小官ハ從來無余議上海ノ例ニ倣ヒ取扱ヒ來リシ當地ノ檢疫法ヲ最モ寬大ナラシムルコトト致候即チ大連ヨリ入港ノ汽船ハ一度港外ニ投

錨シ此處ニテ醫師ノ檢疫ヲ受ケ異狀無キ時ハ直ニ埠頭ニ進行シ得ル事ト致候但シ右ハ現時ノ狀態ニ對スル措置ニ有之候間萬一將來大連ニ於テベスト發生ノ場合ハ即時電報御通知相成候様致度候 敬具

千九百一十二年二月二十八日

膠州灣總督海軍大將 トマツベル

(3) 廣東港檢疫假規則ノ件

(明治四十四年三月十二日)

(關東都督府告示隔第二十號)

廣東港稅務司ハ左ノ通廣東港檢疫假規則ヲ制定セシ旨拓殖局ヨリ通報アリタリ
牛莊、秦皇島、天津、大連、芝罘ノ各港出帆後十日以内ニ當港ニ到達スル船舶ニ對シ次ノ假規則ヲ施行ス

廣東港檢疫假規則

第一條 黃捕島ニ向フ船舶ハ第一門州島ノ東南端ヨリ東南ニ當ル「ベルチヤ、リイナ」(Barther reach)ニ投錨シ前橋ニ黃色旗ヲ掲揚シテ檢疫官ノ臨檢ヲ待ツベシ

第二條 廣東ニ向フ船舶ハ「マカオ、フオット」(Macao)ノ「スロラチ」上流ニ投錨シ前橋ニ黃色旗ヲ掲揚シテ檢疫官ノ臨檢ヲ待ツベシ

第三條 船舶ハ檢疫官カ許可ノ指令ヲ與フル以前ニ於テ上陸又ハ他ノ船ト交通スルヲ得ス

第四條 檢疫官ガ交通許可ノ指令ヲ與ヘタル後ト雖船舶ハ埠頭ニ接近スルコトヲ得ス積

荷ハ河流中ニテ荷役船ニ積卸スヘシ

第五條 前掲諸港ヨリスル獸皮、毛髮、古麻袋、襪、反古紙、生果、蔬菜、植物、人體ヲ入レタル棺、泥砂等ノ輸入ハ之ヲ禁止ス

(4) 天津及秦皇島入港船舶検査ノ件 (明治四十四年三月十五日) (關東都督府告示第二十二號)

天津小幡總領事ヨリ小池總領事宛左ノ電報アリタリ
大連ニ於ケルベスト病流行ハ先頃ヨリ已ニ終熄セルヲ以テ上海ノ例ニ倣ヒ同港ヨリ入港スル船舶ニ對シ北京官憲今般大連及旅順ヨリ天津及秦皇島へ入港スル船舶ニシテ乘客ヲ有セサルモノ又ハ仕出港官憲監督ノ下ニ隔離サレタル證明書ヲ有スル船客ノミ搭載スルモノ若ハ船舶健康證書ヲ有スルモノハ衛生醫ニ於テ検査ノ後停船ヲ免除スルコトニ改メタル旨當地稅關長ヨリ通知アリタリ

(5) 芝罘港入港船舶検査ノ件 (明治四十四年三月十五日) (關東都督府告示第二十二號)

芝罘土谷領事ヨリ左ノ電報アリタリ
旅順及大連ヨリ入港スル船舶ニ對シ左記條件ヲ以テ停船ヲ要セサルコトニ決定セル旨清國官憲ヨリ通知ニ接セリ

第一 船客總數ハ其ノ船舶ノ登簿噸數ニ超過セサルコト即一噸ニ付一名ノ割合ナルコト
第二 船客ハ各自旅順又ハ大連ニ於テ醫師監督ノ下ニ七日間以上停留セラレタルコトノ

證明書ヲ有スルコト

第三 當地ニ於テ検査ノ際疑似患者ナキ場合

右ハ直ニ實施セラル、筈ナリ又内水航路ニ依ル船舶ハ從前ノ通先ツ當地ニ寄港シ前記ノ手續ニ依リ目的地ニ航行シ得ヘシ

三、本期間ニ於テ左ノ告示ヲ公布シタル旨報告アリ

(1) 停車場内送迎禁止ノ告示廢止ノ件 (明治四十四年三月九日) (旅順民政署告示第十二號)

明治四十四年一月十八日告示第四號ハ明治四十四年三月十日限り之ヲ廢止ス

(2) 下流行地ト認ムル地方ヨリ來航スル船舶ノ寄泊及荷物ノ陸揚ヲ許ス場所追加ノ件 (明治四十四年三月九日) (旅順民政署告示第十一號)

明治四十四年三月告示第十號指定場所左ノ通追加ス

一 大龍王塘

(3) 苦力需要ノ場合申出方ノ件 (明治四十四年三月十三日) (大連民政署告示第十三號)

目下清國山東省及直隸省等ヨリ滿洲へ苦力ノ出稼ヲ禁止セラレ居リ候處南滿洲ニ於テ所要ノ苦力ハ其ノ人數雇主及使用ノ目的等ヲ定メ關東都督府臨時防疫部ヨリ之ヲ東三省總督へ通報シ同總督ハ其ノ都度山東省又ハ直隸省當該官憲ニ交渉シ故障ナク出稼ヲ爲サシムルコトニ協定セル旨臨時防疫部ヨリ通報アリタルニ付苦力ヲ要スル向ハ前記ノ事項ヲ

五

- 具申同部へ申出ラレヘシ
- 四、大連港支部長へ左ノ電報ヲ發シタリ (三月十一日)
無毒地ナル大連ヨリ安東縣ニ行ク船舶ニ對シ自白上陸ヲ許サザルハ不都合ニ付無毒地ニシテ取扱フ様總督ヨリ安東清國官憲へ電訓スルコトニ交渉セリ
- 五、清國官憲ニテ山東省等ヨリ苦力ノ輸出ヲ禁シ居ルハ目下露國ニテ之カ輸入ヲ禁止シ居ルヲ以テ無制限ニ輸出スルニ於テハ自然南滿ニ停滯シ多クノ弊害ヲ醸スヘキヲ顧慮シタルニ外ナラサルカ如シ依テ當分ノ内外輸出ニ關シ左ノ通り協定シ關係ノ向へ通牒セリ (三月十一日)
- 滿鐵會社其他ニテ必要ノ苦力ハ其員數、雇主、目的等ヲ具シテ防疫部ヨリ交渉使ニ通知スルハ東三省總督ハ其都度山東直隸兩省官憲ニ通報シ輸出ニ故障ナカラシムヘシ
- 六、部長及各課長等ノ電信略符ヲ決定メ關係ノ向へ電報セリ其略符ハ左ノ通り (三月十一日)
- 一 防疫部 ホフ 一部 ホテ 一次 ホチ
- 一 防疫課長 ホホ 一 醫務課長 ホイ 一 經理課長 ホケ
- 一 庶務課長 ホシ
- 七、清國官憲ノ證明ヲ有スル一等乘客ハ停留ヲ要セス第三第四列車ノ清國人専用車ニ乗車差支テ無キコトトシ之ヲ各關係ノ向へ通知セリ (三月十二日)

八、各支部長、出張所長へ左ノ通牒ヲ發シタリ (三月十三日)

停留所ニ收容シタル乘客ニ對シ乗車券發賣其ノ他取扱方ニ付滿鐵運輸課ヨリ左記寫ノ通各驛へ通達シタル旨通報有之候ニ付御承相成度

左記

- 隔離所ニ收容シタル乘客ニ對シ乗車券發賣方ハ隔離所ニ於テ收容後直ニ其ノ行先ヲ調査シ乗車券所要數ヲ驛ニ通知スヘキニ付該通知ニ依リ其ノ所要數ヲ同所ニ携帯シテ發賣スヘシ但該乗車券ニハ裏面ニ「、日間收容」ト記載驛長之ニ認明シ該日間乗車券有効期間ヲ延長スルモノトス
- 隔離ヲ經タル乘客ハ隔離所前ニ列車ヲ停止セシムル場合ノ外ハ必ス引卒者ヲ附シ隔離所ヨリ停車場ニ送致セラレルモノトス依テ當該驛ニ於テハ他ノ乘客ト接觸セシメサル様直ニ専用車ニ乗車セシムヘシ
- 九、各支部長出張所長へ左ノ通牒ヲ發シタリ (三月十三日)
- 一般人民ニシテ「患者若ハ屍體ヲ發見シ又ハ海陸交通遮斷線ヲ侵シテ上陸若ハ進入セシムル者ヲ發見シ最先ニ當該官吏ニ申告シタル者ニハ金十圓以内ノ防疫賞與金ヲ支給スルヲ得而シテ其ノ金額ハ支部長及出張所長ノ査定ニ依ルコトニ決定相成候
- 追テ本決定ハ本年一月一日ニ溯リ施行スルコトヲ得ル義ニ候條此段申添候

十、旅順支部ニ於テハ沿岸防疫従事員勤務方法ニ關シ左ノ通規定シタル旨同支部長ヨリ報告アリ

沿岸防疫従事員勤務規程 (明治四十四年三月九日 旅防發第八一九號)

第一條 防疫上沿海取締ノ爲極要ノ地ニ監視所ヲ置ク監視所ハ其ノ所在ノ地名ヲ冠稱ス

第二條 監視所ニ所要ノ巡查巡捕及壯丁ヲ配置ス

前項ノ外必要ト認ムルトキハ警部補ヲ配置ス

第三條 監視所ノ位置受持區域及配置人員並警部補、巡查、巡捕ノ擔當區域ハ別ニ之ヲ定ム

第四條 監視所勤務ノ上席警察官吏ハ其ノ擔當區域内ニ於ケル沿海取締ニ付キ其ノ責任ス

第五條 沿海防疫従事員ノ通常勤務ハ船舶取締ノ外警備警邏及交通等トシ警察官吏配置及勤務規程並巡查勤務細則ノ規程ヲ準用ス但シ警察官吏又ハ巡捕ヲ配置セサル監視所ニハ日誌ヲ備フルノ限リニアラス

第六條 關東州沿海ニ限リ航行スル船舶ハ左ノ各項ニ依リ處理スヘシ

一、出航スル船舶ニ對シテハ當該監視所警察官吏ニ於テ別記第一様式ノ證明書ヲ下付

前項ニ依リ勤務方法ハ別ニ之ヲ定ム

二、船客及船員ハ自由ニ乗降セシムルコト

三、明治四十四年二月署令第二號ニ定ムル受授又ハ輸入禁止品(以下單ニ禁止品ト稱ス)ヲ除ク外ハ自由ニ積卸ヲ爲サシムルコト

四、寄泊シタル船舶ノ證明書ヲ檢閱スルコト

但シ證明書ヲ有セサルモ關東州内ニ限リ航行スル船舶ナルコト明白ナルトキハ第一號ノ手續ヲ爲スコトヲ得

五、一旦寄泊シタル船舶ニシテ出航セントスルモノニハ其ノ證明書ニ寄船及出航ノ日時並目的地其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ記入シ認印ノ上交付スルコト

第七條 關東州外ヨリ來航スル船舶ニ對シテハ左ノ各號ニ依リ處理スヘシ但シ關東州内ニ於テ一週間以上停船ヲ爲シタル船舶ニ對シテハ前條ノ規程ヲ適用ス

一、船客又ハ船員ニシテ上陸セント欲スルモノアルトキハ隔離所ノ設備アル地ニ在リテハ之ヲ許シ直ニ隔離所ニ收容シ其ノ設備ナキ地ニ在リテハ一週間以上停船ノ後上陸ヲ許スコト

二、積載貨物(禁止品ヲ除ク)ハ自由ニ陸揚ケヲ許スコト

三、一週間以上停船ノ後出航セントスル船舶ニ對シテハ當該監視所警察官吏ニ於テ別

記第二様式ノ證明書ヲ下付スルコト

四、船舶ニ要スル物貨供給ノ便宜ヲ與フルコト

第八條 證明書ヲ有スル船舶ト雖「ベスト」流行地へ航行シタル疑アリト認ムルトキハ支
部長ニ即報シ指揮ヲ受クヘシ

第九條 船客又ハ船員ニシテ健康ニ異状アリト認ムルモノアルトキハ發航地ノ如何ヲ問
ハスニ一切上陸及貨物ノ陸揚ケヲ禁止シ其ノ狀況ヲ支部長ニ即報シ指揮ヲ受クヘシ但シ
外傷患者其ノ他傳染病ニアラサルコト明白ナルモノハ此ノ限りニアラス

第十條 第六條乃至第九條ノ規程ハ關東州沿海定期航行ノ汽船ニ之ヲ適用セス

第十一條 告示第十號ニ指定シタル寄泊地以外ニ於テハ不可抗力其ノ他止ムコトヲ得サ
ル事由ヲ爲寄泊シタル船舶ニ對シテハ應急ノ手當ヲ爲シ他ノ人民ノ接觸スルコトヲ禁
シ支部長ニ即報シ指揮ヲ受クヘシ

第十二條 第六條第三號及第四號第七條第三號ニ依リ證明書ヲ下付シ又ハ裏書ヲ爲シ交
付シタルトキハ便宜ノ方法ニ依リ可成關係ノ向キへ通報スヘシ

第十三條 防疫其ノ他警察上參考トナルヘキ事項ハ事件ノ緩急輕重ニ應シ即報、日報又
ハ旬報トシテ支部長ニ報告スヘシ

第十四條 本規程ニ定メタルモノノ外必要ト認ムル事項ハ支部長ニ報告スヘシ

第一様式 證明書 縦六寸五分

船長氏名		國籍船種船名		石數		發航地		寄泊地		目的地		備考	
證明書													
石證明ス													
明治四十四年 月 日													
臨時防疫旅順支部													

一本書ハ寄泊地又ハ目的地ニ到着シタルトキハ監視所ニ提出シ檢閲ヲ受クヘシ



譯文
船主若到碇泊地之時宜速赴監視所徵呈本書以候驗閱爲要

十二

着發月日時	寄泊中ノ記事	監視所名	取扱者認印
月日前時分着 月日後時分發	同同 同同 同同		

一欄内餘白ニハ記事欄ニ盡スロト得サルモノヲ記入スヘシ

第二様式 縦六寸五分

船長氏名	國籍船種船名	石數	發航地	寄泊地	目的地	停船期間

右證明ス

明治四十四年 月 日

臨時防疫旅順支部

一 本書ハ寄泊地又ハ目的地ニ到着シタルトキハ監視所ニ提出シ檢閲ヲ受クヘシ

十三

船主若到碇泊地之時宜速赴監視所繳呈本書以候驗閱爲要

譯文

十四

着發月日時	寄泊中ノ記事	監視所名	取扱者認印
月日前時分着 月日後時分發			
同同			
同同			
同同			

欄内餘白ニハ記事欄ニ盡スコト得サルモノヲ記入スヘシ

十一、消毒人夫ヲ左ノ通配置シタル旨大連支部長ヨリ報告アリ (三月十日)

配置箇所	配置人員	配置箇所	配置人員
旅順	四名	開原	二名
旅順港	二名	昌圖	二名
普蘭店	二名	公主嶺	四名
瓦房店	二名	長春	四名
大石橋	二名	本溪湖	二名
遼陽	四名	鷄冠山	二名
奉天	六名	安東	六名
撫順	六名	合計	五十名(總テ日本人)

十二、遼陽支部長ヨリ左ノ報告アリ (三月十一日)

(1) 管外北門外東園ベスト状況

本年二月二十三日午前五時當地管外北門外東園ニ於テ李王氏四十六年ナル者ベストニ罹リ死亡シタルニ付清國官憲ト協同ノ上患家ハ勿論其ノ附近居住者ニシテ患家ト交通ノ疑ハズル六十一戸ノ交通遮斷及消毒的清潔法ヲ施行シ爾來毎日清國官憲ト立會檢病的調査ヲ施行シツツアリシガ數名ノ不健者アリタルノミニテベストニ疑ハシキ患者ヲ發見セザリ

十五

ルヲ以テ本月五日交通遮断ヲ解放シタリ然レトモ同地ハ遼陽城北門ヲ距ル二三丁鐵道附屬地境界ヲ距ル二丁ノ地ニシテ當地駐屯歩兵第四十四聯隊營舎トノ間隔僅カニ十丁位ニ過キサルヲ以テ今尙日清兩官憲協力シテ警戒中ニ有之候ハ共病毒ノ傳播シタル模様無之最早終熄シタルモノト思料セラレ其ノ系統ハ二月二十五日付報告シタル如ク亡夫王爲ハ醫業ニ従事シタルモノニシテ同病流行地タル楊林子ニ往診シタルヨリ感染シ來リタル力原因ナラントノ評アリ其ノ他原因ニ付種々ノ風説アルモ家族ハ十六歳ヲ頭トシテ五人ノ小供等ノミナレハ事實明瞭ナラス

(2) 管外前立山屯ベスト状況

本年二月六日午後七時ヨリ北方ヨリ來リ管外前立山屯宿屋唐紹千方へ氏名不詳ノ清國人男(年齢二十位)一名投宿シ翌七日午前一時頃死亡シベストニ疑ハシキ旨鞍山店警察官吏派出所ヨリ報告ニ接シ直ニ清國官憲ニ通報シテ共ニ實地調査ヲ遂ケ試驗物トシテ鼻口ノ出血ヲ採集シ検査ノ結果ベストト決定シタルニ付清國官憲ト共同消毒且健康者ノ隔離ヲ行ヒ全村交通ノ取締ヲ有シ爾來日清協力シテ毎日全村居住民ノ健康状態ヲ嚴密視察監視中右患者ト同宿シタルモノ三名ノ内二名及宿屋家族ヨリ一名ノ患者ヲ續發スルニ至リ(内一名ハ全治ス)タリ然レトモ發生場所ハ一箇所一戸内ノ發生ニ止マリ其ノ附近へ病毒散蔓ノ模様毫モ無之ヲ以テ本月八日患者全部ノ消毒法及大清潔法施行シタル上健康者ノ

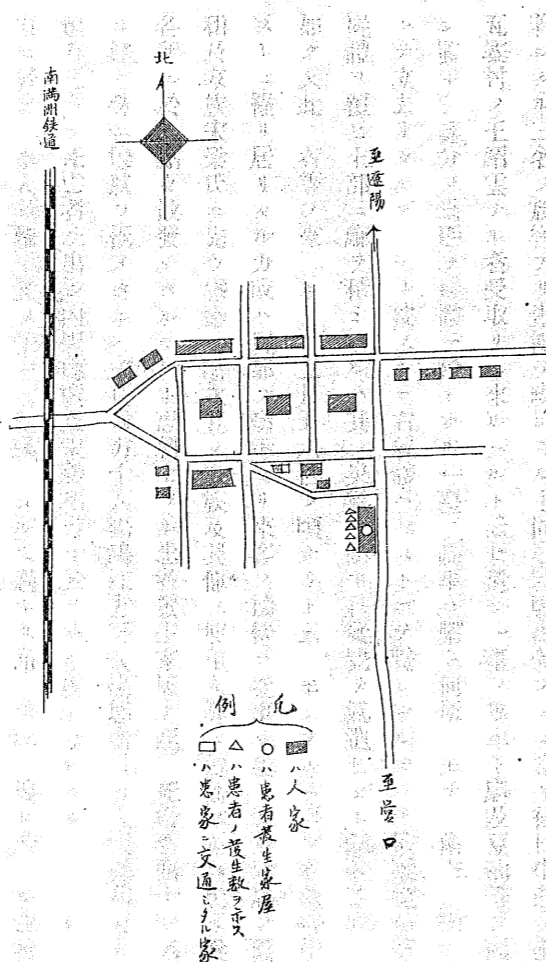
隔離ヲ解除致シ候其ノ系統ハ二月七日付報告ノ通初發患者ハ住所氏名不明ナレトモ言語ノ山東訛リナリシト其ノ風體所持品等ヨリ山東苦力ニシテ奉天方面ヨリ歸國スル途中發病スルニ至リタルモノト思料セラレ候

前立山屯ベスト患者表 (第一圖参照)

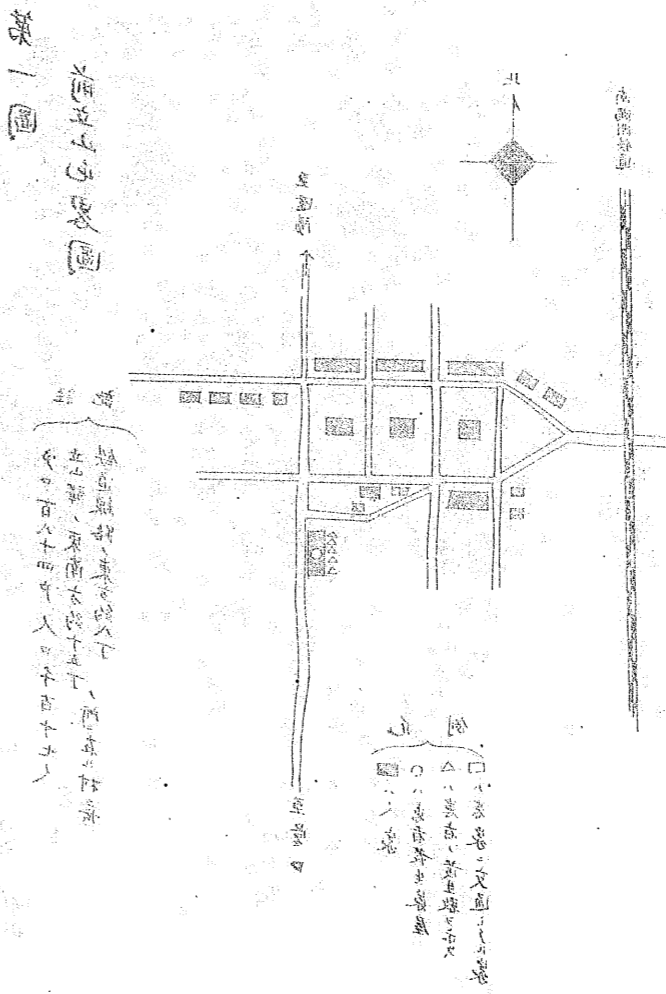
種別	發病年月日	轉歸年月日	性別氏名	年齢	有菌決定年月日	傳染系統
旅客	不	明	不明	三十年位	明治四十四年二月八日	奉天方面ニテ感染シ來リタルモノノ如ク
旅客	明治四十四年二月十日	同年同月十五日死亡	男 王洪清	二十五年	同年同月十日	前項初發患者ヨリ
旅客	同	同年同月同日死亡	男 楊延元	三十年	同	同
旅客	同	同年同月十五日死亡	女 張氏	六十三年	同年同月十五日	同
宿屋	同年同月十三日	同年同月十五日死亡	女 曹氏	三十六年	同年同月十六日	同
家族	同年同月十四日	同年三月八日全治	女 曹氏	三十六年	同年同月十六日	同

第一圖

前立山也畧圖



注 戸口百八十四戸人口千百十七人
 止驛、東南方約十五丁 所在ル村景
 鐵道線路ノ東方約八丁



海山山長圖

此圖は、海山山長村の地図である。村の中心には、商店、家、寺、墓が描かれている。また、山や川などの地形も示されている。

(3) 管外楊林子ベスト系統

本年一月末又ハ二月初旬ニ於テ北方(奉天ナラン)ヨリ一臺ニハ麻、豆油ヲ積ミ一臺ニハ屍體ヲ容レタル棺柩二個ヲ積ミ上部ニ麻及煙草葉ヲ覆ヒタル馬車ヲ牽キ初發患家ナル管外支那村落楊林子宿屋宋家店事宋長増方ニ(前報告ニ宋吉増トセシハ誤リ)午后一時頃到着シタル二名ノ旅客アリ晝飯ヲ喫シタル上同三時頃出發スルニ當リ後日牛莊ノ南方小崗瓦寨村ノ王紹雲ナル者受取りニ來ルヘルト云ヒ遺シ一臺ノ馬車ト麻及豆油等ヲ同店ニ托シ置キ二臺分ノ馬匹ヲ屍體ヲ積ミタル一臺ノ馬車ニ繋キ何所トモナク南方ニ向テ惶惶トシテ立去リタルモノアリ按スルニ右屍體ハベストニテ斃レタルモノト被疑煙草葉ヲ以テ屍體ヲ覆ヒ上部ニ麻ヲ積ミタルハ其ノ臭氣ヲ防キ且發覺ヲ氣遣ヒタル隱蔽手段ナリシカ如ク又此ノ者等ノ來リタルハ二月五六日ノ頃ナリト云フモノアルヲ以テ右旅客中既ニベストニ罹リ居リタルカ或ハ屍部ノ病毒ヨリ來客ノ接待ニ從事シ居リタル同店ノ傭人宋申和及家族宋梁氏ニ先ツ感染シ漸次其ノ家族及其他ノ使用人等ニ傳播スルニ至リ遂ニ村内各所ニ於テ點々散發シタルモノト思料セラル患者發生家屋十四戸死亡者四十一名ノ多キニ達シ殊ニ慘狀ヲ極メタルハ宋長増方十人楊鴻江方三人楊德廣方五人宋禮和方九人楊德恒方三人ノ死亡者ヲ出シ内楊德廣及宋禮和方ニ於テハ家族全滅シタルモノニシテ宋長増方ニ於テハ本人及嫁ト其ノ子三人生殘リタルニ過キス而シテ此ノ地ニ於ケル流行期間ハ

二月十三日ヨリ同月二十七日迄ノ十五日間ニシテ其ノ後三月三日ニ一名ノ死亡者アリタルノミ該病毒蔓延ノ狀況ハ別圖ノ通ニシテ内一名ハ誰ヨリ感染シタルヤ不明ノモノアレトモ其ノ他ハ何レモ看護交通又ハ屍體ノ處置ニ從事シタル關係ヲ有スル者ナレハ直接感染染者タルコト疑フ容レサルトコロナリ該村落ハ發見當初ヨリ日清合同防疫ヲ行ヒ然モ最初一氣呵成シ隠蔽者ノ發見ニ相努メ餘ストコロナキ程盡シタルノ結果本月三日ヨリハ患者ヲ見サルニ至リタリ現下ノ狀況ニテ進ムトキハ遠カラス全村ノ取締ヲ解除スルモ差支ナキニ至ルナラントノ見込

二十

楊林子ベスト患者表 (第二圖参照)

患者別	發病年月日	死亡年月日	性別氏名	年齢	有菌決定年月日	傳染系統
明治四年二月五日	明治四年二月五日	明治四年二月五日	男 宋申和	四十二年		初發
不 明	同年同月同日	同年同月同日	女 宋梁氏	十五年		初發
明治四年二月五日	同年同月十七日	同年同月十七日	男 宋聚和	二十三年		家族關係
同年同月同日	同年同月同日	同年同月同日	男 宋倫和	十四年		同
同年同月同日	同年同月同日	同年同月同日	男 曹兆江	三十年		同
同年同月二十日	同年同月二十二日	同年同月二十二日	女 宋劉氏	二十五年	明治四年二月五日	同
同年同月同日	同年同月同日	同年同月同日	女 宋朱氏	五十五年	同年同月同日	同

第 四	第 三						第 二						第 一	
同年同月十四日	同年同月十七日	同年同月二十六日	同年同月同日	同年同月二十三日	同年同月同日	同年同月同日	同年同月十五日	同年二月十五日	同年三月二日	同年同月二十三日	同年同月十六日	同年同月二十四日	同年同月二十二日	同年同月同日
同年同月十八日	同年同月十九日	同年同月二十七日	同年同月二十三日	同年同月二十四日	同年同月二十日	同年同月十九日	同年同月同日	同年同月二十日	同年同月二十二日	同年同月二十七日	同年二月十七日	同年三月三日	同年同月二十四日	同年同月十七日
男 楊德廣	男 宋鳳和	女 楊王氏	男 小 冠	男 宋長滿	男 小 了	男 小 三	女 小扣氏	女 宋王氏	女 乾 氏	男 宋禮和	男 楊鴻順	男 楊德俊	男 楊洪江	男 曹秀林
四十二年	二十一年	五十一年	十 年	六十四年	四 年	六 年	十 年	三十五年	六十四年	三十三年	五十五年	二十一年	五十二年	三十四年
係第一ノ交通シタル關係	第一ノ傭人タル關係	同	同	同	同	同	同	同	係第一ノ交通シタル關係	同	同	同	係第一ノ傭人タル關係	同

二十一

電力屯	二	一	三	十	一	二十四
亮中橋	一	一	一	一	一	五
通江口	一	二	三	三	四	一三
計	二二	二二	一六	七	一〇	五六

(3) 隔離所及收容所ノ状況

昌圖城内在留ノ本邦人側ハ未タ之カ設備ヲ爲スニ至ラサルモ有事ニ際シテハ各自發生
 家屋ヲ隔離所及病舎ニ充テ在留民ハ協力シテ之レカ防遏ニ努メ患家ノ焼却其ノ他ニ就
 テハ日本官憲ノ指揮命令ニ依リ便宜ノ方法ヲ執ルモ差支ナキ旨豫メ清國官憲ニ交渉ヲ
 終ヘタリ

清國側ニ於テハ隔離所收容所等夫々設備シツツアルモ其ノ構造不完全ニシテ唯其ノ設
 備アリト云フニ過キサルノ憾アリ

(4) 交通ニ關スル事項

雙廟子ニ在リテハ附屬地内ハ從前ノ通りナルモ今週ヨリ清國官憲ニ於テ附近部落ノ交
 通遮斷ヲ解除シタル爲特産物ノ出荷多ク一日平均二百噸餘ニ及ヘリ

昌圖城内ハ前週ト趣ヲ異ニシ荷馬車ノ通行ハ全ク遮斷ヲ解禁シタルノ姿ニアリ旅行者
 ニ對シテハ遠ク他境ヨリ來ルモノニハ一層嚴重トナレリ

(5) 消毒施行ノ状況

昌圖城内ニ於テハ各地ニ徐鐵嶺知縣ノ率フル消毒隊ヲ派シ患者既發部落ノ消毒及患者
 焼却等ヲ實行シツツアリ本月十日該消毒隊事務所ヲ開原ニ移シ同地ヲ根據トシテ各地
 ヲ消毒ヲ施行スルコトナレリ然レトモ無智ニシテ事理ヲ解セサル清國民ハ消毒ヲ厭
 ヒ下級清國執行官吏ハ力微弱ニシテ人民ノ反抗多ク能ク其ノ目的ヲ達スル能ハサルノ
 感アリ

(6) 消毒藥品輸入及消費額

當出張所ニ於テハ石炭酸十五磅昇汞一磅ヲ消費シタリ
 昌圖城内清國官憲ニ於テハ石炭酸五百磅ヲ輸入シ五百九十五磅ヲ費消シ殘額一千磅ア
 リ一日平均八十五磅ヲ消費シツツアリト云フ

(7) 貿易經濟及細民ノ状況

昨今特産物タル大豆、豆粕其ノ他雜穀類ノ出荷多ク昨年今期ニ比シニ割方増加セルモ
 ノガリ貿易上稍々活氣ヲ呈シツツアルモノノ如シ

清國細民ノ状態ハ宿屋飲食店ノ如キ營業ヲ停止シタル結果衣食ノ途ナク困窮シツツア
 リ其ノ他ノ苦力ハ貨物出入多キニ伴ヒ衣食ニハ困難スルヲ認メス (下略)

十四、長春支部長ヨリ左ノ報告アリ (三月十一日)



本月十日午後二時ヨリ佐藤防疫部長一行ハ道臺衙門外交科長ノ案内ニ由リ商埠地及西門隔離所、老虎溝火葬場ヲ巡視セリ其ノ狀況ヲ左ニ

- (1) 隔離所ハ元來甲號乙號ノ二種ニ分チ甲號ハ相當身分アルモノ即チ中流以上ノ農工商ヲ收容シ乙號ハ下流労働者ヲ收容スルモノニシテ甲號ノ設備ヨリモ粗末ナルコト甚シキモ概シテ設備稍完全ニ近シ
 - (2) 北門外乙號隔離所ハ一間四人乃至五人ヲ收容シ得ルモノニシテ間數二十七間アリ總計百名乃至百三十五名ヲ收容力ヲ有シ目下四十名ヲ收容シ居レリ(内婦女子三名アリ)
 - (3) 商埠地甲號隔離所ハ一間四乃至五人ヲ收容シ得ル間數三十六間アリ百五十名乃至百八十名ヲ收容シ得ルモノニシテ目下五十二名ヲ收容シ居レリ(内婦女子五名アリ)
 - (4) 西門甲號隔離所モ間數七十四間アリ三百餘名ヲ收容シ得ルモノニシテ現在收容者百十七名アリ(内婦女子十二名アリ)
- 以上ノ隔離所ニハ入浴室アリ、消毒室アリ、收容者携帶品預リ倉庫、炊事場其ノ他等比較的整頓シ居レリ
- (5) 老虎溝火葬場ニテハ目下四日ハ一回屍體燒却ヲ行ヒ翌ツアリ本日現場ハ百三十七個ノ屍體ヲ集積シ明十一日之ヲ燒却スル筈ナリ云フ尙屍體ヲ共ニ馬屍一個アリ之レ何レモ疫病者アリシ家屋ニ飼養中斃死セルモノナリト云フ

本日迄三日間ニ集收シタル屍體ハ長春城關及附近村落(約三十清里内外ノ村落ニシテ目下長春ヨリ村落ヘ向ケ八十名ヨリ成ル掃除隊ヲ十組ニ分チ屍體收積ニ従事スト云フ)ヨリ收集セルモノニシテ長春城關及村落ヲ合シ一日平均三十七八名ヲ收集シテ燒却シ居ルモノト思料セラレ

十五、奉天支部長ヨリ左ノ報告アリ(三月十四日)

奉天附近清國部落ニ於ケルベスト發生狀況ニ關シテハ曩昔及報告置候處今回清國承德縣防疫事務所ニ於テ調査シタルトコヨリ依レハ同管内ニ於ケル初發以來本月八日迄ノベスト患者ハ左記ノ通りニシテ總數六百十五名現患ハ不明ナルモ死亡者ノ内火葬ニ附セシモノ百八十九名アリト云フ

(1) 東路(第三圖參照)

村名	患者數	備考
小東邊門外路上	一	
珠林寺	一	小東邊門外附近ニアル村落ナリ
八家子	五	同上
山梨紅屯	一二	

七間房子 一 大東邊門附近
 土山子 二二 同上
 十王墳 二二 同上
 三家子 一 同上
 御花園 一 同上
 王灣子 二 撫順線深井子驛附近
 汪大人屯 八 同上
 四方臺 三 同警務東路分局所在地
 李二十寨 二 四方臺附近
 田千戶屯 七 同上
 長王寨 一三 四方臺ノ南方ニ在ル山間村落ナリ
 下樓子 一三 同上
 上樓子 三 同上
 富家屯 五 同上
 小甸子 一 四方臺附近
 劉通土屯 二 四方臺ヨリ撫順ニ通スル街道

(2) 西路 (第三圖参照)
 地壇村 二

村名 患者數 備考
 李官堡 二二 渾河驛ノ西方對岸ニ在リ
 得勝營子 二七 同上西南方
 候家堡 一 同上
 丁香屯 一九 瀋陽驛ノ西方新民府街道
 高力屯 一 同上
 小三家子 二七 同上
 拉馬臺 一 同上
 沙崗子 二 同街道ノ南方
 古城子 一 同上ノ北方
 高臺子 五 同上ノ南方
 老臺邊 一 同上ニシテ承德縣ノ西端
 平羅堡 二 同街道ノ北
 牛三官屯 二二 同上

(3) 北路(第三圖参照)

龍王廟	七
二臺子	三
榆樹臺	五
後榆樹	二
渾河堡	四九
亂木屯	三
耶家堡	一〇
詹堡子	五
鳥屯	一
小房身	七
下三家子	二
三臺子	四
五里臺	二

奉天ヨリ北陵ニ至ル道路ニ沿フ

備考

大小南邊門外

同上

撫安驛附近

渾河舖附近

渾家屯ノ西方渾家ノ岸ニ在リ

陳相屯附近ノ村落ナリ

(4) 北路(第三圖参照)

白塔堡	一
大宜橋	一
麥子山	七
富家屯	五
大房身	一
桑林子	一
長興甸	一
楊孟大堡	四
十里河	一
保安寺	一

備考

北陵ノ北方ニ在リ

村名患者數

趙家溝 八

三臺子 三五

小北邊門外路上 二

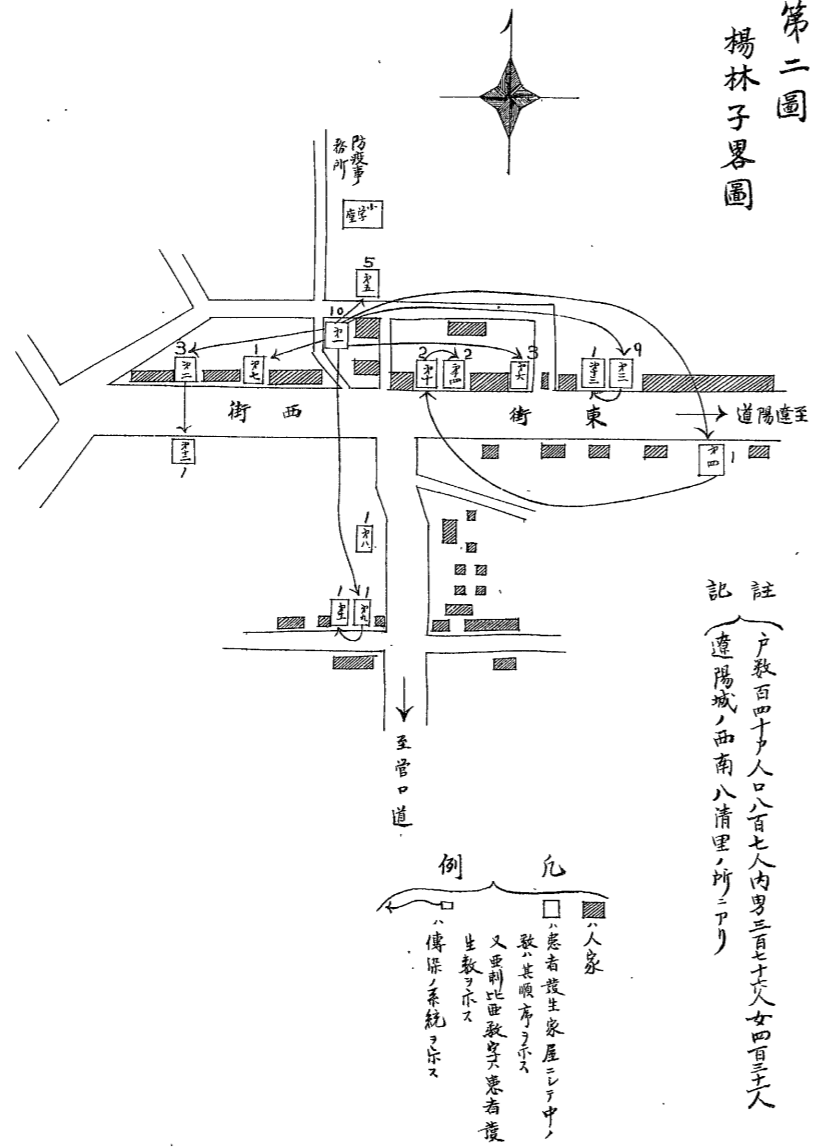
五臺子 一

(5) 明 堂	
村落ノ所在不明ノ分	患者數
王大河屯	二
吉 祥 屯	一
小 高 灣 水	一
六 所	一
大 泮 河	一
古 子	一
公 相 屯	一
龍 灣 屯	一
蘇 土 廠 子	一
雅 園 崗 子	一
王 三 坎	一
安 達 戶 堡	二
榆 實 堡	三

備考
 小村落ニシテ地圖ニ記入ナク且ツ鎮郷警務局へ問合せ
 タルモ判明セス取調中

柳 條 湖	七
候 家 崗 子	五
辛 家 溝	四
東 瓦 密	四
王 官 屯	四
田 義 屯	一
道 義 屯	一
南 臺 子	一
交 官 屯	一
懿 興 路	一〇
清 水 臺	一
新 城 堡	一
祁 家 墳	一
達 子 屯	一
大 辛 屯	二
才 落 堡	一

第二圖
楊林子畧圖



楊林子畧圖
 楊頭楊
 胖土臺
 子屯子
 溝店
 三一七一

十六、吉長鐵路沿線ニ於ケルベスト状況ニ關シ左ノ情報アリ (二月十三日調)

(1) 吉長鐵路關係疫死者

吉長線第一區線路工夫及舍内ニ同居セシモノ七名全部斃死シ煉瓦工二名苦力二名鐵路局門兵一名看護人一名ニシテ初發ヨリ二月十日ニ至ル間ニ十三名ヲ出セリト云フ其ノ他鐵路總局附近ノ斃死者ハ其ノ數少カラズ門前ノ一旅店ニハ四十餘名ノ斃死者ヲ出シ後門外竝頭道街ニ接スル家ニモ斃死者アリ後者ハ床下ノ土中ニ隠蔽シアリシヲ發見シタリト云フ

(2) 斃死者ノ特別原因

斃死者ニハ左ノ特別原因存スルニ非サルカ

イ、純然タル疫死者ノ外貧苦ニシテ平時營養不良ナルカ爲飢寒ニ際シ少シク病魔ノ冒ストコロトナレハ直ニ斃死スルアリ

ロ、又一朝病者ヲ生スレハ今日ノ場合同居人ハ恐怖ニ襲ハレ其ノベストタルト他病タルトヲ確メシテ直ニ病者ヲ戶外ニ放棄シ若ハ之ヲ捨置テ他所ニ逃走シ病者ハ一ノ看護人ナク一杯ノ水ヲモ得ル能ハスシテ非常ノ死ヲ遂クルアリ

ハ、交通遮斷ノ爲幾多ノ苦力ハ寢具ヲ負ヒ徒歩シ旅店ニ至ルモ容貌佳良ナラサレハ宿泊セシメス故ニ寢ルニ處ナク食フニ物ナシ爲之廢屋道途及煉瓦密裏等ニ死スルモノ多シ

街道ノ村落旅店ハ此ノ恐ルヘキ病疫ノ爲戸々戸ヲ鎖シテ面識ナキモノヲ入レシメス
ニ、疫病流行ノ爲解雇放逐セラレ其ノ職ヲ失ヒ飢寒ノ爲ニ斃死スルモノアリ
吾人ハ單ニ苦力等カ病毒ヲ傳播ストノ一方ノミヲ偏見セスシテ是等ノ特別原因ハ度外視
セス須スク慈仁ノ眼ヲ以テ彼等貧民苦力ノ窮狀ヲモ憐察シ一片ノ同情ハ拂ハサルヘカ
スト思料ス

(3) 本邦醫備聘難

吉長鐵路局ニハ清國人ニシテ嘗テ日本ニ留學シ醫術ヲ學ヒ來タルモノニ名アリ之ニ防疫
ニ參考トナルヘキ書類ヲ蒐集貸與シテ翻譯ノ上公布セシメタルモ疫疫方法緩漫ニシテ死
屍ヲ一日間拋棄シテ處置セス又發病家屋ヲ消毒セサル等ノコトアリ茲ニ於テ疫病治療ニ
經驗アル本邦醫ヲ備聘シ醫務ニ當ラシムヘシト勸告スルモノアルモ既ニ清國人ノ良醫數
名ヲ聘用シタリトテ顧慮セス且ツ曰ク

一、西醫ハ防疫方法ニ就テハ間然スルナキモ治療ノ方法ニ精通セス
二、西醫及清國人ニシテ西醫ヲ學ヒタルモノハ怯懦ニシテハ疫病者ニ接近スルヲ怖ル現
ニ我局ノ日本醫術習業醫ノ如キハ其ノ兄ノ死ヲモ恐レテ見舞ニ至ル能ハス
ハ、清醫ハ勇敢ニシテ能ク終始病者ニ接近シ十分ニ看護ノ務ヲ全フシ自身ニハ決シテ傳
染セスト確信シ居レリ

ニ、清醫ハ疫病者ヲ治療スルノ法ヲ知レリ而シテ其ノ方法タルヤ舌端ヲ切開シテ其ノ
目ヨリ惡血ヲ排除スルヲリ又他ノ法ハ腹部背部ヨリ長サ一寸程ヲ刺ス如キ筋ヲ抽出
ホ、清醫ノ發明セル藥品數多アリ皆其ノ効力甚大ニシテ總局附近ノ罹疫者ニ施シ其ノ効
果ノ的確ナルヲ認ムト局ノ室内ニ入レテ暖爐ノ上ニ香味ヲ如キモノヲ散布焚燒シテ最
良ノ防疫藥ト信セリ

以上ハ以テ其ノ半面ヲ推知スルニ足ルヘク醫術ニ關スル智識ニ乏シキ排外自尊ノ僻見ヲ
窺知シ得ヘシ觀テ吾人ノ方面ニ於テハ宜シク注射液ノミニ依賴セス別ニ新ニ正確ナル全
治方法ヲ發見シ我醫術ニ推服銘肝セシムルノ最急要務アルヲ見ル

(4) 防疫難

既ニ前述ニ依リ防疫難ノ一般ヲ窺フヲ得ヘシ教育アリ本邦へ遊學シ且ツ今日高位置ニテ
ル人ニシテ既ニ此ノ言ヲ爲セリ防疫難ノ素因一ニシテ足ラスト雖左ニ之ヲ舉止セント
ス

イ、醫術及衛生ニ關スル智識ノ缺乏ハ防疫並消毒ハ完全ナラシムル能ハス
ロ、排外思想モ亦防疫ヲ阻礙スルコトアリ而シテ排外ニハ私情ト政略トノ二者アリ政略
的排外ノ爲ニ防疫ニ關スル忠言ハ反テ當路者ノ疑懼惡感反抗ヲ招クコトアリ私情的排

外ニ爲ニ衛生ニ關スル厚意ハ却テ患者ノ怨府トナリ勞シテ害ヲ醸スコトアリ吉長線長
春停車場内ニ一ノ工夫官舎アリ而シテ合宿工夫七名疫病ノ爲全滅シタルヲ以テ該家屋
ヲ焼却スベシト當局者ニ勸告シタルニ之ヲ肯スル能ハス曰ク長春ニハ商埠地アリ故ニ
若シ我吉長線ニ於テ疫死者ノ住居ヲ焼却スルノ前例ヲ開カハ外人ハ取テ以テ例證ト爲
シ商埠地ノ燒拂ヲ迫ルヘシト茲ニ於テ奉天ナル京奉線英醫官舎燒拂ノ例ヲ説キタルニ
彼曰ク奉天ニ於テ即此地ニ於テハ未タ例ナシ我ヨリ例ヲ開ク能ハスト之等ハ政略的
排外ニ原由スルモノト爲スヘシ

ハ、習慣即チ(一)住所衣服及身體ノ不潔ヲ顧ミス(二)屍棺ヲ數日間屋内ニ安置シ(三)葬儀ニ數
日音樂ヲ奏シ多人數集合シ(四)棺ヲ野外ニ數日曝露シ(五)疫死者ノ火葬ヲ嫌フ等ノ風習モ
亦防疫難ノ一タルヲ免レズ
ニ、又タ(一)天災ナレハ時ヲ經ルニ從ヒ自然ニ消滅スヘシ(二)苦力病ナレハ中流以上ニハ蔓
延セズ(三)心ノ正シカラサルモノハ病ニ罹リ正シキモノハ罹病セズ(四)外人カ井水ニ投毒
セルナリトノ迷信モ亦防疫上少カラサル困難ヲ來セリ
ホ、清國病院及隔離所ノ設備不完全ニ且茲ニ送收セラレンカ再生セストノ觀念一般ニ
信セラルルニ依リ病者ハ初期ヨリ極力之ヲ隱蔽シテ手當ヲ爲サズ瀕死ニ至テ始テ發表
セシムルヲ以テ音ニ防疫ニ障害ヲ與フルノナラス治シ得ヘキ病ヲ治セシテ斃死スル

ニ至ル

ヘ、自尊ノ癖即チ自國ノ事物及施設ノ優ヲ銜ヒ外國ノモノヲ排厭セントスルノ癖ハ屢々
清國當事者ノ表現スル處ニシテ其ノ結果ハ事實ヲ隱蔽セシムルニ至ラシメ下民カ消毒
ノ爲其ノ什器ヲ汚損スルヲ厭ヒ病者ヲ隱蔽スルノ弊風ト相待テ防疫上ニ少カラサル不
利益ヲ來スコトアリ

ト、民權即チ清國ハ君主國ノ如ク見ユト雖中央政府ノ威力振ハサルカ爲其ノ實ハ民主國
ナリト云ヒ得ヘシ人民ノ聲ハ何レノ所ニ於テモ大ナル勢力ヲ有シ文明ノ利器ハ時ニ舊
慣ヲ打破スル爲一時多數人民ノ産業ヲ奪フノ理由ノ下ニ阻礙セラレルコト多シ即チ民
情ニ重キヲ置キ國亂ヲ恐ルルカ爲ナリ無數智識ナキ下民ノ聲ヲ無視スルヲ得サルハ清
國文明進歩ノ遲々タル一原因ニシテ亦此防疫難ノ一タル所以ナリ

チ、資力、防疫難ノ一大原因ハ則資力ノ缺乏ニ在リ官ニシテ資ナケレハ以テ防疫ヲ完全
ニ施行スル能ハス民ニシテ資ナケレハ以テ衛生ノ途ヲ充分ニ實行スル能ハス食ニ飢ユ
ルノ貧民ヲシテ屋房什器ヲ清潔ニシテ防疫ヲ散布セヨト命スルモ不可能事タリ唯一ノ
敝襪袍ヲ着ケ高粱粥ニモ尙飽クコトヲ得サルノ苦力ニ衣服ヲ洗濯セヨ身體ヲ浴清セヨ
ト教ユル不可能事トス衣服足テ而シテ後衛生ヲ知ルヘシ資財ナキ官人ニ病院及隔離所
ヲ完成セヨ良醫ヲ聘シ良藥ヲ購ヒ病屋ヲ焚燒シ貧民及苦力ノ措置ヲ爲セ交通ヲ遮斷シ

テ之ニ依テ以テ衣食セル商工業ナル下民ノ活路ヲ梗塞セヨト云フモ不可能事ナリ
 要スルニ防疫難ノ大原因ハ普通一般ノ事情ニ隨伴スルモノト同シテ資力ト智力トノ缺乏
 ニ在リ斃死者ノ大原因ハ不幸貧ノ一字ヲ以テ概括シ得ヘキガ故ニ防疫ヲ迅速且完全ニ清
 國人ニ施行スルハ甚々難シ一般ノ智識ヲ開發シ資ヲ得ルノ途ヲ與ベテ以テ完全ナル成効
 ヲ期スヘシ
 (以上ハ稍舊聞ニ屬シ目下ノ狀況ト多少ノ趣ヲ異ニスルモノアルモ當時ノ實情ヲ窺知シ
 得ヘシト信ス)

十七、吉林ニ於ケルベスト防疫上ニ關シ吉林領事ヨリ左ノ通報アリ
 吉林省城ニ於ケルベスト病ハ一月十二日初發以來以來漸次其勢ヲ増シ二月初旬ニ入りテ
 ハ一日二十名以上ニ達シ嚴重ナル手段ヲ執リ撲滅ヲ期ス一般市況ハ交通ヲ遮斷シ馬車ノ
 入城ヲ禁シタル爲貨物輸出入杜絶シ大打撃ヲ被ルレハ勿論物價ハ已ニ食料品ハ三割方薪
 炭等六七割方ノ騰貴ヲ示セリ依テ清國官憲ハ人心ニ動搖ヲ來スコトナカラシメントシテ
 附近村落ヨリ來ル穀類及薪炭等ニ限り松河江ノ結氷ヲ利用シ城南川向ニ一定ノ場所ヲ區
 劃シ市場ヲ作りテ輸入ヲ許シ數日前ヨリ實施ス市中ノ街路ハ浮浪ノ徒ヲ一區劃ニ集メテ
 取締リ雜踏スル部分ノ屋臺店等ヲ禁セル爲寂寞タル如キモ普通人ノ往來ハ著シク減少ヲ
 見ス在留日本人ノ最モ多ク居住スル部分ハ今尙ベスト發生ノ中心地タルヲ以テ料理店等

多數人ノ集合スル營業ハ比較的安ナル地方ニ移轉スルニアラサレハ疫勢ノ衰ヘサル限
 リ許可セサル方針ナリ其初發ヨリノ發生日別圖書左ノ如シ
 吉林ニ於ケルベスト發生日報

一月	一日	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	合計
二月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	138

本表ハ死亡者數ニシテ疑似患者及療治者ハ清國醫ノ調査曖昧ニ付掲表セス
 十八、哈爾濱地方ニ於ケルベスト狀況其ノ他ニ關シ左ノ情報アリ

(1) ベスト患者ニ關スル露國側ノ公報 (三月十四日發信)

三月六日ヨリ同月十二日迄七日間ニ於ケルベスト病新患者ハ哈爾濱市ニ清國人二十七名
 二層甸子清國人一名ニシテ初發以來東清鐵道附屬地帯ニ於ケル患者ハ總計千六百三十二
 名ニシテ内清國人千五百八十五名露國人四十四名佛國人一名日本人二名アリシト外ニ傳
 家句ニ於テ同七日間ニ於ケル新患者ハ清國人二名死亡三名ニシテ又初發以來同日迄ノ患
 者ハ清國人四千九百六十二名内死亡四千九百四十九名日本人二名死亡二名ナリ

(2) 東清鐵道廳ノ發布シタル交通遮斷規則 (二月二十日發信)

傳家甸ニ於ケル清國勞働者及無職者等ヨリペスト病ノ傳播ヲ防ク爲ニ軍隊ヲ以テ同地ト
哈爾濱市ノ交通遮斷ヲ行フ依テ東清鐵道長官ノ命ニ依リ交通遮斷ヲ施行後哈爾濱市ハ清
國人ノ通行ハ一定ノ通路ニ依リ午前六時ヨリ午後六時迄左ノ條件ニ從テ之ヲ許ス旨東清
鐵道長官ノ命令ニ依リ之ヲ一般ニ告示ス

第一條 哈爾濱市衛生委員會ヨリ發行ノ通行券ヲ有スル清國人ニ限り通行ヲ許ス但シ同
會ハ埠頭區市廳内ニ在リ電話四六九番

第二條 通行券ハ一定ノ期限中清國商人ニノミ下付ス但シ一人一枚トス

第三條 通行券ヲ有セサル清國人ノ通行ハ穀物食料品馬糧及薪材ヲ積載スル荷車ノ馬夫
ニ限り通行ヲ許ス但シ荷車一臺ニ付馬夫一名トス又ニ臺以上ノ荷車ニハ其ノ荷主同行
スルコトヲ得

第四條 穀物食料品馬糧及薪材ノ外ハ何等ノ荷物ト雖哈爾濱市區域内ニ輸送スルコトヲ
許サス

第五條 遮斷線ニ沿フタル地區ニシテ軍隊長ノ定メタル場所ニ於テハ何等ノ商業及人民
ノ集合ヲ許サス該地區ハ旗及露清兩語ニ認メタル木札ヲ以テ標識ス

第六條 通路ハ白旗ヲ以テ之ヲ示ス

第七條 歐羅巴人(露國人及外國人)及日本人ハ通行券ヲ要セス但シ一定ノ通路ヲ通過ス
ヘキコトトス

遮斷線ヲ強テ通過シ又ハ窃ニ之ヲ通過セントスルモノハ生命ニ危險ヲ招クコトアルヘ
キニ付豫メ警告ス

千九百十年十一月二十三日 露曆

東 清 鐵 道 會 社

民政部長陸軍少將 アフアナーシエフ

(3) 傳家甸ニ於ケル屍體燒却等ノ件 (二月二十日發信)

哈爾濱清國防疫局醫員長ノ通報スルトコロニ依レハ二月十二日以降火葬ヲ了シタルハ同
日屍體及棺四百五十同月十七日同二百八十(此ノ内傳家甸附近ニ於テ發見蒐集シタル棺
ヲ含ム) ニシテ之ニ其ノ以前ニ火葬シタル屍體及棺三千五百五十ヲ加算スレハ合計四千
二百八十二達シ右ノ外二月十八日迄ニ燒却シタル家屋百九十一戸同日迄ニ燒却ノ爲破壞
シタル家屋二百十四ナリ尙防疫局員ハ炕(暖房)内ニ於テ棺三個荒廢シタル家屋家根上ノ
積雪中ニ屍體四個及堆積シタル衣類中ニ屍體一個隱匿アルモノヲ發見シタルニ付今後屍
體隱匿者ハ嚴罰ニ處スヘキ旨ノ命令ヲ發シタリト云フ

(4) 露國ハスト疫研究隊ノ件 (二月二十五日發信)

露都東清鐵道本社發ノ電報トシテ同鐵道機關紙ノ記載スルトコロニ依レハ教授「サボロトスイ」博士ヲ下ニ組織セラレタルベスト疫ノ學術的研究隊ハ二月二十五日露都發急行車ニ搭シ來東ノ管ナルカ同隊ハ清國政府ノ招請ニ應ジ露國ヨリ特派シタルモノニシテ一時哈爾濱ニ滞在ノ上鐵道附屬地帯ニ於テ研究事業ニ着手スルヲ趣キテ當地東清鐵道廳側ニテハ研究隊ノ在滿中其ノ附屬地ノ内外ヲ問ハズ出來得ル丈ケ十分援助ヲ與人研究ノ目的ヲ達セシムルニ努ムヘキ管ナリト云フ

(5) 同上續報 (二月二十八日發信)

露國遣東ベスト病研究隊ハ教授デー、カト、ザボロトスイ博士指揮ヲ下ニウエト、カト、ズテフワシスキイ博士臨床講義マルチノフスキイ博士病理解剖學パドレフスキイ博士細菌學ヲ夫々主任者ノ資格ニテ擔當スル趣ニ有之候其ノ内ズテンフワシスキイ博士ハ現ニ「オデツサ」市立病院傳染病科ノ主任ニシテ最近十年間同市ノベスト病防疫事務ニ執掌シ頗ル經驗ニ富ミ臨床醫學家トシテ有名ナリパドレフスキイ博士ハ前ニ「クロンシタツド」要塞ベスト病院長ヘレス子ヲ博士ノ助手タリ現ニ莫斯科細菌學專門學校ニ奉職シ千八百九十九年牛莊地方ベスト病流行ノ際派遣セラレ其ノ防疫事務ニ干與シタリマルチノフスキイ博士ハ中央亞細亞「ベンデ」地方ヤズワ疫ノ病源發見ヲ以テ有名ナル醫家ニシテ現時莫斯科「パウエル」世病院解剖室主任タリ

(6) 哈爾濱總領事館管内ベスト患者 (三月十五日發信)

同管内ベスト病死者總數初發以來三月十二日迄六、五八一ニシテ之ヲ東清鐵道附屬地内外ニヨリテ區別スレハ附屬地中哈爾濱一、五一九其ノ他ノ附屬地一一二ニシテ附屬地外傳家甸四、九五一ナリ哈爾濱ニ於テハ三月三日ヨリ三月十二日迄ノ毎日平均死亡數遺棄屍體ヲ除ケハ哈爾濱二、二傳家甸〇、七ニシテ病勢既ニ終熄ニ近ツキツツアルモノノ如シ北滿洲内部各地ノ狀況ニ就テハ從來統計ノ徵スヘキモノナカリシカ今回清國防疫局ノ通知ニ依レハ双城堡ハ初發以來三月七日迄二四、五一一河什河三月五日迄一、七九五賓州三月七日迄一、二〇二榆樹三月五日迄五八六ノベスト死亡者ヲ出セリ其ノ他ノ各市邑ニ關シテハ精確ナル計數ヲ知ルニ由ナキモ各地ヨリノ情報ヲ綜合スルニ病勢ハ一般ニ衰退ノ模様ナリ

十九、齊々哈爾濱地方ニ於ケルベスト病勢及防疫狀況ニ關シ左ノ情報アリ (三月三日發信)
齊々哈爾濱ニ於ケル二月中ノベスト患者總數ハ男女共五百八十一名ニシテ内死亡者ハ四百九十八名皆清國人ナリ當管内ニ於テハ昨今呼蘭綏化ノ兩府地方ニ於テ最モ猖獗ヲ極メ居リ當地ノ如キ毎日ノ患者數平均二十名内外ニ達シ居候之ニ對シ清國官憲ニ於テハ曩ニ本邦ヨリ傭聘セシ稻垣村松ノ兩醫師ト共ニ盡心防疫ニ努メ其ノ防疫機關トシテ防疫會ニ衛生、消毒、防疫、掩埋ノ諸隊ヲ組織シ隔離所トシテ消毒、疑似、衛生ノ三病院ヲ設置シ當市

東門内ニ檢疫所ヲ設ケ尙支那醫師十名ヲ各所ニ配置シ民政使指揮ノ許ニ知府ヲ始メ没員數十名ハ專心防疫事務ニ執掌シ居レルモ備聘醫ノ意見ニテハ當局者ニ於テ普通衛生ノ智識ナキト人民ノ一般ニ病ヲ見ルハ容易ナラサルヘント云フ

二十、山東省内ベスト防疫ニ關シ左ノ情報アリ (二月二十三日發信)

(1) 山東巡撫ノ防疫告示

凱切ニ曉諭ヲ爲ス目下瘟疫流行シ之ヲ患フルモノハ寒熱頭暈ヲ感シ神色昏迷シテ人事ヲ辨セス咳嗽吐血ノ後一時間ニシテ或ハ數時間ニシテ斃死シ危險之ヨリ甚シキハナシ抑モ該病ハ鼠疫又ハ肺瘟ト名ケ去冬關外哈爾濱地方ニ發生セシ以來吉林奉天地方ニ蔓延シ既ニ斃レタルモノ三四千人山東各地ヨリ數万人ノ勞動者滿洲ニ至リ年來歸省セル時ニ於テ此ノ病魔ニ傳染シ來リ現ニ烟台、德州、章邱、淄川、濰縣、長清、膠州、即墨等ノ如キハ皆此ノ病毒ヲ傳染シ甚シキハ一家數人相繼テ斃レ淄川縣王村地方ノ如キハ一家十三人ノ死者ヲ出シ實ニ慘トシテ聞クニ忍ヒス天災時疫誠ニ恐懼ニ勝ヘタリ本部院日夜焦慮百計補救ノ道ヲ講シ省城ニハ公所ヲ設立シ醫ヲ聘シ藥ヲ配シ員ヲ派シテ查驗シ又天津濟南間濟南泰安間青島濟南間ノ各汽車ヲ停止シ行人ノ往來ヲ阻截シ齊河鶴山等ニハ檢疫所養病所ヲ設ケ濰縣黃縣龍口ニハ均シク員ヲ派シテ妥辦セシメ其ノ他通行路ニ當ル各州縣ニハ防疫ヲ實行シテ餘力ヲ遺サス惟フニ時漸ク春陽ヲ告ケ疫癘ノ更ニ傳播シ易カラントヲ恐ル

是ニ於テ左ニ疫病發生前後ノ防疫方法ヲ開列シテ各所ノ人民一體ニ知悉セシム自治員董事各村長タルモノ宜シク之ヲ抄寫シテ務メテ戸々ニ諭ス可シ性命ノ關スル所重且大ナリ互ニ相警戒シテ遺憾ナキヲ期シ尋常ノ告示ト同一視スル勿レ

防疫方法

- 一、城鎮村莊ノ紳士等ハ先ツ人家ヲ離レタル寺又ハ廣キ家ヲ擇ヒ清潔ニ打掃シ藥ヲ以テ薰蒸シ置キ若シ患病ノ家アラハ即チ公同ニ勤メテ此ノ家ニ移ラシム可シ
- 一、各紳士富商ハ速ニ自ラ醫藥棺材等ヲ準備シ以テ災害ヲ救ヒ仁德ヲ施スヘシ
- 一、街道通路ハ掃除夫ヲ雇ヒ清潔ナラシメ汚物ハ人家ヲ隔リタル場所ニ移ス可シ
- 一、各家屋内ハ能ク掃除ヲ行ヒ破鞋、布、綿花等ハ皆之ヲ燒キ棄テ屋内鼠穴アラハ之ヲ嚴密ニ填塞ス可シ
- 一、井戸、鍋竈等ハ寄麗ニ洗淨シ冷水ヲ飲ム可カラヌ又衣服ハ宜シク温暖ナルモノヲ擇フ可ク殊ニ春氣發生ノ時ニ於テ注意スヘシ
- 一、各人ハ可成外出ヲ見合セ城鎮等繁華ナル場所ニ赴クハ勿論親戚訪問寺詣リ等ノ爲往復スルコトヲ避クヘシ
- 一、關東州ヨリ歸リ來ルモノニ對シテハ近隣ノ者之ト交通スヘカラス
- 一、患者發生ノ場合ニ於テ附近ニ外國又ハ清國病院又ハ防疫醫院ノアルトキハ之ニ送リ

之ナキ時ハ藥水ヲ鼻孔ニ吹キ込ミテ嚏ヲ爲サシメ或ハ針ヲ刺シテ惡血ヲ出シ熱毒ヲ減少セシメ又肺ヲ清ムルノ藥水ヲ連服セシムヘシ

一、病人ニ服侍スルノ人ハ須ラク棉花ヲ燒酎ニ沾シタルモノヲ以テ鼻孔ヲ塞キ或ハ酒ヲ飲ミテ疫氣ヲ避クヘシ病人ノ用ユル食物衣服ニハ近ク可ラス談話ハ遠ク離レテ爲シ屋内ハ各種ノ藥料ヲ以テ薰蒸ス可シ

一、病人死シタルトキハ先ツ棺内ニ多量ノ石灰ヲ入レ蓋ハ厚キ漆ヲ以テ閉チ之ヲ人家離レタル場所ニ送り七八尺ヲ掘リテ埋ムヘシ病人ノ用ヒシ衣服枕敷布等ハ一切之ヲ燒却シ其ノ器具血等モ亦一切之ヲ拋棄ス可シ

一、患者ノ住居セル家屋ハ即時燒棄スルヲ最ト爲スモ然ラサレハ之ヲ釘付ケテ爲シテ出入ヲ禁シ屋内ハ石灰水ヲ以テ能ク洗ヒ各種ノ藥料ヲ以テ薰蒸スヘシ

一、患者アル家ニテ患者ヲ他ニ移ササル場合ハ其ノ同居者ヲ人家離レタル所ニ移シ近隣ノモノハ相戒メテ往來セサル様ニシ親戚モ亦寄ラス之ヲ視ル事寧ク毒蛇猛虎ノ如クテ可シ此ノ疫病ハ傳染甚タ速カナルヲ以テ各自衛ノ方法ヲ怠ル可カラズ

一、屋内ハ硫黃ヲ以テ薰蒸シ各種ノ菌虫ヲ殺シ蓆衣服ハ天日ニ曝ラシ地上ニ樟腦ヲ播キ以テ濕氣ヲ防クヘシ

附

山東巡撫ハ軍機處ニ左ノ電報ヲ發シ代奏ヲ請ヘリ

東省ノ疫事ハ前キニ防禦ヲ怠ラサリシカ思ハサリキ黃河、烟臺兩所ニ於テ頃日蔓延漸ク劇シク查スルニ既ニ傳染セル州縣十餘箇所ニ及ヒ各所死亡數百人或ハ數十人等同シカラスト雖關外歸來ノ苦力等ヨリ傳染蔓延シ遂ニ省城ニ至リタルモノニシテ防禦困難ヲ感シ獨逸領事ノ如キハ噴トシテ防禦ノ緩漫ヲ告グト雖現ニ上海、青島ニ打電シテ醫師ヲ招聘シ藥品等ヲ購買シ防禦最モ力ム而モ先キニ許可ヲ得シ防疫費二萬兩ハ甚タ不足ナリ依テ請フ獨逸皇太子接待費ニ充テタル内ヨリ更ニ五萬兩ヲ防疫費中ニ加ヘン事ヲ

2 清國側ベスト防疫方法

- 一、豫防上ノ管轄
 - イ、港灣ハ海關ニ於テ管轄ス
 - ロ、市内ハ巡督總司ニ於テ管轄ス
 - 市内ヲ更ニ六區ニ區分シ各區ニ一分局ヲ置キ(行政警察)各其ヘ區内ヲ管轄ス
 - ハ、市外ハ巡防營ニ於テ管轄ス
- 一、港灣防疫
 - 海關ニ於テハ有毒地ヨリ入港ノ船舶ニ對シ檢疫ヲ行フ爲常置外國醫ノ外ニドクトルビル氏ヲ臨時ニ雇聘シタリ



入港船中ベスト患者ヲ發生シタルトキハ患者ハ西沙旺檢疫所(避病院)ニ送り其ノ船舶ヲ停留セシムルハ勿論患者ヲ發生セスト雖清國人苦力等ヲ搭載シ來レルモノニ對シテハ七日間停船ス人ハ船舶ニ有病者ナキ場合ニ限り上陸ヲ許可セラル、モノトス

一、市内防疫

巡警總局ノ管下ニ防疫ノ爲衛生隊ナルモノヲ設置シ其ノ隊員七十名之ヲ西沙旺檢疫所其ノ他樞要ノ箇所ニ配分シ檢病調査及運搬ニ從事セシム又別ニ一、二、三、四、五區巡警分局ヨリ各六人六區分局ヨリ十人都合四十人ノ檢病調査員ヲ出シ日々各戸ノ調査ヲ爲サシメ衛生隊ト連絡行動ヲ執ル外三二名ノ清國醫ニ各二名ノ巡捕ヲ附屬セシメ一名ハ一、二、六區ヲ他ノ一名ハ二、四、五區ヲ擔當シ衛生隊又ハ各區警察調査隊ノ報告ニヨリ患者ヲ診斷ス

一、巡防營ノ防疫

檢病調査ハ唯兵ヲ使用スルノミニシテ市内防疫ニ掲ケシモノト異ナルコトナシ當地ノ出入口ハ哨兵ヲ置キ檢病上病者ノ交通遮斷ヲ行フ其ノ箇所左ノ如シ

東山口(東) 世四堯(西東) 滿發口(東南) 西山口(西)

右哨兵所ニ於ケル告示文ヲ示セハ左ノ如シ

飭 派 辦 兵

嚴 防 時 疫

如 有 病 者

禁 止 出 入

附記 防疫ノ爲陸軍部ノ命ニ依リ濰縣ノ兵三百名十八日當地ニ到達スル筈ナリト云フ

又最初一時猖獗ヲ極メタル各部ハ近來絶無ノ姿ナリト云フ

一、避病院

市ノ西端西沙旺ニ西沙旺檢疫所一箇所アリテベスト患者ヲ收容スル所トス家屋ハ西南ニ面シ北方海岸ヲ後ニシ土地高燥ヲ缺クモ砂地ニ建築セララルヲ以テ別段濕潤ヲ見ス廳舎ハ宏大ニシテ數棟ニ區分シ門前ニ更衣場ノ設備アリ構内及病舎等別ニ不潔物ヲ止メス

患者ハ其ノ輕重ニ依リテ區分收容ス收容力ハ約二百名男女各別房ニ收容シ得ルモ一室ニ約十名ヲ收容シ寢具ハ貸與シ各枕邊ニハ木製ノ箱(堅一尺横五寸深四寸位)一個宛ヲ置キ之ニ粉石灰ヲ容レ放痰ヲ爲サシムル患者ノ多數ハ苦力體ノモノニシテ現患者十七名アリ又醫師一名(外國人)看護婦二名(佛人)看護人數名(清人)衛生隊二十餘名ヲ附屬ス現在ノ狀況ハ今後何程發生スルモ收容力充分ナリト認メラル

人ノ如キハ唯消毒衣及手袋呼吸器ヲ着裝スルノミニ止リ更ニ之ニ對シ時ヲ移サス消毒ヲ行フノ形跡ヲ認メサルヲ以テ到底感染ヲ免レサルヘシ(因ニ前ノ看護婦二名ノ感染死亡シタルモ亦此等ノ缺點ニ因ルナラシカ)

一、第六區工務局療養所(自衛上建設シタルモノ)

東馬路街露國領事館ニ隣リ一般人家ト隔離シ以前中川製糸場ノアリシ所トス茲ニハ病室一棟ヲ九個ニ區分シ各「アンベラ」ヲ以テ區畫ヲ立テ寢所トセリ内部ハ清掃シ消毒藥ヲ撒布シ又入口ニハ醫局、事務所等ヲ設ケ消毒藥、豫防疫、消毒器等多少ノ準備アリト雖入院患者ニシテベストト診定ノ上ハ西沙旺檢疫所ニ移送スルト聞ク常ニ清醫一名ヲ置クト云フ

一、患者運搬ノ模様

衛生隊カ患者ヲ運搬スルノ模様ヲ見ルニ二枚ノ板ヲ横木ニ釘付シタルヲ擔荷トシ二人ニテ運搬シ患者ニハ何等ノ被覆ヲ爲サス又痰壺等ノ設ナキヲ以テ到ル所途中ニ於テ咳痰ヲ爲スヘキニヨリ病毒ヲ撒布スルノ危険尤モ甚シク是等ニ對シ運搬中ニ使用スル痰壺ヲ備付ケシムルノ必要アリ又患者ニ直接シタル衛生隊員及擔荷ノ消毒亦等閑ニシテ危険ノ及フトコロ大ナルモノアリト認ム

二、患者ノ消毒及健康者ノ隔離

患者發生ノ際ハ患者ハ檢疫所ニ收容スルト共ニ同居ノ健康者ヲ最寄ノ箇所ニ移轉セシメ患者ハ消毒後釘付ケトシ右ノ告示ヲ其ノ患者ニ貼付ス但シ釘付ノ解除ハ當地方ノ病勢全滅ノ後ニ於テ行フ方針ナリト云フ

巡警總局示

- 此 房 染 過 疫 症
- 當 經 立 時 封 釘
- 行 人 務 各 遠 避
- 傳 染 有 關 性 命

以上ノ如クニ有之病毒ハ單ニ患者ニノミ存在スルモノニシテ人體ニ潛伏スルカ又ハ衣類等ニ附着シ以テ他ニ傳播スル以上ハ之等ノ輩ニ對シテハ注意シ他ニ移轉セシムルハ尤モ危険ニ付隔離所ヲ設置セシメ豫防スルノ必要アリ

一、患者ノ屍體處置

患者ノ屍體ハ市ノ南方毓璜山ニ穴ヲ五、六尺ヲ堀リ埋葬スト云フ實見者ノ談ニ依レハ屍體ハ納棺ノ儘約百二十位山上ニ配列シ僅ニ二十人位ノ人夫ニ依テ穴ヲ堀リツ、アル

モ埋葬終ラサル内漸次死者ノ數増加スル爲到底埋葬意ノ如クナラス隨テ穴ノ如キモ充
分ニ鑿堀セス僅ニ土ヲ以テ棺ヲ蔽フノミニ止マリ降雨ニ遭フカ又ハ長時日ヲ經過セハ
自然棺ヲ露出スルニ至ルヘシ又棺蓋ノ釘付方粗漏ナル爲容易ニ蓋ヲ除去スルヲ得ヘシ
隨テ死者ノ衣類等ヲ脱取スルモノナキヲ保セストノコトナリ又新ナル墓標ヲ建テ既ニ
埋葬シアルモノ約一千モフラン(之ハベスト死者ノミニアラサルヘシ)屍體埋葬ニ就テ
ハ更ニ監督者ヲ全ク人夫ニ放任シ居ルノ有様ニテ當局ノ無責任モ甚シキモノアリ之
等ハ大ニ警告ノ必要アリト認ム

一、貧民收容所ノ狀況

イ、廣仁堂ハ嘗テベスト患者ヲ續發シタルヲ以テ今ハ西海岸元製煙所恒利公司跡ニ移
轉シ貧民ヲ收容シテ之ヲ救助シ居レリ彼等貧民ノ起寢スヘキ部屋ハ海草ノ乾燥シタ
ルモノヲ布キ詰メ厩ヨリモ尙不潔ニ見受けラレタリ
ロ、庇寒所ハ第一區内ニアリテ矢張海草ヲ部屋全部ニ敷キ全體ノ不潔ハ廣仁堂ヨリモ
一層甚シキモノアリ以上ノ二箇所ニ收容セラルル貧民ハ晝間ハ勝手ニ市内ヲ徘徊シ
食ヲ乞フモノアリ又少シ斗リ勞動ニ從事スルモノアリテ收容所内ニ惡疫發生スルモ
別ニ交通遮斷ヲ行ハス唯患者發生ノ部屋ノミヲ遮斷スルニ止マルカ故ニ此ノ輩コソ
病毒傳播ノ危險分子ナルニヨリベスト流行中ハ宜シク外出ヲ禁止セシムルヲ豫防ノ

一、策ト認ム

一、岡野藥店前ニ於ケル死者處置

巡警總局ヲ訪問シタル際過日岡野藥店前ニ於ケル死者ノ取片付ケ甚タ緩慢ニシテ非常
ニ邦人ノ迷惑ヲ來シタルニヨリ以後カ、ル事ナキ様警告シタリ

一、苦力輸送

巡警局長ノ談ニ依レハベスト終熄ヲ見ル迄ハ苦力ヲ大連方面ニ輸送スルヲ見合ハスヘ
シト云フ

一、道臺ノ告示

疫氣流行隔絶交通停車停載奉直皆同烟爲防疫已停各工告商行旅養病里中
即使來此無工可備特飭兵隊分佈西東善言勸邑有病回空嚴禁動索體恤貧窮
自此示後其各遵從疫退病除照常懂懂

以上ノ如ク形式上ノ豫防法相立テ居ルカ如キモ隔離及消毒方法不完全ナルニヨリ自然ノ
撲滅時季ニ達セサル限リハ到底終熄ヲ見ルニ至ラサルヘク殊ニ消毒其ノ當ヲ得サルハ病
毒全市ニ蔓延シ次回ニハ到ル所ヨリ患者ヲ發生シ恰モ地雷火ヲ點火シタルカ如キ現象ヲ
呈シ悲惨ナル状態ヲ見ルニ至ルヘシト思料ス加之逐日氣候温和ニ趣クニ件ハレ蒼蠅ノ發
生時季モ亦近キツアルヲ以テ其ノ以前ニ撲滅ヲ計サレハ蒼蠅ノ媒介ニ依リ病毒ヲ傳播

セラルルノ虞アリ然ルニ當地現下ノ状態ニテハ到底患者ノ焼却屍體ノ火葬若ハ交通遮斷其ノ他戒嚴令ヲ布キ絶對的防遏ノ手段ニ出ツルカ如キハ當分望ムヘカラサルトコロナルヘキモ斯ク迄保制ノ手段ニ依ラス且ツ現在ノ組織ヲ變更スルコトナク現衛生隊ニヨリテ幾分防遏ノ餘地アルヘキヲ信ス然レトモ衛生隊ノ有様ハ頗ル幼稚ナルノミナラス上司タルモノ監督ノ途ヲ知ラス衛生員亦敢テ消毒ヲ無視スルノ意ニアラサルヘキモ其ノ方法ヲ熟知セサルヨリ諸事徒勞ニ屬シ更ニ其効ヲ奏セス如斯ハ獨リ清國ノミナラス在留外人ノ均シク利害ニ相關スル所ナルヲ以テ此際相當ノ知識アルモノヲ教師トシ消毒方法ヲ練習セシメ清國官憲ニ於ケル現下ノ状態ニ鑑ミ比較的容易ニ施行シ得ヘキ藥物消毒ヲ完全ニ執行スルノ方針ヲ採ラシメハ實際其ノ局ニ當ルモノノ危険ヲモ除キ又一般ニ對シテモ以前ニ異リタル効果ヲ收メ得ヘント思料セラルルニヨリ官憲ニ警告ノ必要アリト愚考ス

因ニ本邦醫師全田義一郎ハ第六區ニ於ケル清國側防疫監督ノ爲雇聘セラレタリ

二十一、上海ニ於ケル船舶檢疫方法ニ關シ左ノ通報アリ (三月三日發信)

本日ノ防疫會議ニ於テ現在ノ狀況大連ハベスト流行地ニ非ラスト認メ同港ヨリ入港スル船舶ニシテ乘客ヲ搭載セサルカ又ハ同地官憲監視ノ下ニ五日間抑留セラレ健康ニ異狀ナキ官憲ノ證明書ヲ有スル乘客(一、二、三等ヲ問ハス)ノミヲ搭載スルモノハ停船ヲ命ゼラレサルコトニ決セリ但シ「フヒーミゲーション」貨物揚卸鼠族出入防禦ニ關スル規定ハ

從來ノ如ク施行セラルルモノトス右ハ天津秦皇島ヨリノ船舶ニモ亦適用セラル本件ハ直ニ實施セラルルコトナレリ

二十三、朝鮮總督府警務總長ヨリ左ノ通報アリ

(1) ベスト防疫ノ件 (三月七日發信ノ要旨)

- 一、本日午後一時ヨリ總督府會議室ニ防疫評議委員會ヲ開キ各委員列席山根委員ハ過日安東縣ニ出張本部領事ヲ經テ清國官憲ニ協同防疫ノ希望ヲ致シタル顛末ヲ報告ス其ノ事項左ノ如シ
- 一 鴨綠江出入船舶取締ハ當分ノ内朝鮮海關ニテ共同ニテ之ヲ爲スコト
- 二 流行地ヨリ來ル船舶ハ多獅島又ハ大東溝ニテ檢疫ヲ受クルコト
- 三 檢疫ハ出發ノ日ヨリ停船七日間トシ其ノ後消毒ヲ行フコト
- 四 前項ノ手續ヲ了リタル船舶ニハ合同檢疫官憲ヨリ證書ヲ交付スルコト
- 五 龍岩浦ニテ右證書ヲ検査ス
- 六 大東溝檢疫ハ同地稅關長監督シ朝鮮側ハ新義州稅關長監督ス
- 七 各稅關長ノ下ニ他方ヨリ關員及醫員ヲ派シ監督ヲ幫助ス
- 八 河ノ取締ハ兩國人ノ乗船セル檢疫船ニテ之ヲ行ヒ或ハ兩國人各別ニ乗込メル兩國檢疫船ヲ以テ河流ノ全區域ニ巨リ監視ヲ爲スコト

九消毒及病者取扱ニ必要ナル施設ハ清國側ノ希望ニ依リ朝鮮側ニ於テ之ヲ爲スコトヲ
得人員亦同様費用ハ後ニ相談ノ上負擔ス
一 十發病者アル船舶ハ中流ニ繫留セシム
二 輸入禁止物品ノ取締ハ双方共通ノ禁制品ニ就キ之ヲ行フ
三 本協定ハベスト流行期間ニ限り之ヲ行フ

尙右ニ關シ昨夜本部領事ヨリ清國側ノ意向ナリトテ左ノ電報アリシコトヲ報告セリ

共同防疫ノ件ハ昨日奉天總督ヨリ外務部ニ報告シタル旨總督ヨリ電報ニ接シ稅關長ニ於
テ同意セハ實行上差支ナシト申越セリ稅關長ハ未タ北京ヨリ電訓ニ接セス但訓令餘リニ
遲延スル場合ニハ或ル條件ノ許ニ同意スヘント申越セリ云々

依テ實行上ニ關シ左ノ協議ヲ爲シタリ

- 一 龍岩浦ニ共同防疫部ヲ置クコト
 - 二 共同防疫部ノ編成ハ藤田委員起按ス
 - 三 委員部執務細則ヲ設クルコト
 - 四 共同檢疫實施ニ付テハ警務總監部、度支部ヨリ警備船各一隻ヲ出シ尙母艦一隻ヲ置ク
 - 五 輸入禁制品ハ清國側ト協商シテ取扱ヲ爲ス朝鮮側トシテハ從來ノ方針ニ從フコト
- (2) 鴨綠江上流各通路ニ於ケル防疫方法ノ件 (三月八日發信中ノ要旨)

鴨綠江上流各通路ニ於ケル新防疫方針ニ基キ措置ヲ爲サシムル爲左ノ通り取扱方義州、

楚山中江鎮憲兵分隊長へ三月五日付命令シタル旨平安北道警務部長ヨリ報告アリ

- 一 清國ヨリ渡來スル日本人(朝鮮人ヲ含ム)及歐人ハ病毒地ヲ通過シタル者及不明ノ者ハ
七日以内隔離ヲ行フ若シ病毒地ニ接近セザルコトヲ確認シタル場合ニ限り其ノ健康狀
態ノ異狀ナキモノハ收容所ニ隔離スルコトヲ入國ヲ許スヘシ但シ清國人ト雖官吏及
之ニ準スヘキ上流者ハ本項ニ準シ取扱フヘシ
- 二 輸入禁止ハ總督府令第四號及警務總監部令第四號ノ明文ニ擧ケタルモノノミ之ヲ實施
ス
- 三 ベスト病毒地ヨリ發送若ハ經由シ又ハ鼠族侵入ノ形跡アル包裝貨物ハ充分ノ消毒ヲ施
スヘシ

四 朝鮮側ヨリ清國對岸ニ公開ノ通路ヨリ一日内ニ往復スル者ニ對シテハ憲兵ニ於テ證明
書ヲ與ヘタル上其ノ交通ヲ許シ收容スルニ及ハス本證明書ハ歸來ノ際之ヲ返納セシメ
且ツ證明書ヲ交付セシ人員ハ各通路ニ區分シ毎日電報スヘシ
尙從前ノ通路中其ノ後ノ狀況ニ依リ道長官ト協議ノ上朔州郡九寧浦ノ道路ヲ閉鎖シ昌城
郡甲岩里ニ改メ又新ニ義州府清城鎮ニ道路ヲ開キタル旨本日同部長ヨリ電報アリ

(3) 豆滿江對岸ニ於ケル露國側ノベスト防疫狀況 (三月八日發信中ノ要旨)

露國カベスト防疫ノ爲朝鮮トノ交通ヲモ絶タントスルハ異ムヘシト雖豆滿江對岸ニ於テ實行セル一班ヲ知ル爲メ左ニ鏡城憲兵隊長ノ報告ヲ掲ク

二月二十七日白山城憲兵隊長報告

對岸露國ニテハベスト豫防警戒ノ爲數日前ヨリ對岸ニ警察官吏ヲ増加シ絶對ニ鮮内地ト往復ヲ禁止セントシ而シテ其ノ禁止方法ハ頗ル嚴酷ナル模様ニシテ現ニ左ノ如キ事實アリタル旨慶興分隊士里分遣所長ヨリ報告アリ

(一) 三月十九日造山分遣所管内慶興郡龍峴ノ江岸ニテ朝鮮人一名露國官吏ノ爲銃創ヲ負ヒタル旨造山分遣所長ハ聞知シ直ニ事實ヲ探查シタルニ二月十九日咸鏡北道茂山居住鮮人七名ノ男子ハ露國煙秋(ヤンチカ)附近ニ至リタルニ旅券ヲ所持セサルノ故ヲ以テ退去ヲ命セラレ十九日午後七時露領臥峰ヨリ江ヲ渡リ我カ岸ニ六名達シタル時一名ハ江ノ中央ヨリ再ヒ露領ニ引返シタルヲ露國官吏之ヲ射撃シタルハ足部ニ貫通銃創ヲ負ヒタル模様ニシテ負傷者ハ當夜臥峰ニ一泊シ翌二十日煙秋ニ護送セラレタリト

(二) 他ノ六名ハ當夜南甑山ニ一泊シ翌二十日茂山ニ向ケ出發セシ趣ナリ

(4) 咸鏡北道地方ノ經濟狀態 (三月十日發信中ノ要旨)

咸鏡北道警務部長ヨリ左ノ電報アリ
防疫方針變更後經濟上ニ及ホシタル事項トシテハ唯一時檢閲檢疫所ニテ對岸ヨリノ穀類

輸入ヲ禁止シタル爲當部内各地ニ於テ大豆ノ價格約二割騰貴シタルモ輸入解禁セラレシ間モナク舊態ニ復シタリ其ノ他一般ノ經濟上ニハ何等ノ影響ヲ及ホシタルコトヲ認メス

(5) 鴨綠江豆滿江沿岸通行取締方ノ件 (三月十日發信中ノ要旨)

鴨綠江豆滿江沿岸ヲ上下スル旅人ニシテ場所ニ依リテハ双方對岸ヲ迂回セサルヘカラサル必要アリ研究ノ結果朝鮮内地ニ入ルニアラスシテ實際一時通過スル者ニ對シテハ其ノ者カ病毒地ヲ經由セス尙病毒汚染ノ疑ナキトキニ限り當分便宜ノ取計ニ依リ通行ヲ許スモ差支ナキ旨日本平北、咸北兩警務部長ニ電報セリ

二十四、浦鹽斯德ニ於ケルベスト豫防方法ニ關シ左ノ情報アリ (二月二十日發信)

(一) 沿海州豆滿江口ヨリ興凱附近ノ「ドウウオリヤレカ」村迄及「イリイレスカヤ」村ヨリ稍北方烏蘇里河岸「クニヤ」セフスキ「哨所迄ノ國境ハ陸軍哨兵ヲ以テ閉塞ス

(二) 國境通過ノタメ「ボルタフカ」村鐵道國境停車場、彈春、「ハレシ」(罕岐)及「イマレ」ノ各地ニ檢疫所ヲ設ク

(三) 「ドウウオリロレカ」村ヨリ以北黑龍洲境界ニ至ル迄ハ哥薩克屯田兵ヲ以テ國境ヲ閉塞シ

(四) 黑龍洲「ブラゴウエシチエンクス」市ノ東西各五十露里ノ國境ハ陸軍哨兵ヲ以テ閉塞シ「ボンペー」エフカ村ニ哥薩克聯隊ヨリ哨兵ヲ派遣ス

- (五) 黑龍江ニ沿フ國境ハ一帶ニ之ヲ閉塞シ人口稍稠密ナル村落ノミ哥薩克兵及住民ヲ以テ監視ス
- (六) 黑龍洲ノ閉塞セシ國境ニ於テハ「ゴウウエシチエンスク」ニ通行ノ爲メ檢疫所ヲ設ケ尙今後「ブツデ」及「シハイロ、セメヨ」ノフカヤ」ノ兩村ニモ之ヲ増設スルヲ豫定ナリトス
- (七) 前記ノ各檢疫所ニ於テハ醫療具及隔離所並ニ消毒所ヲ設ケ沿海洲「イマン」其他ノ各地ニ於テハ「ベスト」患者ノ病院ヲモ設置ス
- (八) 管内陸軍各部隊ニ隔離所消毒所ヲ設ケ衛生隊ヲ組織ス
- (九) 「ニコリスフ」「ニコラエフスク」及浦鹽斯德ニハ軍隊ヲ爲メ「ベスト」患者ノ病院ヲ特設シ「バ、ロフスク」及「ブラゴウエシチエンスク」兩市ニ於テハ右病院費トシテ陸軍ヨリ經費ヲ支出シ市役所ノ建物ヲ使用ス
- (十) 沿黑龍總督管内ニ鐵道陸路若クハ海路ニ依リ「ベスト」流行地ト認メタル地方ヨリ黃色勞働者ノ入國ヲ禁シ河川解氷ノトキハ亦河川ヨリ入國ヲ禁ス而シテ勞働者以外ノ者ハ特ニ通路ニ當ル檢疫所ニ於テ五日間隔離ノ上同所ヲ經テ入國ヲ許可ス
- (十一) 內務大臣ハ在清國露國公使ニ對シ烏蘇里河及松花江ヨリ「ベスト」患者ノ死體拾揚及投棄禁止ニ付清國官憲ヲシテ之ニ當ラシメント交渉セリ

- (十二) 「ベスト」患者發見スルニ於テハ直ニ旅客列車内ニ衛生車ヲ設ケ「ニコリスク」「スパスコエ」「イマン」及「ハバロフスク」ノ各鐵道停車場ニ衛生執行委員ヲ設ケ醫療及消毒所ヲ置キ之ヲ統轄スルタメ特ニ委員長ヲ置キ尙烏蘇里鐵道沿線ニハ「ベスト」患者發見ノ際ハ直ニ之ヲ隔離シ又「ベスト」患者ヲ發見センカ爲遊動衛生隊ヲ組織センコトヲ東清鐵道長官ヨリ沿黑龍總督ニ請求セリ
- (十三) 沿黑龍總督ハ黑龍州及沿海州ニ「ベスト」患者發生ノ際ハ前項ノ遊動衛生隊ヲ組織スヘキコトヲ認可セリ
- (十四) 各市ニ於テ清國人及朝鮮人居住ノ定メ夫レノ別ニ區劃ヲ設置ス
- (十五) 沿黑龍總督中央政府ニ向ケ(第一)滿洲ヨリ當管内ニ貨幣ノ輸入ヲ禁シ又管内流通ノ紙幣中百留及五百留ノ外ハ總テ之ヲ硬貨ニ變換シ(第二)滿洲ヨリ洲内ニ小包郵便ノ遞送ヲ禁シ他ノ普通郵便物ハ凡テ消毒ノ上之ヲ遞送シ國境鐵道停車場ニ於テ隔離シタル旅客ノ手荷物モ亦消毒センコトヲ申請セリ
- (十六) 「ベスト」防疫ノ爲メ沿海州知事ニ三萬五千留黑龍州知事ニ一萬留ヲ支出セリ
- (十七) 內務大臣ヲ經テ同上ノ目的ヲ以テ沿黑龍總督ニ二十萬留ヲ支出セリ



ペスト患者日別表

場所	月					初發以來 累計	備考
	三月十一日	三月十二日	三月十三日	三月十四日	三月十五日		
旅順(都督府管内)						二	一月二十日以降發生ナシ
大連(都督府管内)						六六	
金州(都督府管内)						三	二月六日以降發生ナシ
遼陽(都督府管内)						三	
奉天(都督府管内)						一三	累計ノ内係争地内六六ヲ含ム
撫順(都督府管内)						一八	
本溪湖(都督府管内)						一五九	二月六日以降發生ナシ
鐵嶺(都督府管内)						一八	
開原(都督府管内)						九四	二月六日以降發生ナシ
昌圖(都督府管内)						五六	
法庫門(都督府管内)						一九三	二月六日以降發生ナシ
四平街(都督府管内)						一四五	
						二五	六十五

種別	都督府管内		清國管内		合計
	患者数	百分比例	患者数	百分比例	
公主嶺	1	100.0	0	0.0	1
長春	1	100.0	0	0.0	1
鶏冠山	1	100.0	0	0.0	1
總計	3	100.0	0	0.0	3
清國管内	2	100.0	0	0.0	2
都督府管内	1	100.0	0	0.0	1

備考
一、本表ハ前日ノ正午ヨリ當日正午迄ニ報告ヲ受理シタルモノヲ當日分トシテ計上ス
二、清國管内ノ患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノモノ數トス又其ノ數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルヲ以テ明確ヲ缺クモノアリ

六十六

累計ノ内一ハ郭家店ニ發シタルモノ

累計ノ内一ハ范家屯ニ發シタルモノ

一月十六日以降發生ナシ

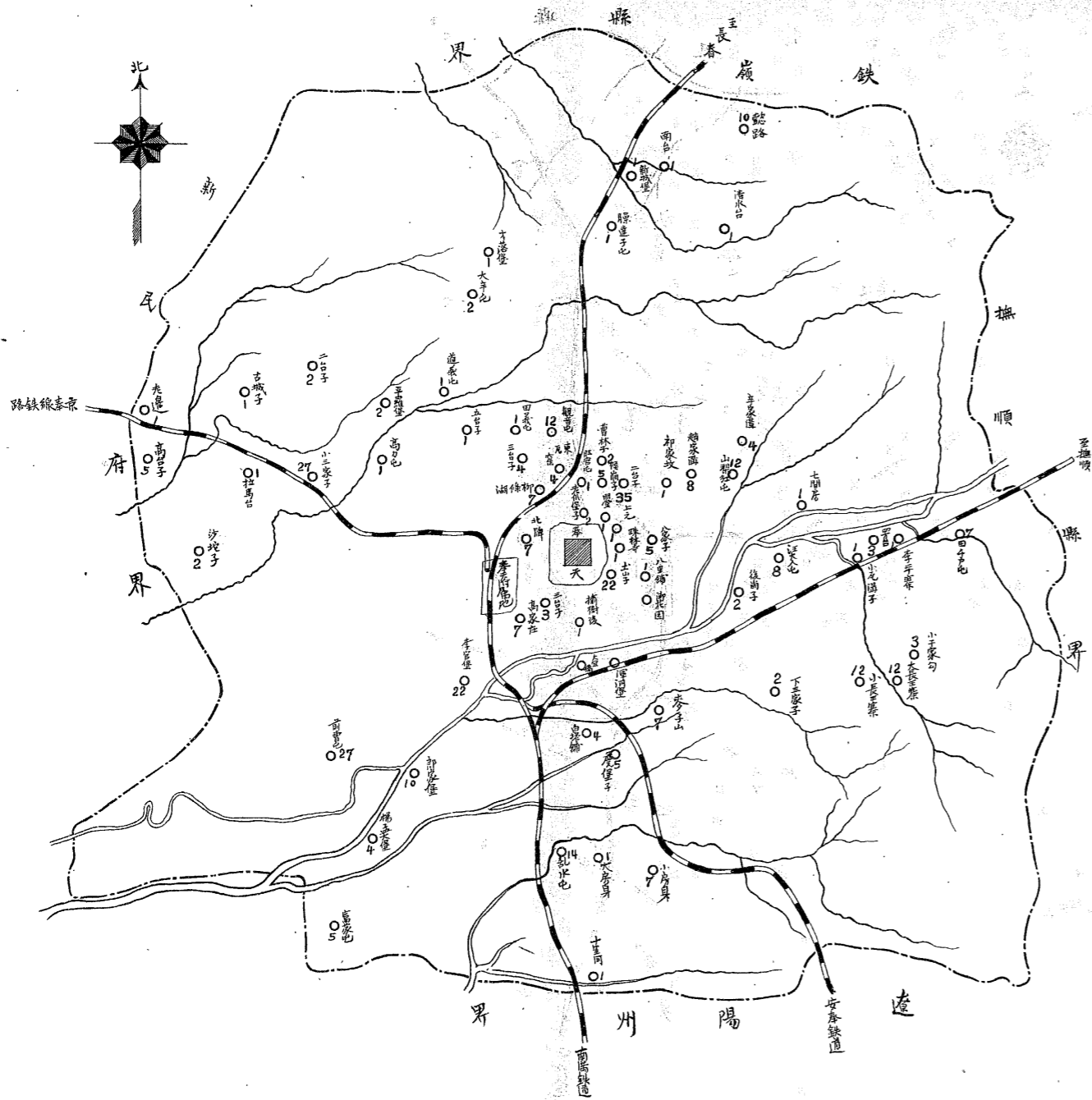
内 日本人男一 女一 英國人男一 朝鮮人男一 女一 清國人男四 女三

都督府管内及其ノ附近ニ於ケルベスト病勢

種別	都督府管内		清國管内		合計
	患者数	百分比例	患者数	百分比例	
第一旬(自十二月三十一日)	8	35.1	6	13.3	14
第二旬(自一月九日)	49	214.9	198	414.4	247
第三旬(自一月二十九日)	88	386.0	643	1344.4	731
第四旬(自二月八日)	41	179.8	774	1618.1	815
第五旬(自二月十八日)	27	118.4	1482	3099.9	1509
第六旬(自二月十九日)	13	57.0	933	1929.9	936
第七旬(自三月十日)	2	8.8	757	1583.3	759
合計	228	1000.0	4783	1000.0	5011

備考
一、百分比例ノ欄太字ハ最多ク發生シタル期間ヲ示ス
二、本表ニ依リ考レハ特殊ノ變化ナキ限リ都督府管内ハ終熄ニ近ク清國管内ハ第九旬ニ至レハ終熄ニ近キ結果ヲ見ラルヘシト觀察セラル

六十七



第三圖
承德縣所屬界圖

○ハト患者発生部
朱書ノ数字ハ其發生數ト入
其他一般圖例ニ依ル

管轄別		鼠族買收數		細菌検査數		買收區域内住家十戸ニ付買收數		摘
旅順	二、〇七六	八一四	四七五	旅順市街地ニ於テノミ買收ス				
大連	六、〇六〇	一三、二七九	五四三	大連(小崗子及寺兒溝ヲ含ム)及柳樹屯ニ於テ買收ス				
金州	四二八	一九六	一九六	金州及龍子窩ノ兩市街ニ於テノミ買收ス				
營口	一、八一三	二四四〇	二四四〇	營口市街ニ於テ買收ス				
瓦房店	九〇六	一五二三	一五二三	瓦房店及熊岳城ニ於テ買收ス				
大石橋	一、一五五	一六四五	一六四五	大石橋、海城、湯崗子、蓋平ニ於テ買收ス				
遼陽	六〇二	六、一五	六、一五	遼陽市街ニ於テ買收ス				
奉天	一、二一五	八、六三	八、六三	奉天市街ニ於テ買收ス				
撫順	一、五九七	一二五四	一二五四	撫順、楊柏堡、老虎臺、孤家子ニ於テ買收ス				
本溪湖	五三九	七、七六	七、七六	本溪湖、橋頭、下馬塘ニ於テ買收ス				
鐵嶺	七七七	七、四三	七、四三	鐵嶺、開原、昌圖ニ於テ買收ス				
長春	一、一八四	一〇、一五	一〇、一五	長春及范家屯ニ於テ買收ス				
公主嶺	一、四〇九	一二二五	一二二五	公主嶺及四平街ニ於テ買收ス				
安東	一、一三八	四、一〇	四、一〇	安東新舊市街及沙河鎮ニ於テ買收ス				
雞冠山	五三三	六、七四	六、七四	雞冠山、秋木莊、草河口ニ於テ買收ス				
總計	二二、四三四	一八、五四三	六、九一					

備考 一、本表ハ買收開始以來三月十五日迄ニ買收及検査シタル數ヲ計上ス
二、鼠族ノ検査ハ旅順、大連、奉天、長春、安東ニ於テノミ之ヲ行フ

附

録

3-2597

0482

附 録

一、長春岔路河間ベスト状況視察ノ件

(1) 三月二日 於岔路河(矢田部運輸課出張員報告)
沿道ベスト状況(第一回)

前稗子溝ニハ長春防疫局ノ貧民收容所アリ清曆正月十七日開設セシモノニシテ目下官醫一名防疫丁二名巡警七名駐在シ窮民及隔離者ヲ合シテ百十名ヲ收容シ民家ヲ徵發分宿セシメ食事ヲ官給シ隔離室ニハ約五十名ヲ療養セシムヘキ設備ヲナシアリ該收容所ハ元後稗子溝ニ設置セラリシモ過般病毒猖獗ニシテ一時ニ四十餘名ノ病者ヲ出シタルアリ其後此地ニ移轉シタルモノニシテ近來ハ石炭酸其他ノ消毒藥到着シ亦各員努力清掃ニ盡シタル爲移轉後一名モ斃死者ナシトス

馬家頭臺ヨリ以東ハ雙陽縣ノ管轄ニシテ沿道各村ニハ清曆十二月廿六日頃長春ヨリ追放サレタル窮民及行旅者ノ路傍又ハ客店ニテ暴死スル者一村二三名乃至七八名ニ及ヒ其餘毒民家ニ傳染シテ四外ニ散布サル、ニ至レリ今其明白ナル者ヲ舉クレハ

大房溝 客店張姓等ニテハ四名ノ旅客正月十七日頃一時ニ發病斃死シ同家ノ少女ニ傳染死亡セシヨリ同家逃亡現今空家トナリ居レリ

同 地 南方五清里ニ在ル農家魯姓方ニテ一家五口ノ内小兒二名ヲ殘シテ盡ク吐血斃死セリ(正月廿三日頃)

冷家當舖 南方三清里郭姓方ニテハ一家三十餘人ノ中十一名去ル十六日頃發病死亡シ他ハ盡ク逃亡セリ

姜家屯 老田家ニテハ一家十二名十日前發病全滅シ直チニ巡警ノ手ニテ家屋死體ヲ合セテ燒棄セリ

同地 北方老甘家ニテハ正月十四日頃四名斃死
 公來號 東方二清里老劉家ニテハ去正月十二日頃一家八名中六名斃死他ハ逃亡セリ
 衛家燒鍋 南方老陳家ニテハ去十三日頃三名發病斃死セリ同地老温家ニテハ二名正月十七日頃同斷
 以上沿道ノ住民及路傍ニ斃死セルモノ、數ハ各村隱蔽シテ容易ニ明示セサルモ約百五十名ヲ下ラサルモノ、如シ而シ
 テ病疫ノ盛期ハ舊臘二十五六日頃ヨリ正月十五日頃ニシテ目下稍減少ニ傾キツ、アリ尙路傍ノ屍體ハ各地巡警等ノ手
 ニテ悉ク埋葬サレタル由ニテ放棄サレ在ル者ヲ目撃セザリシ
 右ハ皆長春ヨリ傳染セル者ナルヲ以テ沿道ノ各客店及農家ハ期セスシテ門戸ヲ閉チ一切外人ト交通ヲ避ケ殊ニ長春方
 面ノ行旅者ヲ畏怖シ之ト接近スルヲモ喜ハサルノ模様アリ
 斯ノ如ク各村落ニベスト蔓延シ居ルモ清國官憲ニ於テハ防疫上施設ノ目スヘキモノナク又貨物ノ交通ニ付テ別ニ制裁
 スル所ナキモ該方面交通ノ杜絶セシハニ村民ノ自愛心及旅宿ノ不便等ヨリ來リシナラン但シ漸次疫病ノ終熄ニ近ツ
 キタルト共ニ往來ノ貨客増加シ來ル者ノ如シ

沿道ベスト狀況(第二回)

當地ニ病疫ノ發生セシハ昨年十二月二十六七日頃長春ヨリ移轉シ來リタル東街ノ一民家、二名ノ暴死者ヲ出セシニ起
 リ爾來今日迄約五十餘名ノ住民斃死シ此外東街兵營内ニ二十餘名ノ死亡者アリ但シ右ハ去月五日頃波泥河子(吉
 長街道)ヨリ移轉セシ五十餘名ノ歩兵中ニシテ疫病ハ同地ヨリ帶來セシモノナリト云尙十日東街揚家皮舖ニテ一家
 八口一夜ニ斃死シ目下門戸ヲ封印シ在タリ
 防疫所ハ吉林ノ管轄ニシテ正月十五日頃開始シ目下漢醫一名歩兵五十名巡警十名之ニ從事シ各所ニ步哨ヲ置キ一切外
 鄉人ヲ入街セシメス日々檢病的戸口調査ヲ爲シ警戒シ居タルモ昨日ヨリ步哨ヲ撤退シ本日ヨリ開市ヲ許シ單ニ客店ニ

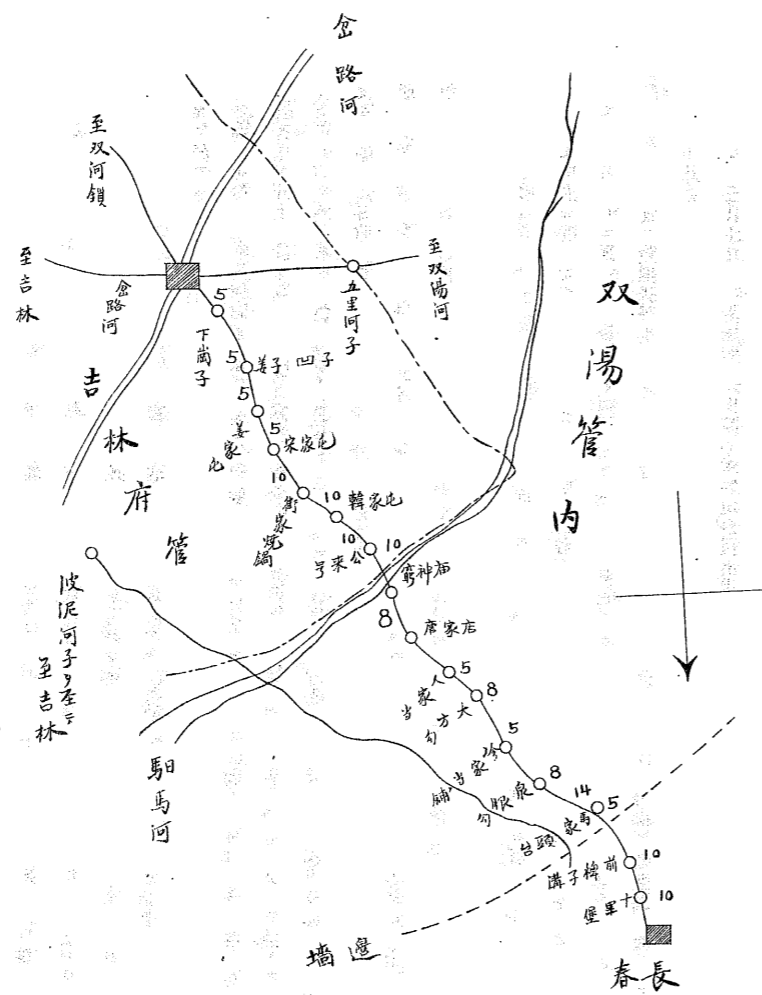
於テ喫飯セシムルモ尙嚴ニ宿泊ヲ禁シ居レリ然レトモ消毒及醫療ニ關シテハ他ニ何等ノ施設ナク病者アレハ唯石灰水
 ヲ撒布シ家人ノ接近者ヲ外出セシメサル權監守スルニ止マリ屍體ハ依然土葬シ居リ殊ニ笑フヘキハ捲煙草中ニ毒藥ヲ
 封入シアリテ之ヲ喫スル者ハ忽テ疫病ヲ惹起スト稱シ官憲ノ手ニテ悉ク之ヲ沒收シ一切喫煙ヲ禁止シ犯ス者ハ重罰ニ
 處シ居レリ

當地方住民等ハ長春ノ病疫猖獗ナルニ戰慄シ且從來病死セル者ハ悉ク長春系統ナルヲ以テ長春ニ接近スル者ハ一切之
 ヲ排斥シ甚シキハ日用ノ雜貨スラ其感染ヲ恐レ不便ヲ忍ンテ購求ヲ見合セ居レリ
 又地方ニハ日清開戰、井水投毒等ノ謠言益々流行シ一行ハ病疫傳染者ト誤信サレ官民甚度厭忌ノ狀アリ前後十七八回
 モ巡警我客查ニ來查シ始終巡警尾行シ可成人民ノ應答ヲ遠ケント試ミルモノ、如ク調査上甚度不便ヲ感セリ
 一 明朝出發伊馬站、長嶺子ヲ經テ雙湯ニ向テ豫定ナリ

注意

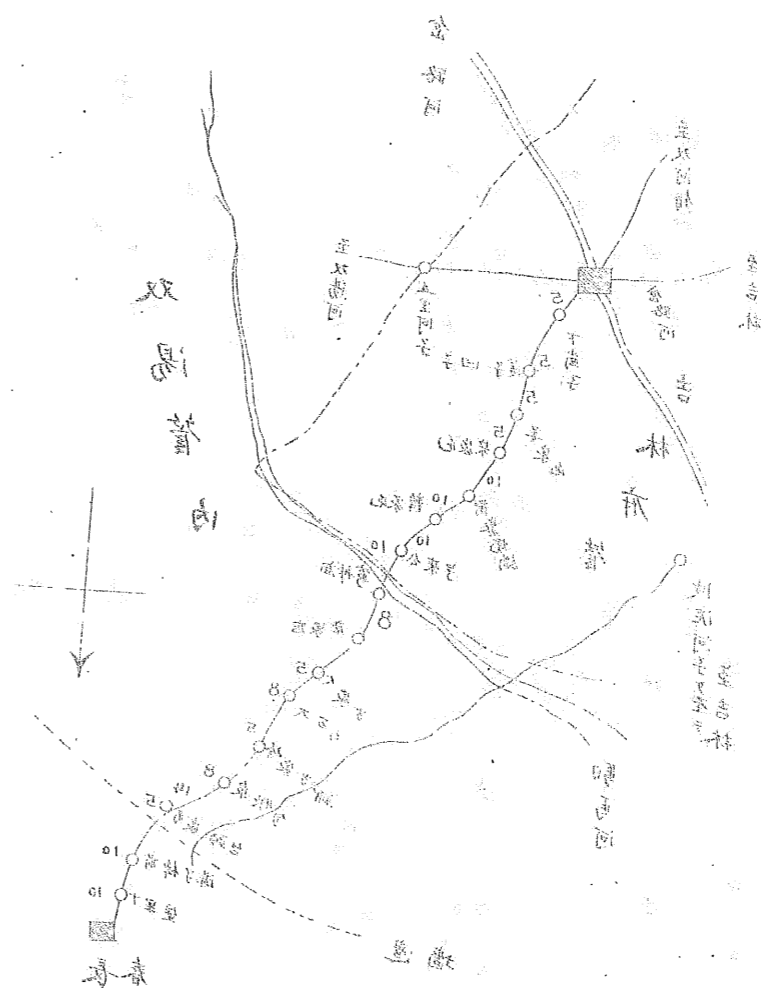
第一回及第二回報告ハ去三月二日午後及三日朝ノ二回沿路河清國郵政分局ニ托シタルモ今日迄其後七日間ニ至リ
 テ未タ到着セス同地ハ前項ノ如キ狐疑ノ狀態ナルヲ以テ或ハ支那官憲ニ於テ信書ヲ横取セルナカランカ頗ル疑フ
 ヘシ依テ茲ニ複寫再報スルコト、セリ
 三月九日於長春再記





3-2597

0485



(2) 三月七日 於岔路河(矢田部運輸課出張員報告)
 ベスト状況

曩ニ報告セル如ク雙陽縣管下ノ防疫法ハ比較的周到ニシテ機宜ニ適セルモ右ハ雙陽河餘凌號ノ如キ市街地ニ止マリ數里村庄ニ出ツルニ及ンテハ唯地方巡警カ稍警邏及戸口調査ヲ密ニシタル外何等施設スル所ナク且同市街地ニ發生セル者ハ夙ニ幸先火葬ヲ斷行シタルモ村落ノ死亡者ハ依然土葬シ居レリ又當雙龍街道ハ他ノ大道ニ比シテ元來交通少ナキ上舊年末ヨリ數日前ニ至ル迄全ク斷絶シ一時ハ五六名ノ路上斃死者アリシモ今ハ自然終熄ニ近ツキ最近一名モ發生ノ聲ヲ聞カス

然レトモ一步脚ヲ大南屯ニ入ルニ及ンテハ其慘况甚シク其猖獗ノ狀不覺人ヲシテ慄然タラシムルモノアリ然レトモ同地ハ州治ヲ距ル遠クシテ僅ニ八九名ノ巡警駐在スルニ止マリ防疫上一モ施設スル所ナク其死屍ノ如キモ一箇月餘モ放棄シテ漸ク數日前土葬セルニ止マリ尙十數個ノ新棺路傍ニ積重ネアリシヲ一見セリ

大南屯ニ於ケルベストハ悉ク昨年末長春ヨリ追ハレタル窮民等ノ散布セルニ始マリ舊臘十日間ニ於ケル路傍及客店ノ斃死者忽チ五十二名ヲ算スルニ到リ闔村ノ商民俄ニ周章狼狽シテ或ハ門戸ヲ閉テ外間ノ交通ヲ絶テ或ハ荷擔シテ他村ニ避難セシ者アルモ其時間既ニ晚ク餘毒蔓延シテ舊正月廿日頃迄ニ村民亦斃ル、者四十五名ニ及ヘリ其最モ慘ナル者ヲ擧クレハ

- | | | | | | |
|-----------|----|--------|----|-----------|----|
| 農 | 鍛冶 | 農 | 鍛冶 | 農 | 鍛冶 |
| 家 | 屋 | 家 | 屋 | 家 | 屋 |
| 老 | 馬 | 老 | 馬 | 老 | 馬 |
| 鄭 | 姓 | 鄭 | 姓 | 鄭 | 姓 |
| 家 | | 家 | | 家 | |
| 一家八名中六名死亡 | | 一家四名全滅 | | 一家七名中五名死亡 | |
| 同十三日頃 | | 同五十六日頃 | | 同五十六日頃 | |
| 五 | | 五 | | 五 | |

行商雜貨店

張

某

一家四名中三名死亡

正月十七日頃

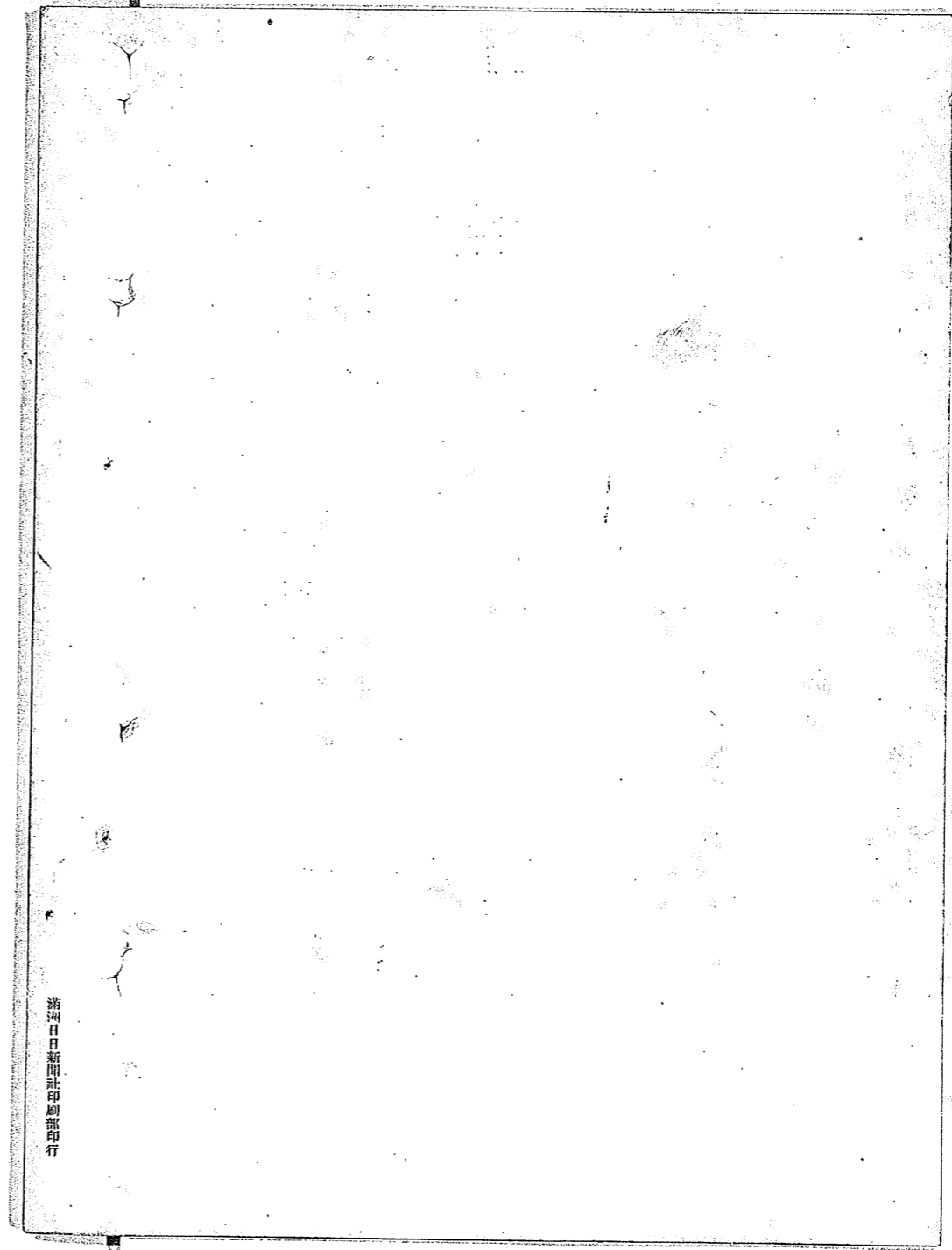
六

以上合シテ九十四名アリ但シ實際ハ尙之ヨリ多數ニ上ルナラン但シ去ル二十日以後ハ新患者ヲ出サスト稱スルモ頗ル疑フベシ

夫レ人口五百ニ足ラサル小村ニ於テ既ニ百名ノ病死者ヲ出ストモ平均五人ニ對シ一人ノ割合ナリ長春東六倫地方ノ病毒如何ニ猖獗ナリト雖モ斯ノ如キニ至ラス其慘狀推シテ知ルヘシ之ヨリ數里ヲ出テサル懷德管内ニ於テ貨客ノ防疫上嚴邊手段ヲ施行セシハ蓋シ一理ナシトセス尙伊通州官憲ハ殆ンド此地ヲ放棄シテ一時病毒ノ彌蔓スルニ任シ頻リニ老爺嶺ノ要隘ヲ固守シテ之ヨリ病疫ヲ入ラシメント企圖セシモノ、如ク曩ニ同地ニ檢疫所ヲ置キ巡警十數名ヲシテ行路ヲ看守セシメ其後再ヒ歩兵若干ヲ添補シタリト云以上ハ悉ク雙楊大南間沿道ノ記事ニ係ル大南屯范家屯間ニ付テハ後報ニ讓ル

3-2597

0487



滋賀日日新聞社印刷部印

3-2597

0488